

第8次森町総合計画
町民アンケート調査
結果報告書

平成17年11月
森町企画財政課

目 次

調査概要	1
回答者の属性	2
調査結果の概要	5
調査結果	7
1 住んでいる地域や生活について	7
2 今後の町政の進め方について	32
3 まちづくりへの町民参加について	42
自由記載	57

I 調査概要

- 1 調査目的 第8次森町総合計画の策定に向けて、町民の町政に対する認識や意見、今後のまちづくりの方針等に関する意識調査を行い、計画に反映することを目的とする。
- 2 調査対象 町に住所を有する平成2年4月1日以前に生まれた満15歳以上の男女
- 3 標本数 2,028人
- 4 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- 5 調査方法 郵送法
- 6 調査期間 平成17年8月1日から8月20日まで
- 7 回収結果

地区	標本		
	発送数	回収数（率）	
三倉	116	63	(54.3%)
天方	143	66	(46.2%)
森	796	373	(46.9%)
一宮	189	76	(40.2%)
園田	357	147	(41.2%)
飯田	427	179	(41.9%)
地区無回答	—	10	(—)
無効	—	1	(—)
合計	2,028	915	(45.1%)

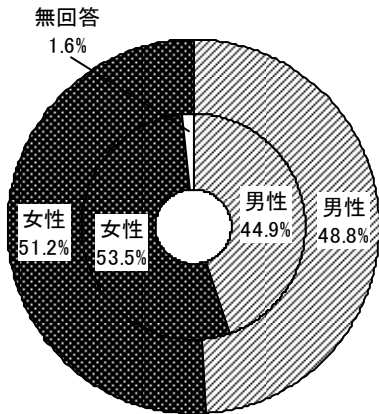
- 8 有効回答数（率） 914（45.1%）
- 9 報告書を読むにあたっての留意点
- 比率はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。このため、百分比の合計が100%にならないことがあります。
 - 複数回答の設問では、回答者数を基数としているため、百分比の合計は100%を上回ります。

Ⅱ 回答者の属性

F 1 あなたの性別をお答えください。

(注) 内円：標本比率

外円：母集団となる住民基本台帳人口



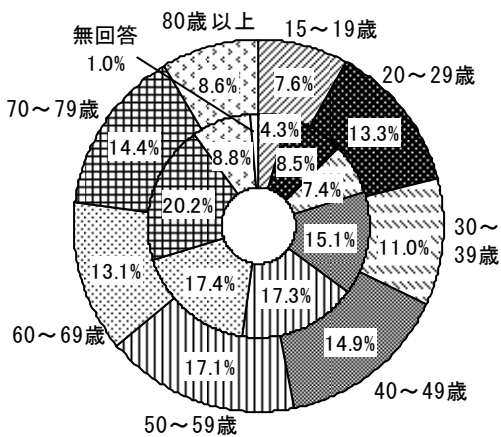
	母集団		標本	
	人口	構成比	件数	構成比
1.男性	8,789	48.8%	410	44.9%
2.女性	9,232	51.2%	489	53.5%
無回答			15	1.6%
計	18,021	100.0%	914	100.0%

➤ 性別について、男性の回答率の低さがみられますが、この程度ならば母集団とほとんど同じであるといえます。

F 2 あなたの年齢をお答えください。

(注) 内円：標本比率

外円：母集団となる住民基本台帳人口

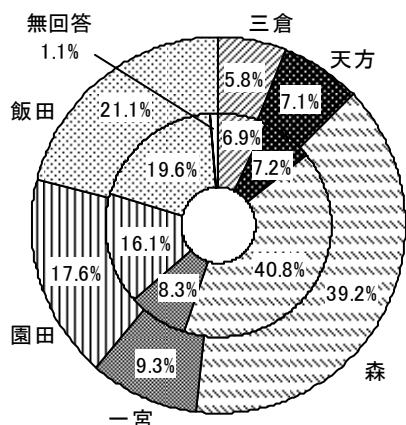


	母集団		標本	
	人口	構成比	件数	構成比
1. 15~19歳	1,378	7.6%	39	4.3%
2. 20~29歳	2,397	13.3%	78	8.5%
3. 30~39歳	1,977	11.0%	68	7.4%
4. 40~49歳	2,693	14.9%	138	15.1%
5. 50~59歳	3,077	17.1%	158	17.3%
6. 60~69歳	2,355	13.1%	159	17.4%
7. 70~79歳	2,594	14.4%	185	20.2%
8. 80歳以上	1,550	8.6%	80	8.8%
無回答			9	1.0%
計	18,021	100.0%	914	100.0%

➤ 年齢別では若年層の回答率が低くなっていますが、これは社会調査の一般的な傾向といえます。

F 3 あなたがお住まいの地区をお答えください。

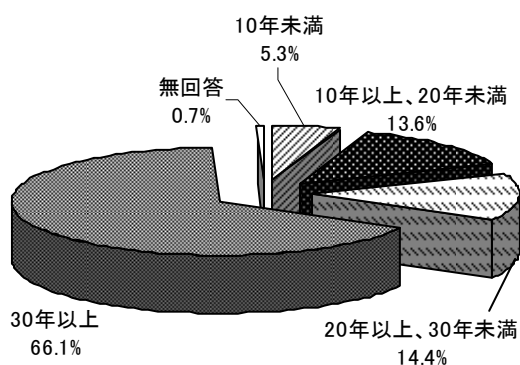
(注) 内円：標本比率
外円：母集団となる住民基本台帳人口



	母集団		標本	
	人口	構成比	件数	構成比
1.三倉	1,038	5.8%	63	6.9%
2.天方	1,278	7.1%	66	7.2%
3.森	7,060	39.2%	373	40.8%
4.一宮	1,676	9.3%	76	8.3%
5.園田	3,172	17.6%	147	16.1%
6.飯田	3,797	21.1%	179	19.6%
無回答			10	1.1%
計	18,021	100.0%	914	100.0%

➤ 回答者の居住地分布は、各地区の人口割合をよく反映した結果となっています。

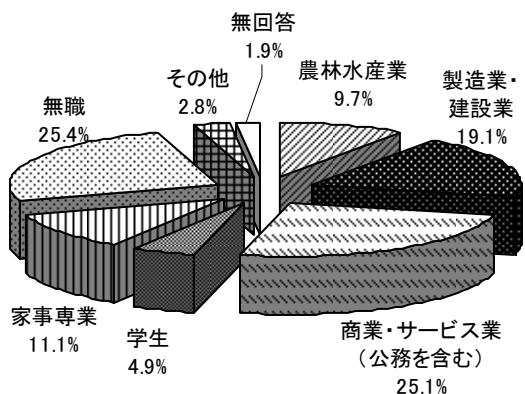
F 4 あなたは森町にお住まいになってから、どのくらいの年数（合計）がたっていますか。



	件数	構成比
1. 10年未満	48	5.3%
2. 10年以上、20年未満	124	13.6%
3. 20年以上、30年未満	132	14.4%
4. 30年以上	604	66.1%
無回答	6	0.7%
計	914	100.0%

➤ 回答者の 66.1%が「30年以上」居住していると回答しています。

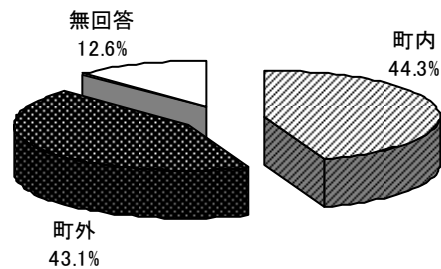
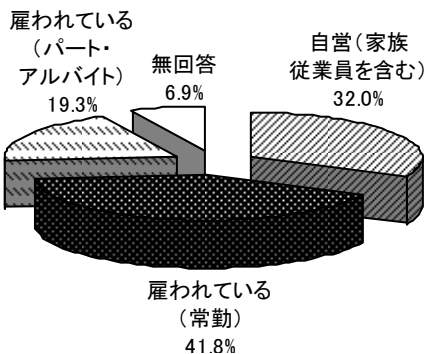
F 5 あなたの職業（勤務先の業種）は次のうちどれですか。



	件数	構成比
1.農林水産業	89	9.7%
2.製造業・建設業	175	19.1%
3.商業・サービス業 (公務を含む)	229	25.1%
4.学生	45	4.9%
5.家事専業	101	11.1%
6.無職	232	25.4%
7.その他	26	2.8%
無回答	17	1.9%
計	914	100.0%

F 5-1 あなたの就労形態は次のどれですか。

F 5-2 あなたの通勤・通学先は次のどれですか。



	件数	構成比
1.自営 (家族従業員を含む)	166	32.0%
2.雇われている (常勤)	217	41.8%
3.雇われている (パート・アルバイト)	100	19.3%
無回答	36	6.9%
計	519	100.0%

	件数	構成比
1.町内	250	44.3%
2.町外	243	43.1%
無回答	71	12.6%
計	564	100.0%

(注) F 5-1は、F 5で「1」から「3」及び「7」と回答した519人が対象です。
 F 5-2は、F 5で「1」から「4」及び「7」と回答した564人が対象です。

Ⅲ 調査結果の概要

1 住んでいる地域や生活について

(1) 住み心地（問1、問2、問3）

問1では、森町が住みよいと感じているかどうかをたずねています。「住みよい」「まあ住みよい」が80.7%を占め、多くの方が満足しています。地区別でみると、三倉地区では62.3%と若干低い値を示しています。

問2では、今後も現在住んでいるところに住み続けたいかをたずねたところ、「住み続けたい」が82.3%を占めています。年齢別でみると、15～19歳では「町外に移転したい」が「住み続けたい」を上回っています。

問3では、回答者の率直な感覚として、森町に対する愛着があるかをたずねています。「ある」「少しある」が83.9%を占めています。

(2) 森町のよいところ、よくないところ（問4、問5）

問4では、森町のよいところをたずねています。「山や川などの自然環境がよい」が81.8%と最も高く、次いで「近所の人などの人情や気風がよい」（46.1%）、「犯罪・事故・災害が少ない」（43.4%）、「食べ物や水がおいしい」（37.5%）の順となっています。

逆に問5では、森町のよくないところをたずねています。「交通の便、通勤・通学の便がよくない」と「よい働き口が少ない」が46.5%と高く、次いで「余暇を楽しむところが少ない」（38.5%）の順となっています。三倉地区では、「交通の便、通勤・通学の便がよくない」（81.8%）と「買い物など日常生活が不便」（63.6%）が高く、年齢別でみると、15～19歳では「交通の便、通勤・通学の便がよくない」（84.2%）が高く、「よい働き口が少ない」は40～60歳代で高い値を示しています。

(3) 今後のまちづくりの方針（問6）

問6では、今後どのようなまちづくりに力を入れるべきかをたずねています。「福祉や医療が充実したまちづくり」が52.9%と最も高く、次いで「自然環境を大切にしたいまちづくり」（49.3%）、「活力ある産業が発展したまちづくり」（40.5%）の順となっています。

(4) 町政に対する満足度と重要度（問7、問8）

問7、問8では、町の取り組みを30項目に分けて満足度と重要度をたずねています。

満足度が低く、重要度が高いものほど改善の必要性が高いと考えられ、「雇用対策」、「下水施設（下水道、合併浄化槽等）の整備」、「鉄道やバス等の利便性」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「高齢者・障がい者への福祉施策」、「工業の振興（工業団地整備・企業誘致等）」、「生活道路の整備」が改善の必要性が高いといえます。地区別でみると、三倉地区では「生活道路の整備」、「幹線道路の整備」が改善の必要性が高いといえます。年齢別でみると、10～40歳代では「鉄道やバス等の利便性」が、30～50歳代では「雇用対策」が、50歳代以上では「下水施設（下

水道、合併浄化槽等)の整備」が改善の必要性が高いといえます。

2 今後の町政の進め方について

問9では、町政運営について今後どのようなことを望むかをたずねています。「町職員の能力の向上」が44.2%ともっとも高く、次いで「公共事業の見直し」と「町組織のスリム化」(ともに34.3%)、「民間で実績を持つ人材の登用、活用」(31.3%)の順となっています。

問10では、サービスと負担のバランスをたずねています。「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることもやむを得ない」が51.7%を占めています。

問11では、財政健全化のため今後さらに重点を置くべき項目をたずねています。「公共工事のコスト縮減、事業の見直し」が50.6%ともっとも高く、次いで「人件費の削減」(50.1%)、「町有地や公共施設などの町有財産の有効活用」(41.8%)の順となっています。

3 まちづくりへの町民参加について

問12では、まちづくりを進める際の町民の関わり方をたずねています。「町民の意見を聞きながら、町が責任を持ってまちづくりを進める」が51.7%を占めています。年齢別でみると、15~19歳及び20~29歳では「町民と町とが協力してまちづくりを進める」が高い割合を示しています。

問13では、これからのまちづくりにどう参加したいかをたずねています。「町内会活動を通じて、まちづくりに貢献したい」が56.9%を占めています。

問14では現在のまちづくり活動への参加状況について、問15では今後のまちづくり活動への参加についてたずねています。現在「積極的に参加している」「ある程度参加している」は40.0%にとどまっていますが、今後「積極的に参加したい」「ある程度参加したい」は71.3%と高く、現在は参加していないが将来的には参加したいと考えている人が多いと考えられます。

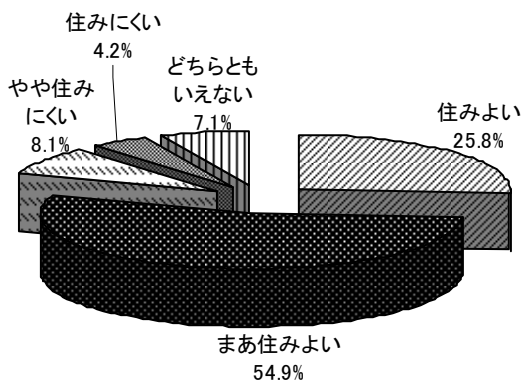
問15-1では、問15のうち「積極的に参加したい」「ある程度参加したい」と回答した人を対象に、具体的に今後参加したい活動内容をたずねています。「町内会での活動」が60.5%ともっとも高く、次いで「地域の清掃・美化の運動」(41.4%)となっています。年齢別でみると、若い世代ほど「地域の祭り・伝統芸能などの保全継承」と回答した人が多く、10歳代では61.1%と非常に高い割合を示しています。

問15-2では、問15のうち「あまり参加したくない」「参加したくない」と回答した人を対象に、その理由をたずねています。「忙しくて参加したくない」が42.9%ともっとも高く、次いで「どんな活動をしているか情報が得られない」(23.1%)、「参加したいと思う活動がない」(18.9%)の順となっています。年齢別でみると、60歳代以下では「忙しくて参加する時間がない」の割合が高く、70歳代以上では「その他」の割合が高く、高齢を理由にあげた人が目立ちます。

IV 調査結果

1 あなたの住んでいる地域や生活についてお伺いします。

問1 森町の住み心地はいかがですか。

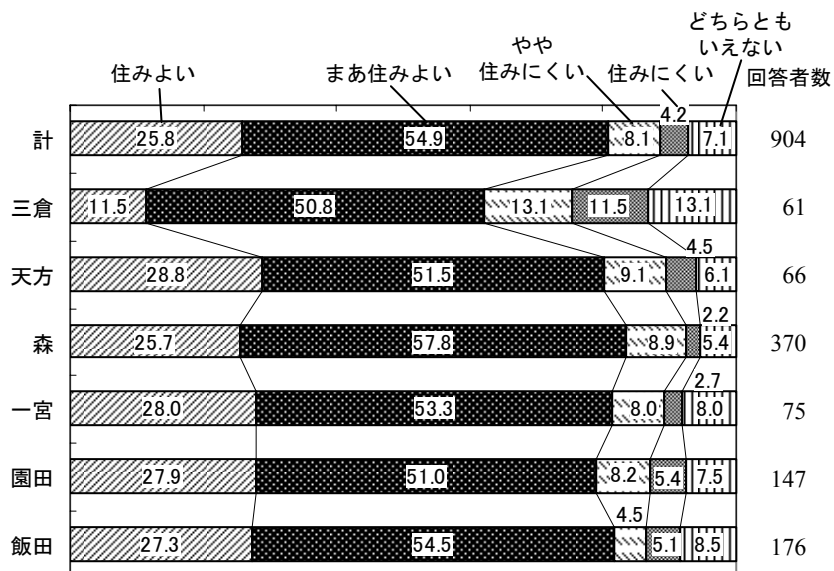


	件数	構成比
1.住みよい	233	25.8%
2.まあ住みよい	496	54.9%
3.やや住みにくい	73	8.1%
4.住みにくい	38	4.2%
5.どちらともいえない	64	7.1%
計	904	100.0%

➤ 「住みよい」及び「まあ住みよい」と回答した人が80.7%を占めています。

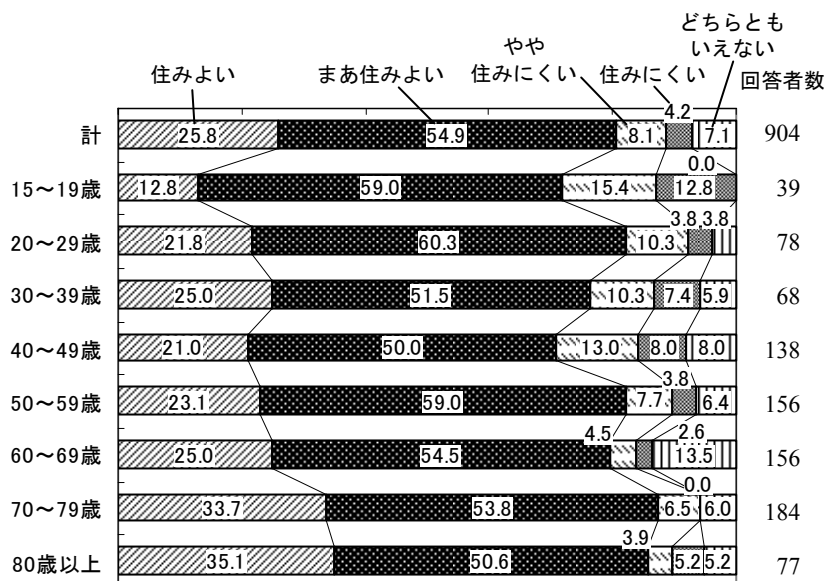
○地区別

- 「住みよい」及び「まあ住みよい」と回答した人の割合がもっとも高いのは森地区(83.5%)で、もっとも低いのは三倉地区(62.3%)となっています。
- 三倉地区は、他の地区と比較して「住みにくい」及び「やや住みにくい」と回答した人の割合が高くなっています。

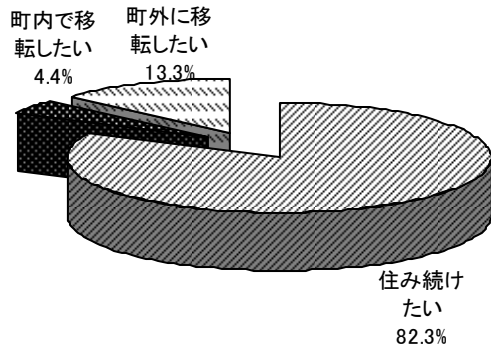


○年代別

- 「住みよい」及び「まあ住みよい」と回答した人の割合が高いのは70～79歳(87.5%)、80歳以上(85.7%)で、低いのは40～49歳(71.0%)、15～19歳(71.8%)となっています。



問2 これからも、いま住んでいるところに住み続けたいと思いますか。

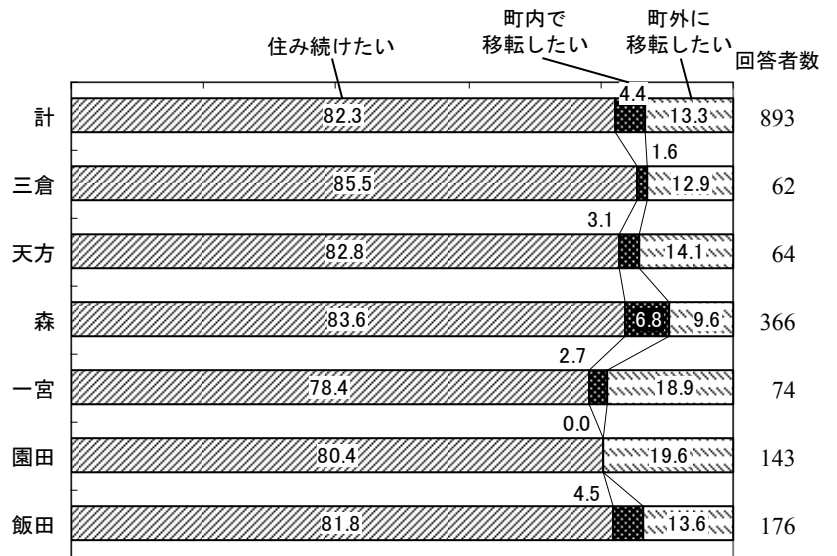


	件数	構成比
1.住み続けたい	735	82.3%
2.町内で移転したい	39	4.4%
3.町外に移転したい	119	13.3%
計	893	100.0%

➤ 今後もいま住んでいるところに「住み続けたい」と回答した人が82.3%を占めています。

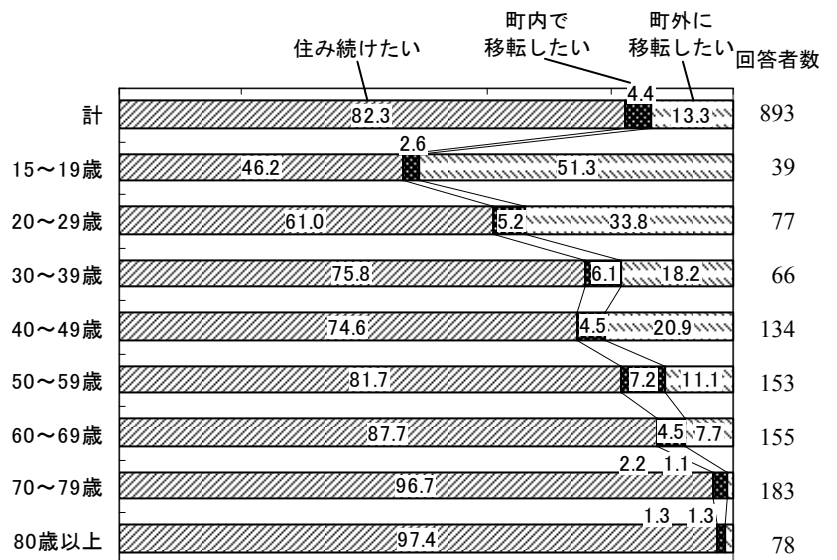
○地区別

- すべての地区において「住み続けたい」と回答した人の割合が8割前後と高くなっています。
- 森地区では、「町内で移転したい」と回答した人の割合が他の地区より高く、一宮・園田地区では、「町外に移転したい」と回答した人の割合が他の地区より高くなっています。

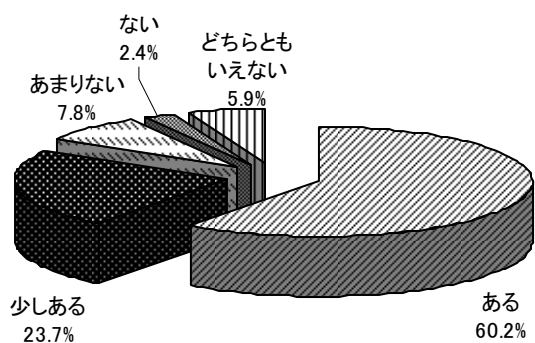


○年代別

- 年代が上がるにしたがって、「住み続けたい」と回答した人の割合が高くなっています。
- 15～19歳では、「町外に移転したい」が「住み続けたい」を上回っています。



問3 あなたは、森町に「自分のまちとしての愛着」がありますか。

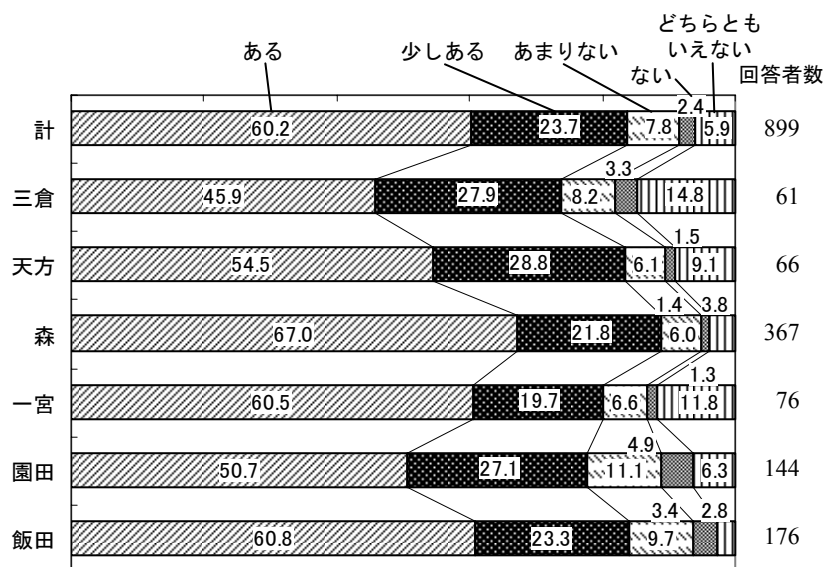


	件数	構成比
1.ある	541	60.2%
2.少しある	213	23.7%
3.あまりない	70	7.8%
4.ない	22	2.4%
5.どちらともいえない	53	5.9%
計	899	100.0%

➤ 自分の町として愛着が「ある」及び「少しある」と回答した人が83.9%を占めています。

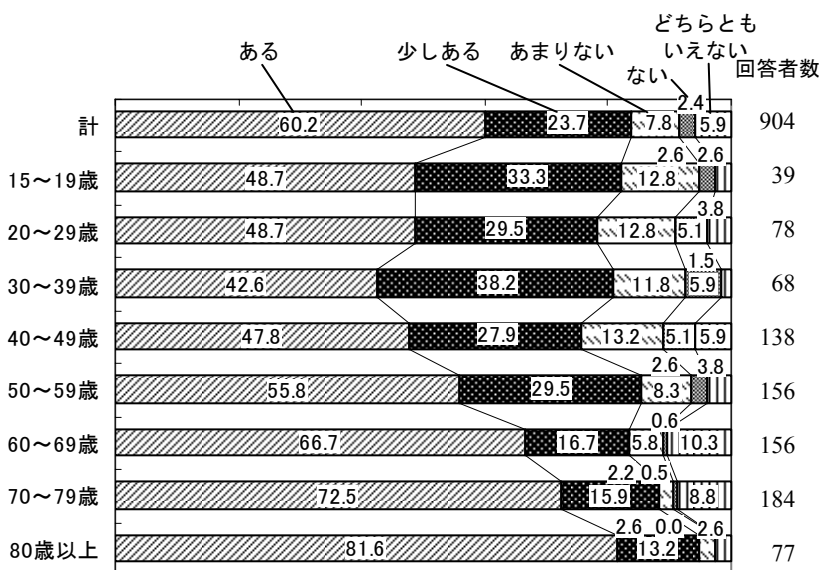
○地区別

- 愛着が「ある」及び「少しある」と回答した人の割合がもっとも高いのは森地区（88.8%）で、もっとも低いのは三倉地区（73.8%）となっています。
- 愛着が「ない」及び「あまりない」と回答した人の割合がもっとも高いのは園田地区（16.0%）となっています。



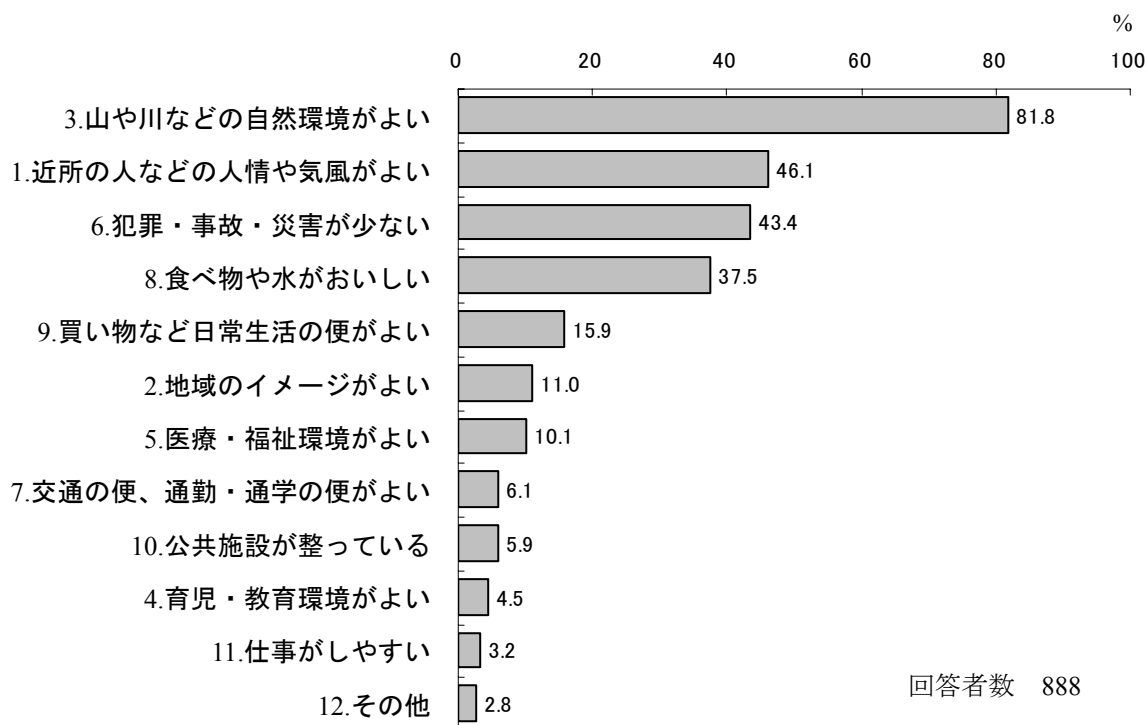
○年代別

- 愛着が「ある」及び「少しある」と回答した人の割合がもっとも高いのは80歳以上（94.8%）で、もっとも低いのは40～49歳（75.7%）となっています。
- 愛着が「ある」と回答した人の割合は若い年代で低く、30～39歳がもっとも低く、80歳以上がもっとも高くなっています。
- 15～19歳から50～59歳までは、愛着が「ない」及び「あまりない」と回答した人の割合が10%を超えています。



問4 森町のよいところはどんなところですか。

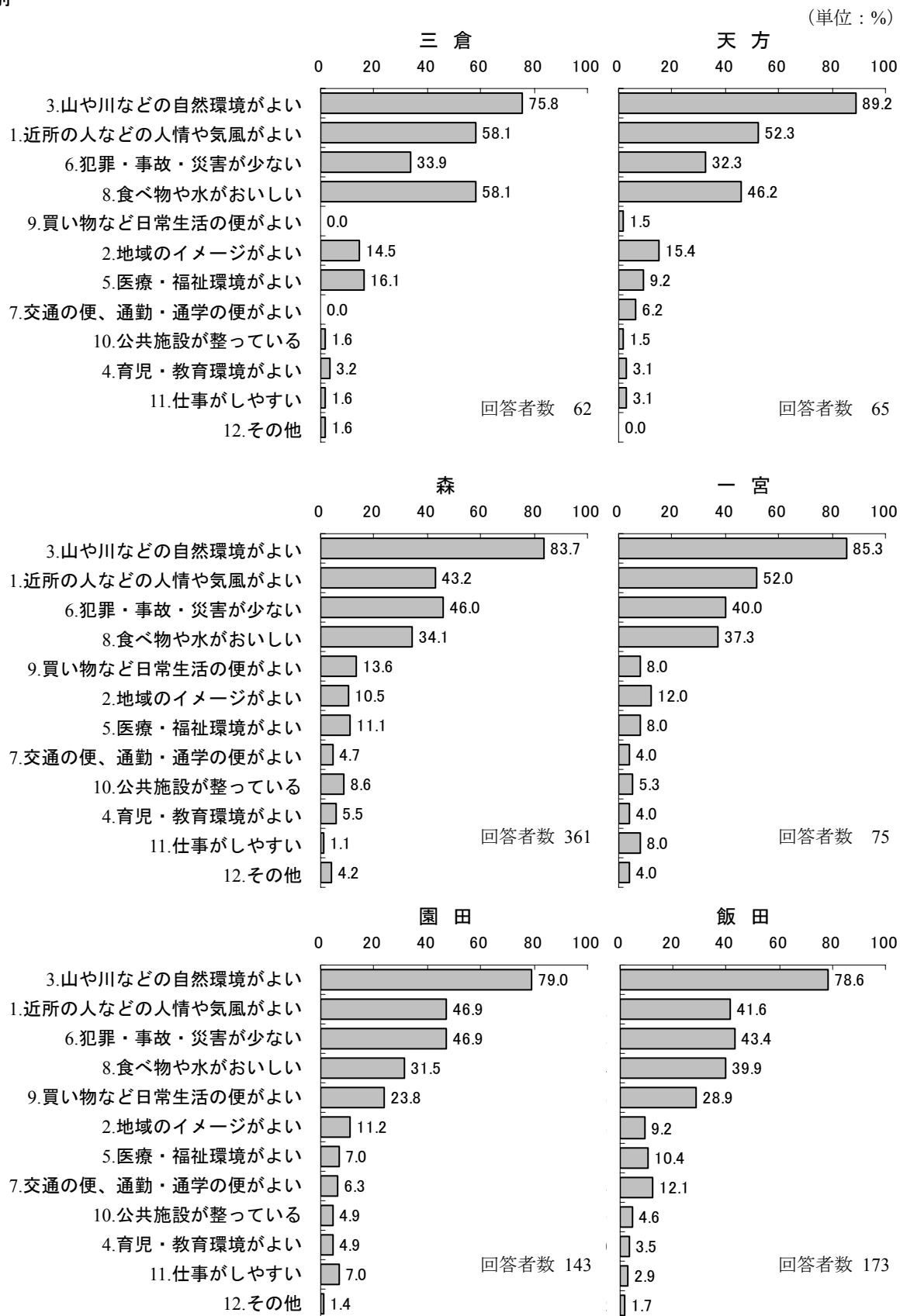
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。



	件数	回答件数に 対する構成比	回答者数に 対する構成比
1.近所の人などの人情や気風がよい	409	17.2%	46.1%
2.地域のイメージがよい	98	4.1%	11.0%
3.山や川などの自然環境がよい	726	30.5%	81.8%
4.育児・教育環境がよい	40	1.7%	4.5%
5.医療・福祉環境がよい	90	3.8%	10.1%
6.犯罪・事故・災害が少ない	385	16.2%	43.4%
7.交通の便、通勤・通学の便がよい	54	2.3%	6.1%
8.食べ物や水がおいしい	333	14.0%	37.5%
9.買い物など日常生活の便がよい	141	5.9%	15.9%
10.公共施設が整っている	52	2.2%	5.9%
11.仕事がしやすい	28	1.2%	3.2%
12.その他	25	1.0%	2.8%
計	2,381	100.0%	

- 森町のよいところとして「山や川などの自然環境がよい」をあげた人が 81.8%ともっとも高く、次いで「近所の人などの人情や気風がよい」(46.1%)、「犯罪・事故・災害が少ない」(43.4%)、「食べ物や水がおいしい」(37.5%)の順となっています。一方で「仕事がしやすい」(3.2%)、「育児・教育環境がよい」(4.5%)、「公共施設が整っている」(5.9%)、「交通の便、通勤・通学の便がよい」(6.1%)をあげた人は10%未満となっています。
- 「その他」の意見では、お祭りや伝統芸能があってよいといった記述がみられました。

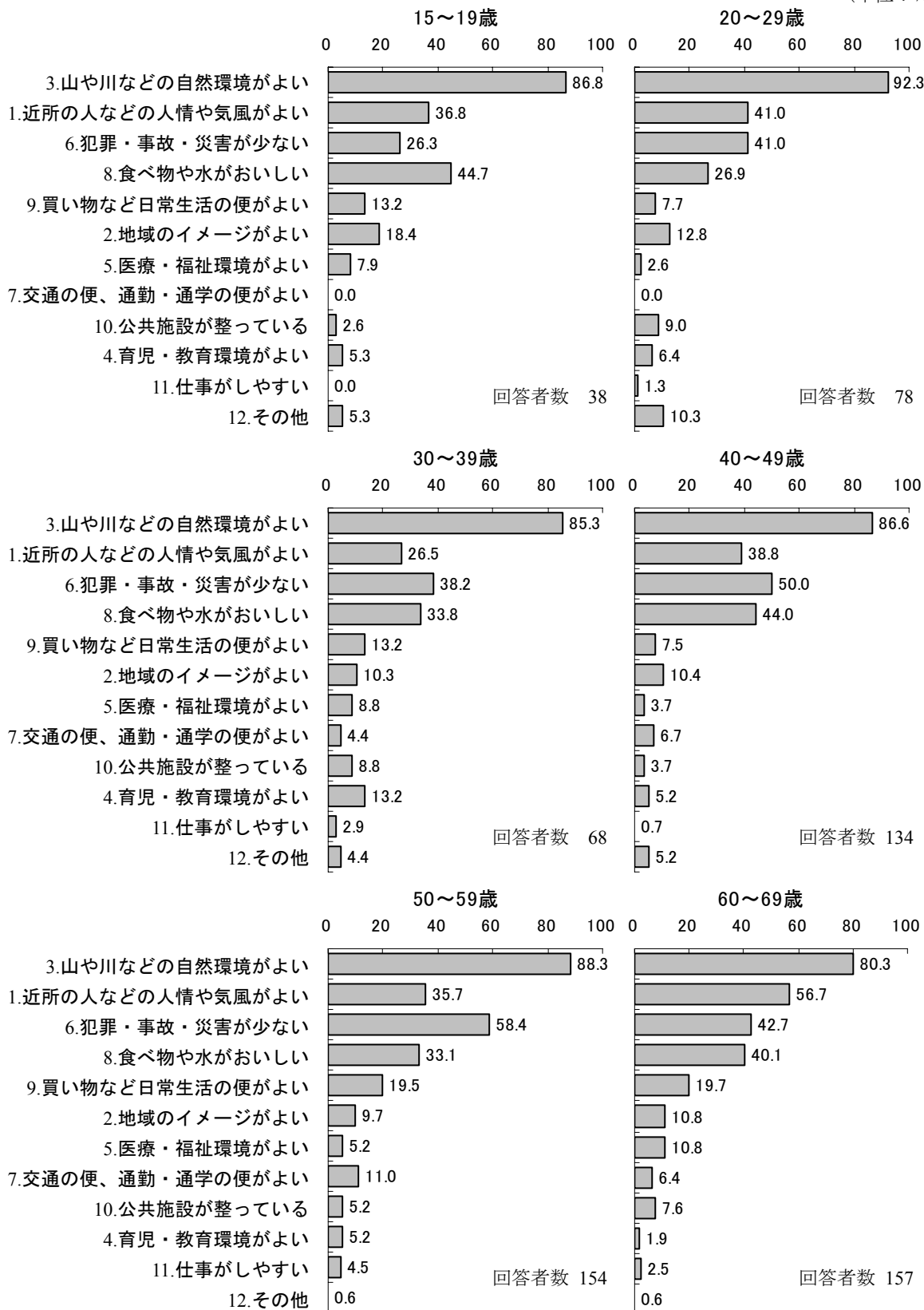
○地区別

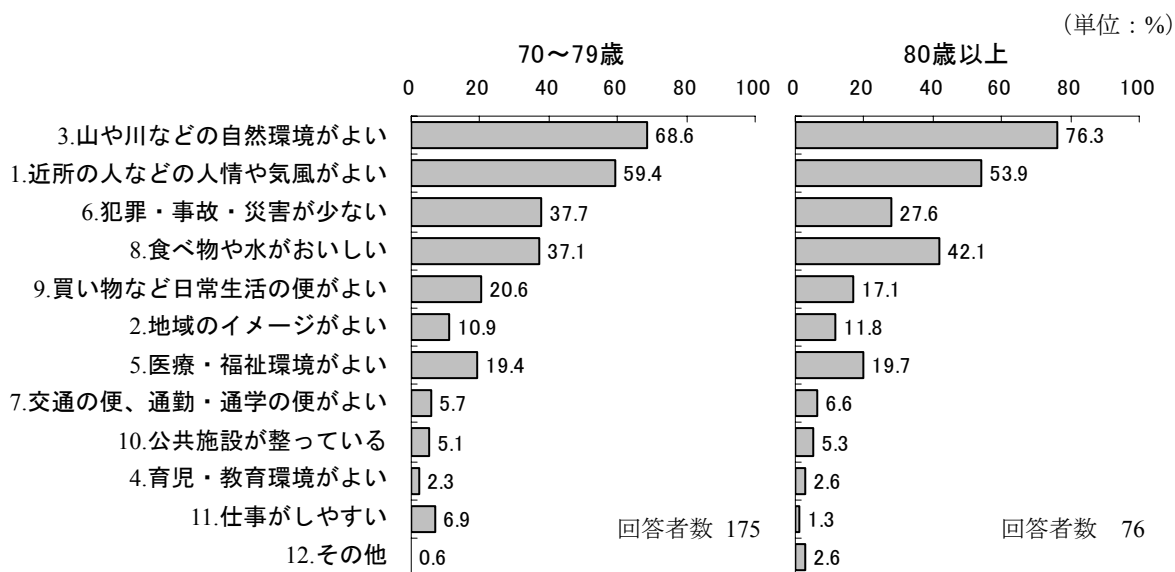


- ▶ すべての地区で「山や川などの自然環境がよい」をあげた人の割合がもっとも高くなっています。
- ▶ 森・園田・飯田地区では「犯罪・事故・災害が少ない」が2番目にあげられています。また、三倉地区では「食べ物や水がおいしい」が2番目にあげられています。

○年代別

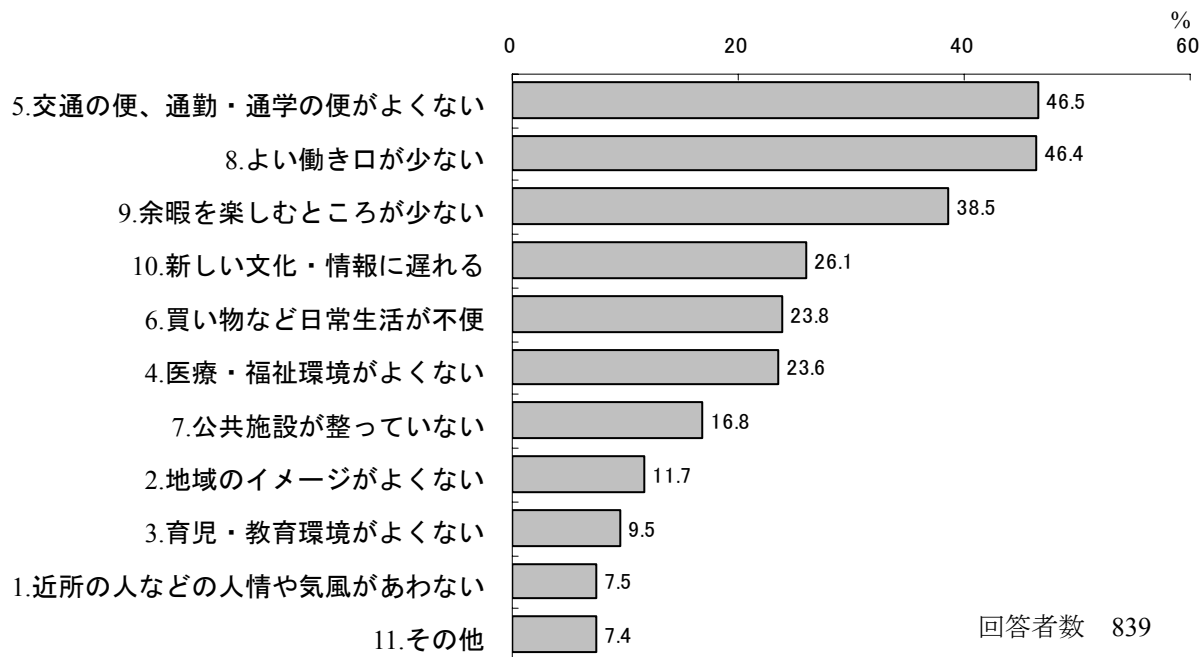
(単位：%)





- ▶ すべての年代において「山や川などの自然環境がよい」をあげた人の割合がもっとも高くなっています。

問5 森町のよくないところはどんなところだと思いますか。
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

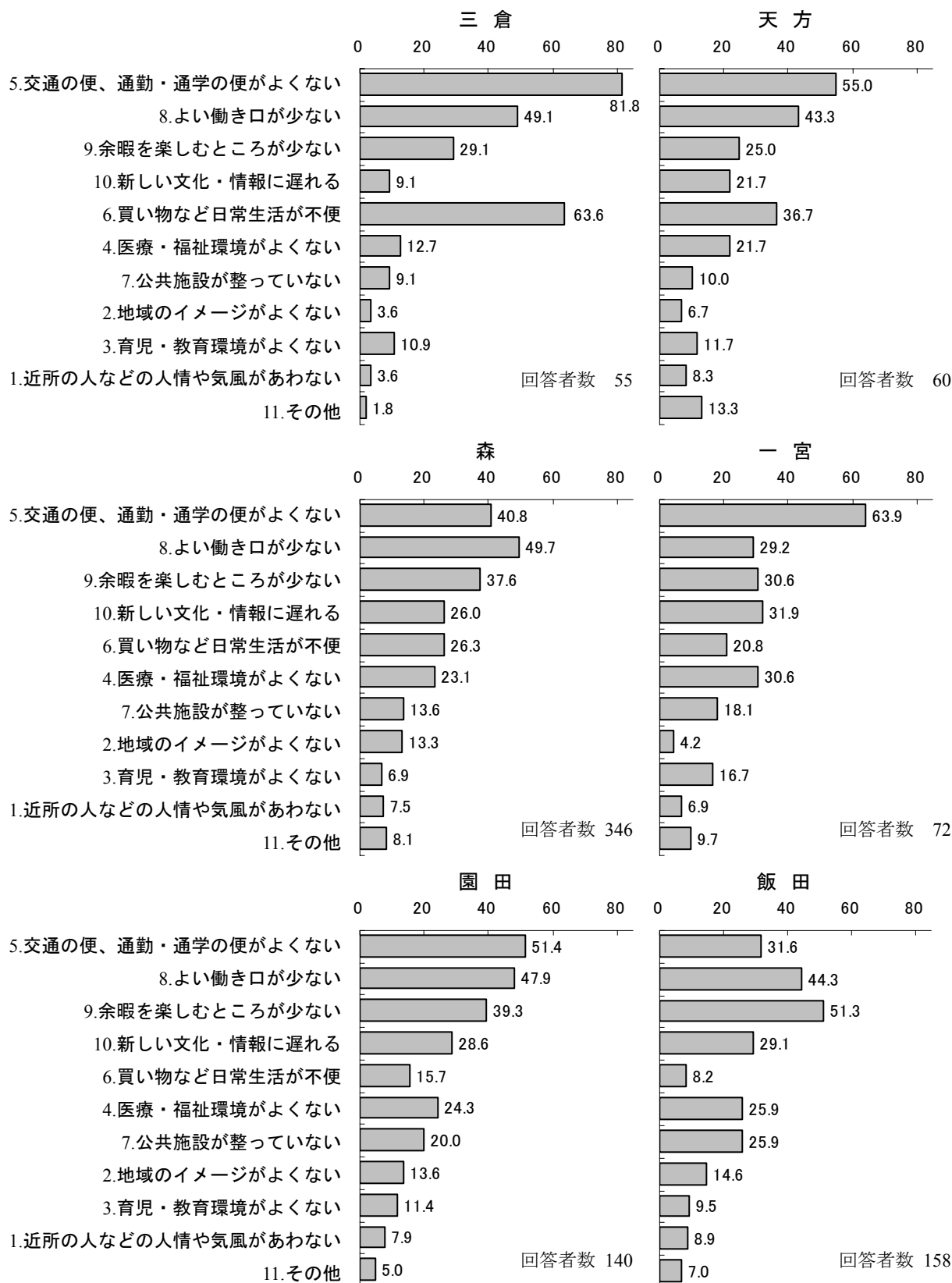


	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.近所の人などの人情や気風があわない	63	2.9%	7.5%
2.地域のイメージがよいくない	98	4.5%	11.7%
3.育児・教育環境がよいくない	80	3.7%	9.5%
4.医療・福祉環境がよいくない	198	9.2%	23.6%
5.交通の便、通勤・通学の便がよいくない	390	18.0%	46.5%
6.買い物など日常生活が不便	200	9.2%	23.8%
7.公共施設が整っていない	141	6.5%	16.8%
8.よい働き口が少ない	389	18.0%	46.4%
9.余暇を楽しむところが少ない	323	14.9%	38.5%
10.新しい文化・情報に遅れる	219	10.1%	26.1%
11.その他	62	2.9%	7.4%
計	2,163	100.0%	

- 森町のよくないところとして「交通の便、通勤・通学の便がよいくない」をあげた人が 46.5%と高く、ほぼ同率で「よい働き口が少ない」(46.4%)、次いで「余暇を楽しむところが少ない」(38.5%)、「新しい文化・情報に遅れる」(26.1%)、「買い物など日常生活が不便」(23.8%)、「医療・福祉環境がよいくない」(23.6%)となっています。
- 「その他」の意見では、閉鎖的、道路整備が遅れているといった記述がみられました。

○地区別

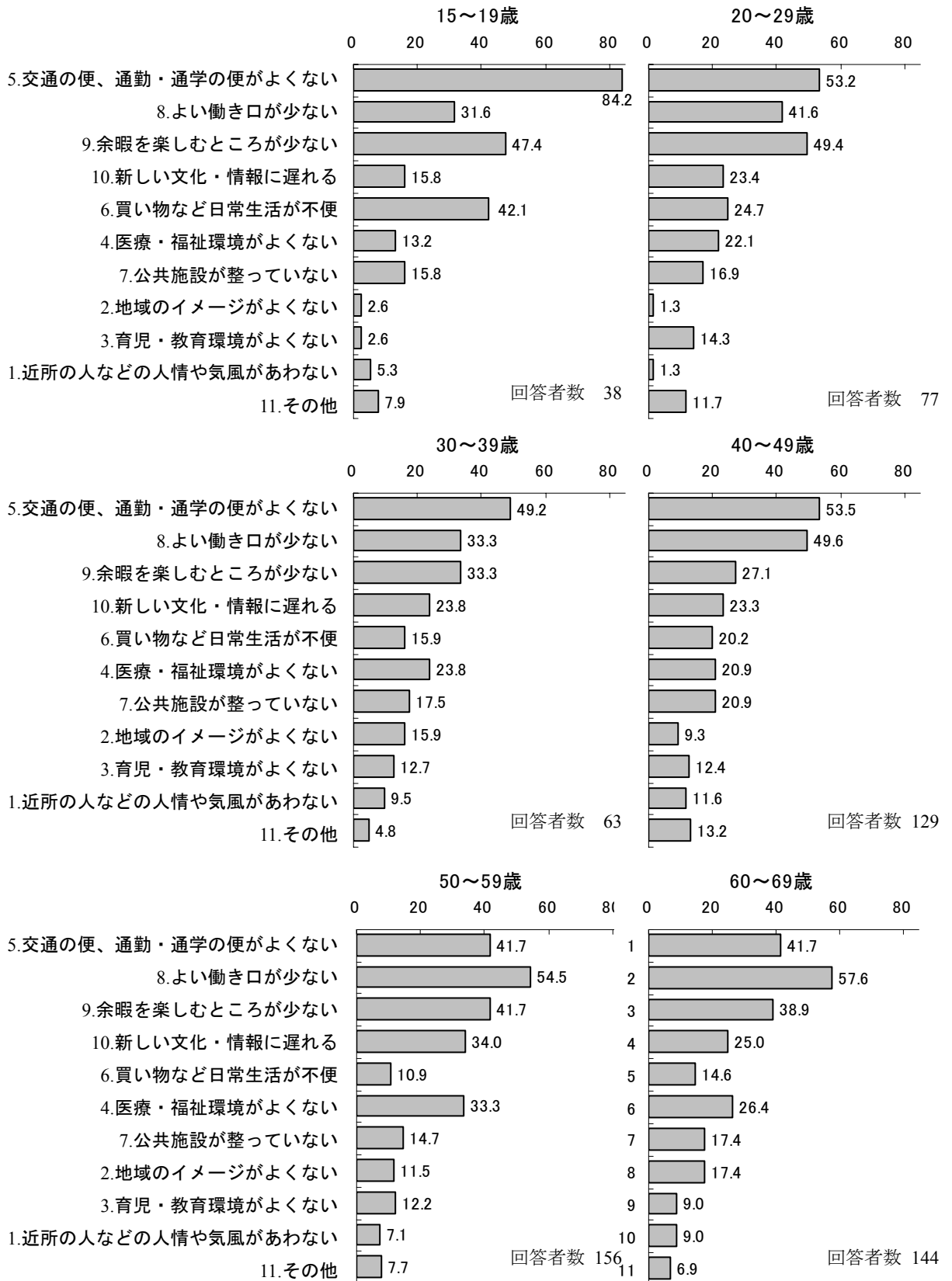
(単位：%)

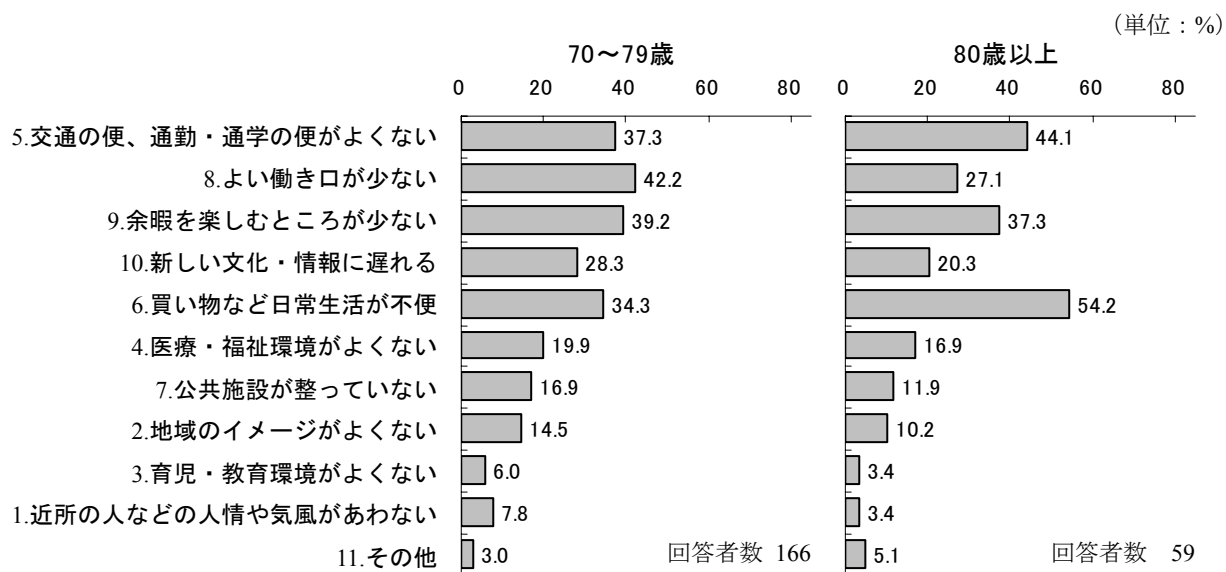


- 「交通の便、通勤・通学の便がよいくない」をあげた人の割合が三倉地区 81.8%、一宮地区 63.9%、天方地区 55.0%、園田地区 51.4%と高く、逆に飯田地区では 31.6%と低く、地域間格差がみられます。
- 「よい働き口が少ない」についても地区によって 1 番から 4 番と、地域間格差が見られます。

○年代別

(単位：%)

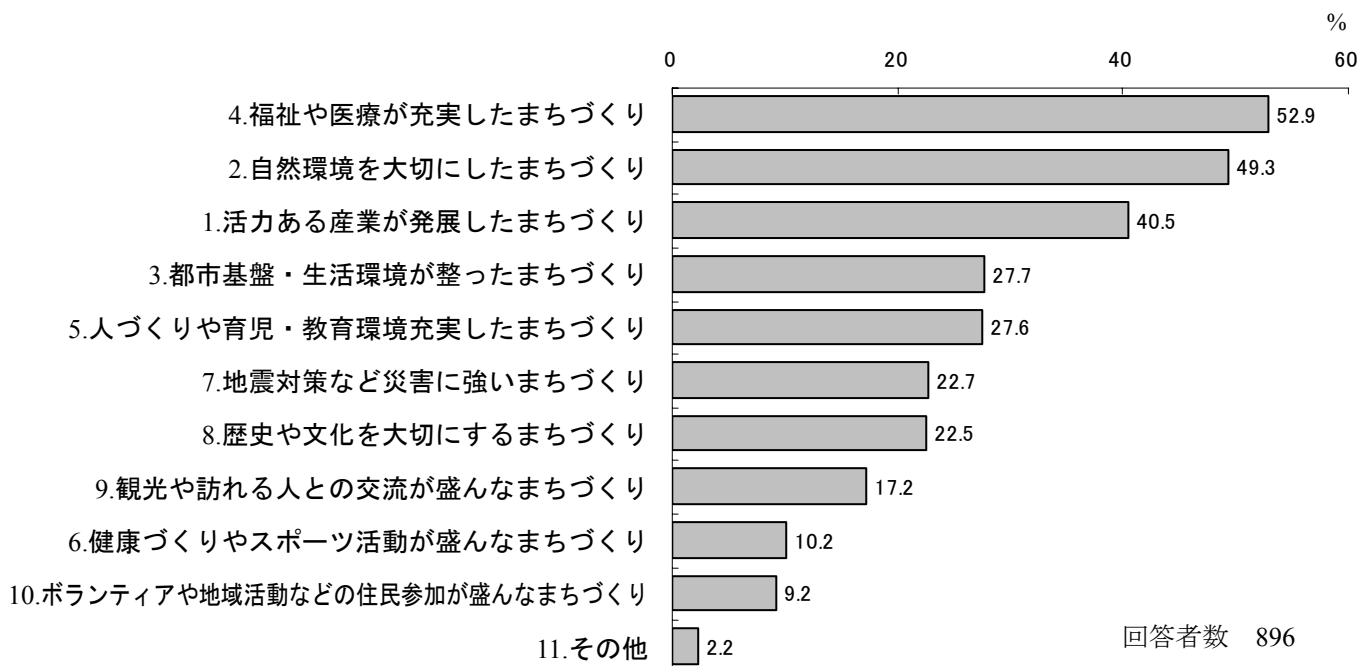




- 「交通の便、通勤・通学の便がよいくない」をあげた人の割合が15~19歳(84.2%)で非常に高くなっています。
- 「よい働き口が少ない」については40~49歳(49.6%)、50~59歳(54.5%)、60~69歳(57.6%)の中高年で高くなっています。

問6 森町は今後どのようなまちづくりに力を入れていくべきだと思いますか。

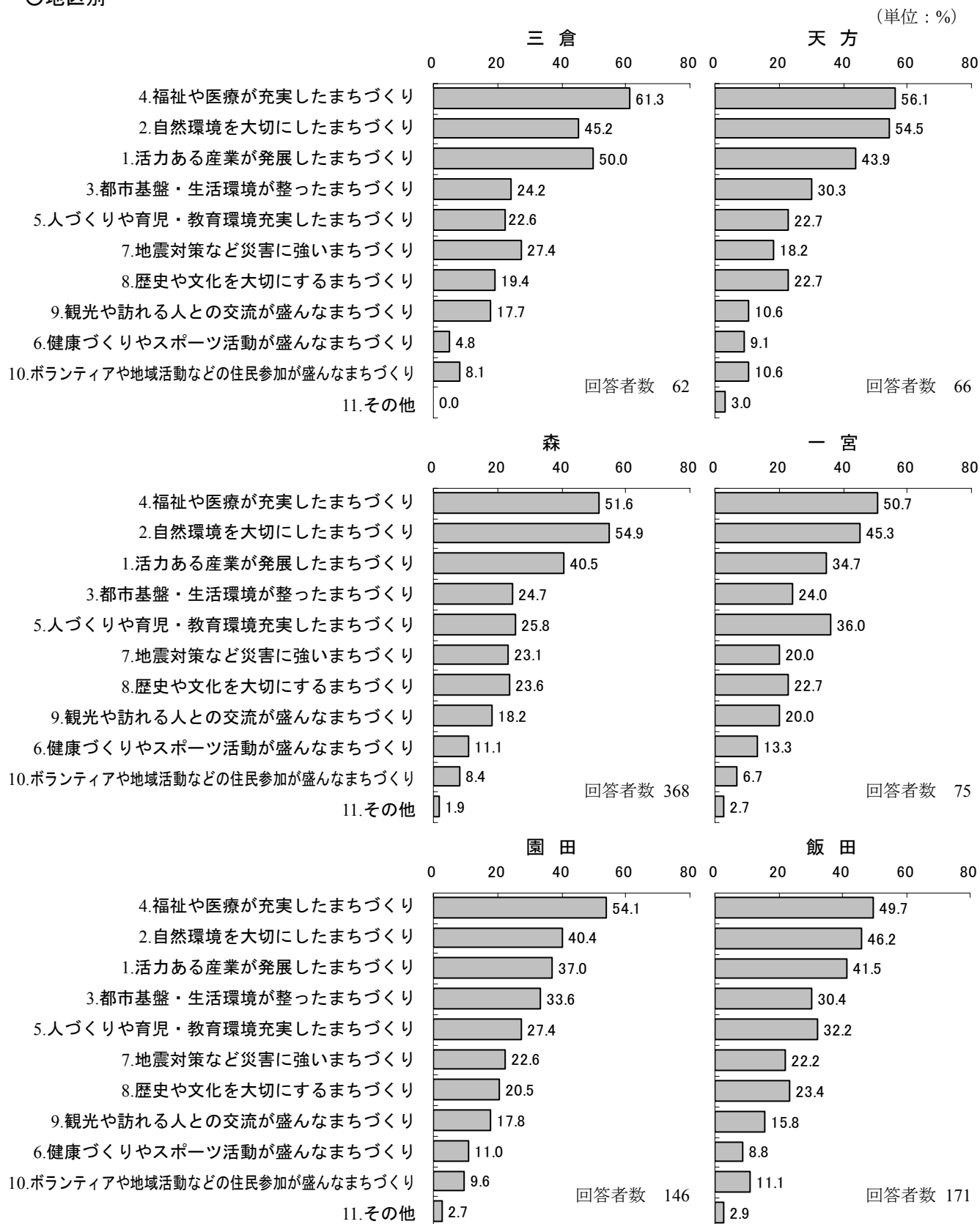
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。



	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.活力ある産業が発展したまちづくり	363	14.4%	40.5%
2.自然環境を大切にしたまちづくり	442	17.5%	49.3%
3.都市基盤・生活環境が整ったまちづくり	248	9.8%	27.7%
4.福祉や医療が充実したまちづくり	474	18.8%	52.9%
5.人づくりや育児・教育環境が充実したまちづくり	247	9.8%	27.6%
6.健康づくりやスポーツ活動が盛んなまちづくり	91	3.6%	10.2%
7.地震対策など災害に強いまちづくり	203	8.0%	22.7%
8.歴史や文化を大切にするまちづくり	202	8.0%	22.5%
9.観光や訪れる人との交流が盛んなまちづくり	154	6.1%	17.2%
10.ボランティアや地域活動などの住民参加が盛んなまちづくり	82	3.2%	9.2%
11.その他	20	0.8%	2.2%
計	2,526	100.0%	

- ▶ 今後力を入れるべきまちづくりの方向として、「福祉や医療が充実したまちづくり」をあげた人が 52.9% ともっとも高く、次いで「自然環境を大切にしたまちづくり」(49.3%)、「活力ある産業が発展したまちづくり」(40.5%)となっています。一方で「ボランティアや地域活動などの住民参加が盛んなまちづくり」をあげた人は9.2%にとどまっています。
- ▶ 「その他」の意見では、小京都と呼ばれるのにふさわしいまちづくり、働けなくなっても安心して住めるまちづくりといった記述がみられました。

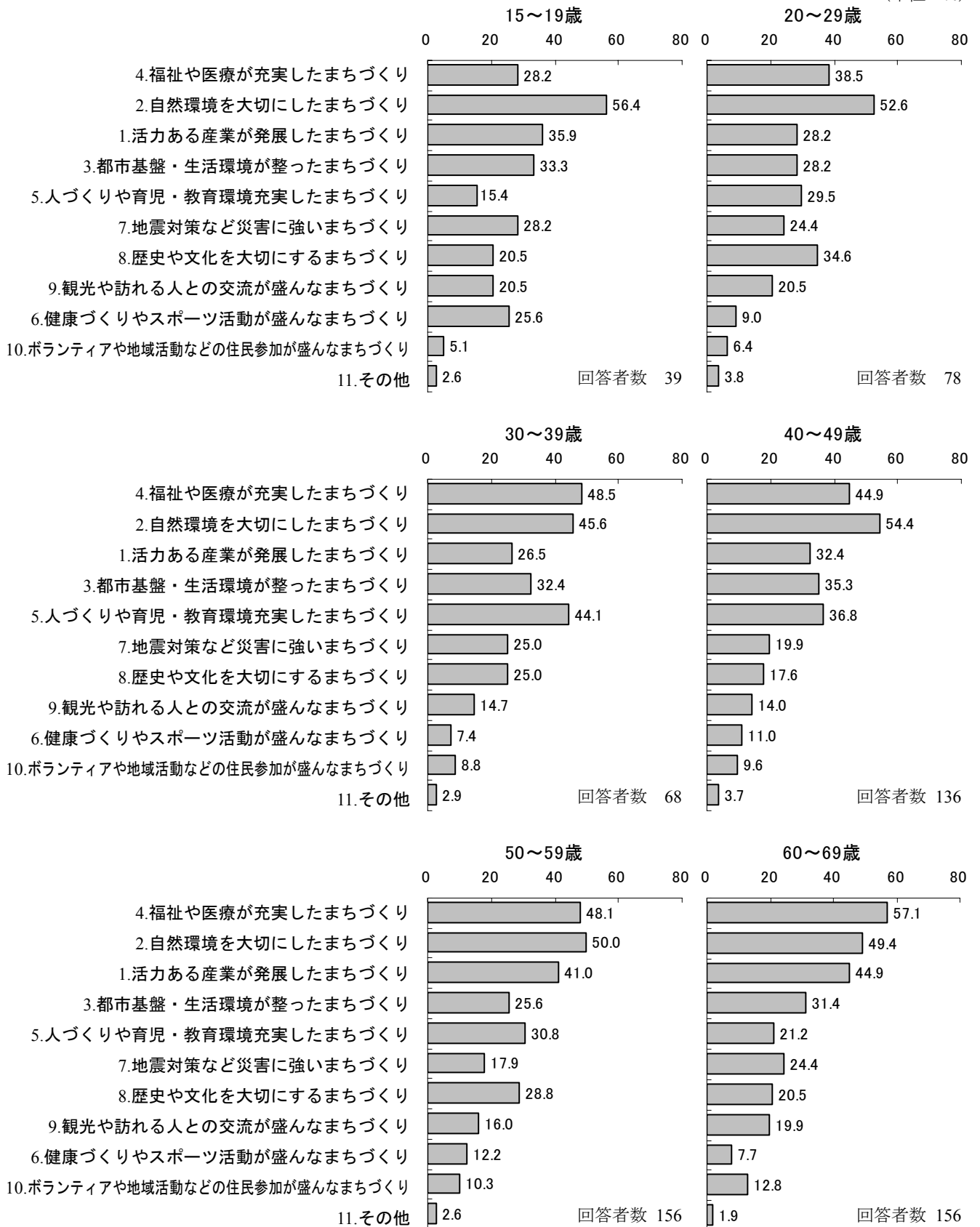
○地区別

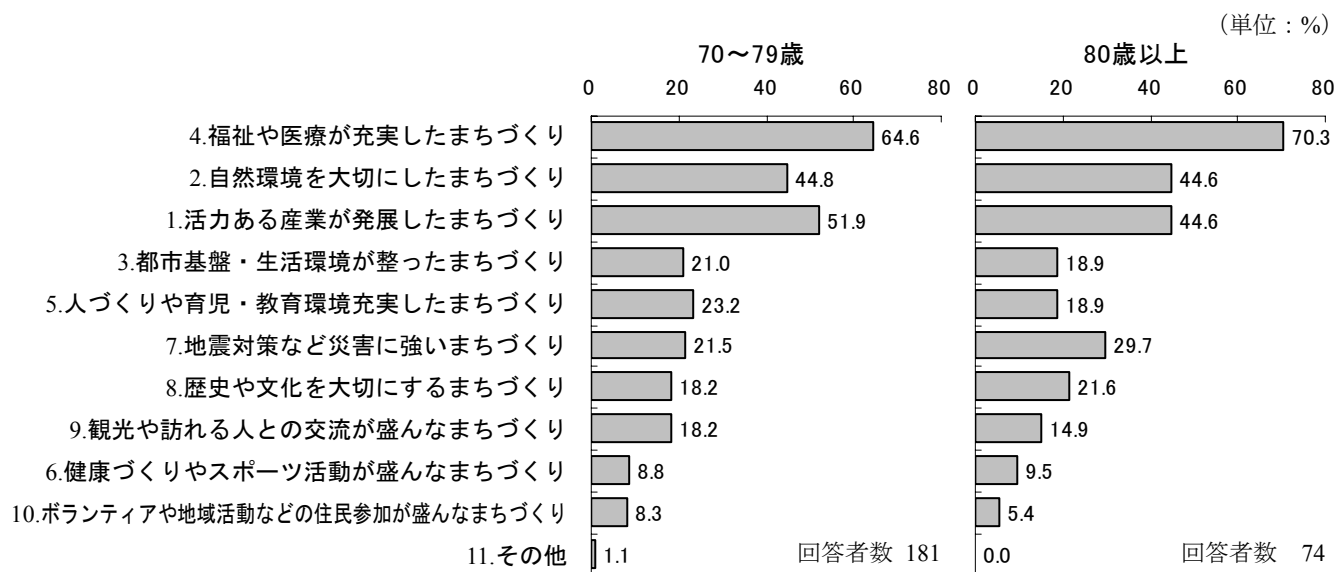


➤ 森地区以外は「福祉や医療が充実したまちづくり」をあげた人の割合がもっとも高く、森地区では「自然環境を大切にしたいまちづくり」をあげた人の割合が高くなっています。

○年代別

(単位：%)

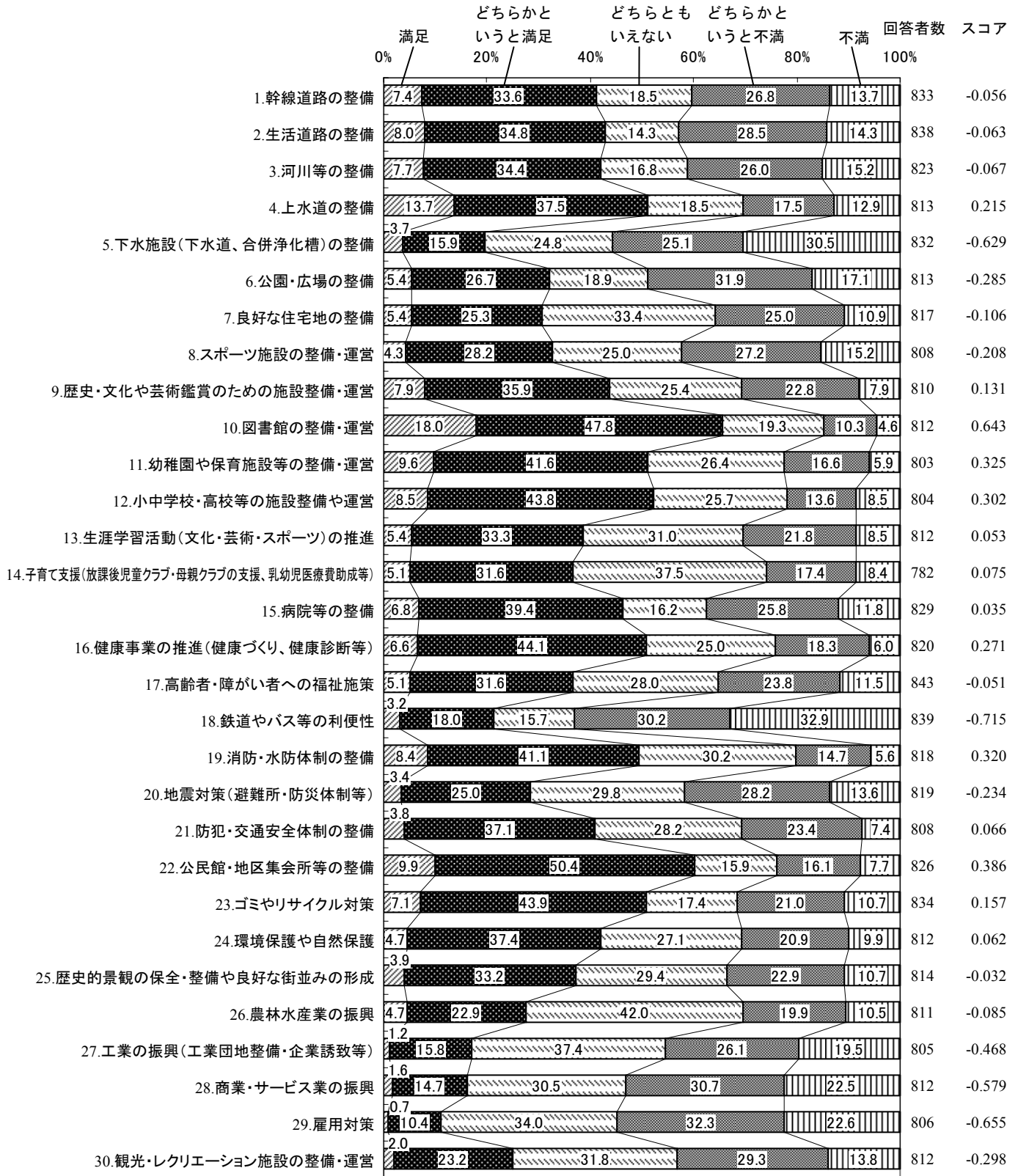




- 15～19歳、20～29歳、40～49歳、50～59歳では、「自然環境を大切にしたまちづくり」をあげた人の割合がもっとも高く、30～39歳、60～69歳、70～79歳、80歳以上では「福祉や医療が充実したまちづくり」をあげた人の割合がもっとも高くなっています。

問7 現在の森町の取り組みに対する「満足度」をおたずねします。

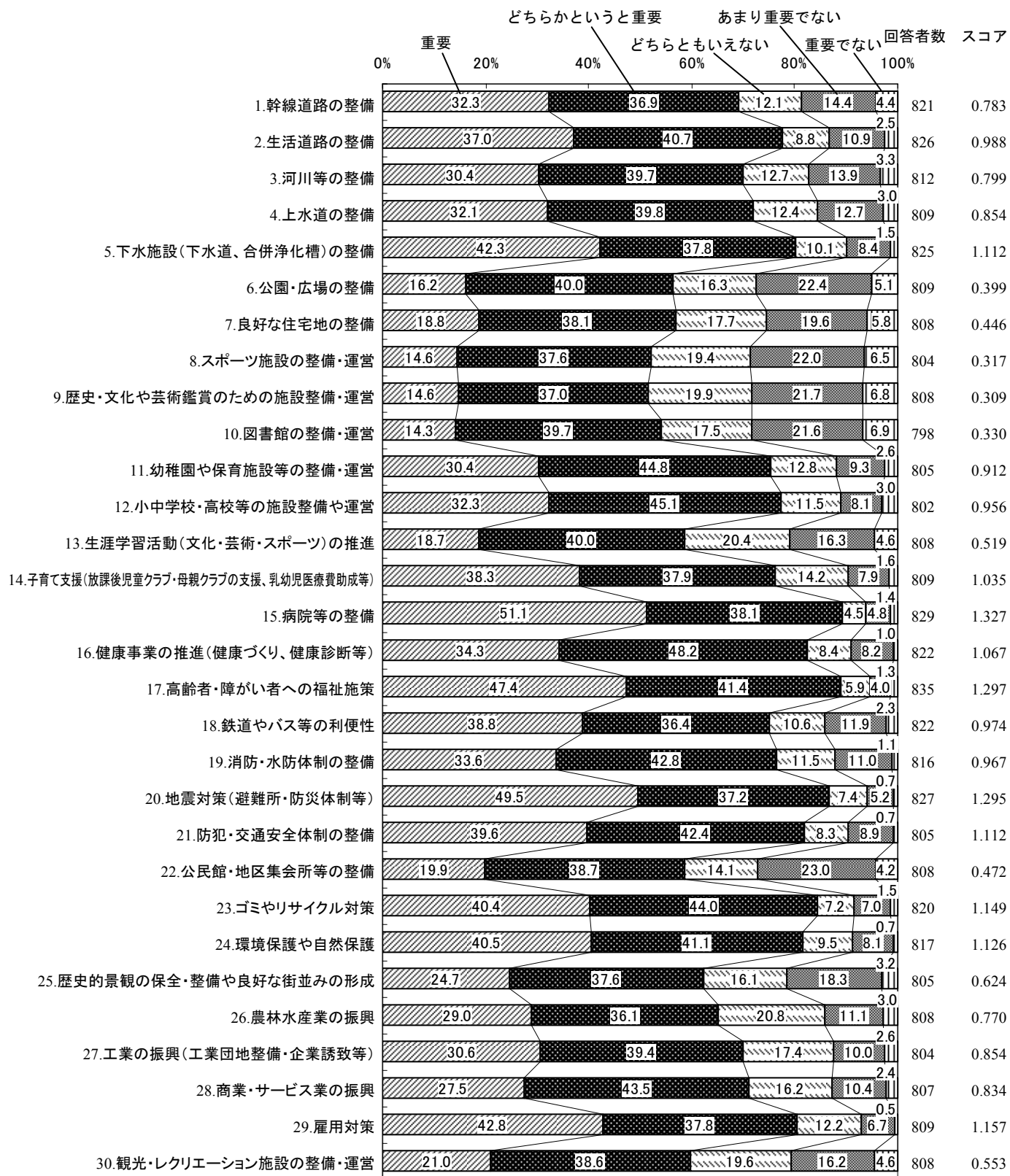
次のそれぞれの事項について、あてはまる評価の番号に○をつけてください。



(注) 評価を比較するため、以下のようにスコア変換を行っています。

満足	どちらかという満足	どちらともいえない	どちらかという不満	不満
2	1	0	-1	-2

問8 今後、ますます厳しくなる財政状況の中で、森町の取り組みに関する「重要度」をおたずねします。次のそれぞれの事項について、あてはまる評価の番号に○をつけてください。

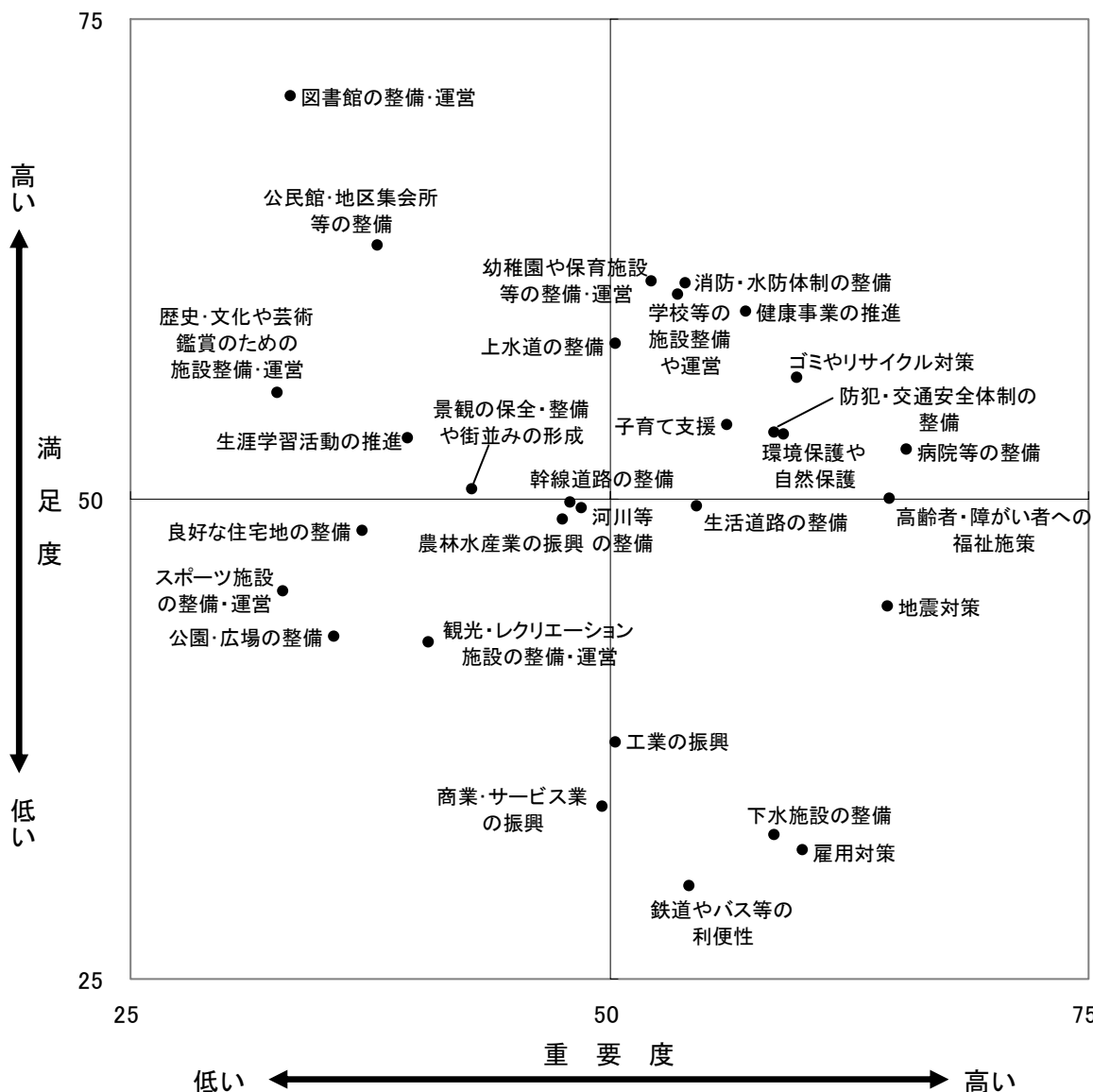


(注) 評価を比較するため、以下のようにスコア変換を行っています。

重要	どちらかという重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
2	1	0	-1	-2

- 問7・問8では、森町の取り組みについて満足度及び重要度を5つの評価に分けてたずねました。
- 満足度（「満足」及び「どちらかという満足」の割合）が高いものは、「図書館の整備・運営」（65.8%）、「公民館・地区集会所等の整備」（60.3%）、「小中学校・高校等の施設整備や運営」（52.2%）、「幼稚園や保育施設等の整備・運営」（51.2%）、「上水道の整備」（51.2%）の順となっています。一方で「不満」及び「どちらかという不満」の割合が高いものは、「鉄道やバス等の利便性」（53.1%）、「下水施設（下水道、合併浄化槽等）の整備」（55.6%）、「雇用対策」（54.8%）、「商業・サービス業の振興」（53.2%）、「公園・広場の整備」（49.0%）の順となっています。
- 重要度（「重要」及び「どちらかという重要」の割合）が高いものは、「病院等の整備」（89.3%）、「高齢者・障がい者への福祉施策」（88.9%）、「地震対策（避難所・防災体制等）」（86.7%）、「ゴミやリサイクル対策」（84.4%）、「健康事業の推進（健康づくり、健康診断等）」（82.5%）の順となっています。

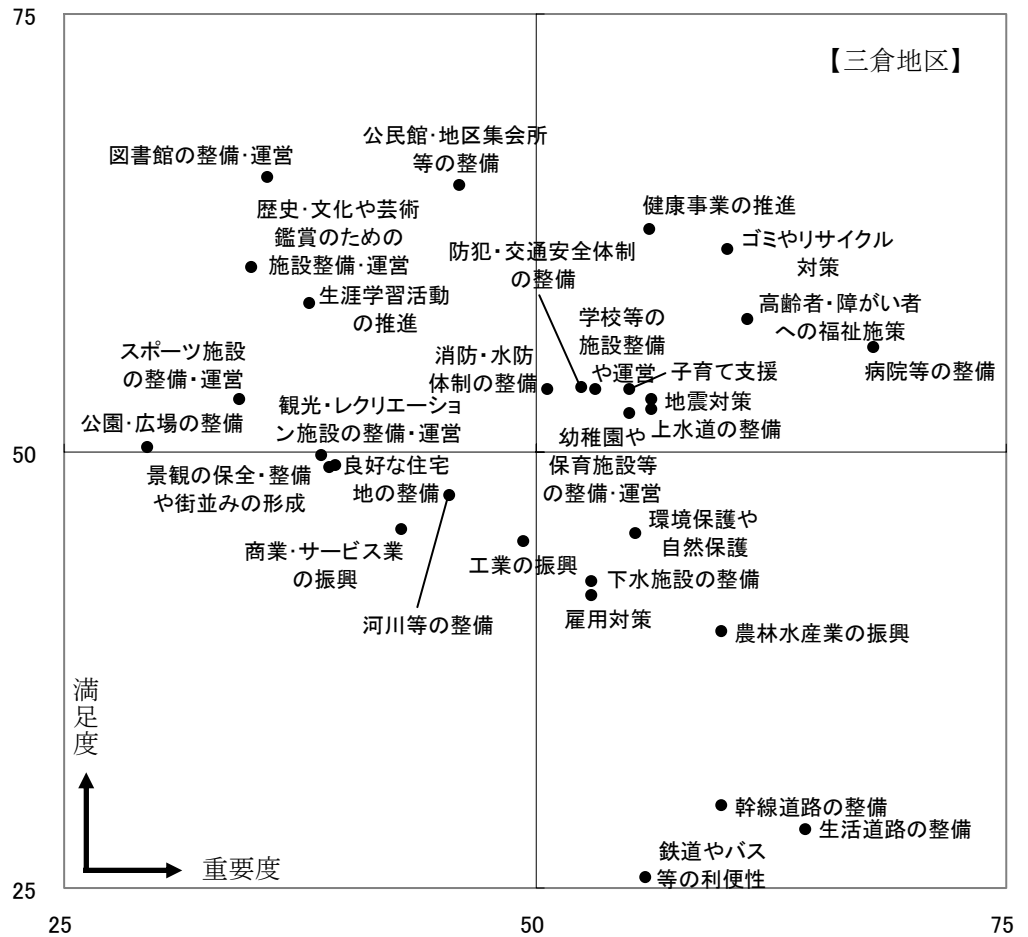
【満足度×重要度】



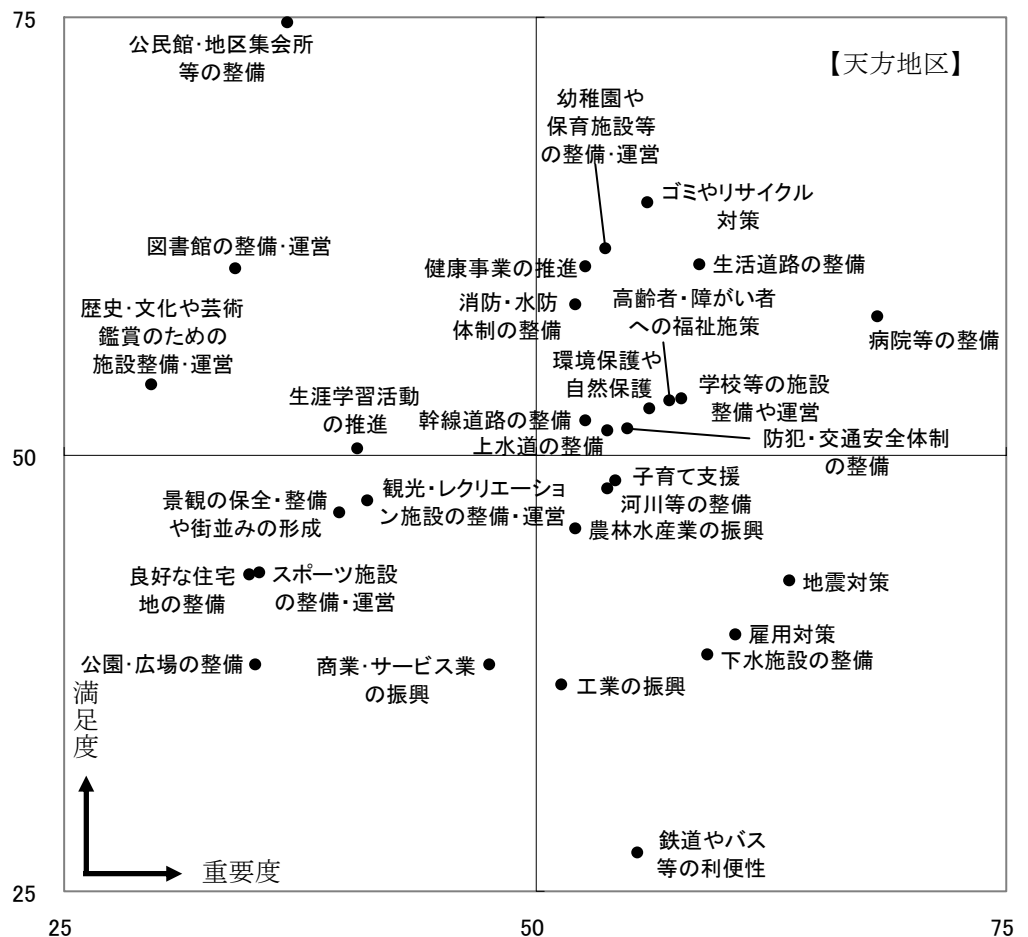
- 問7で算出した満足度のスコアと問8で算出した重要度のスコアから偏差値を算出し、散布図におとしました。重要度が高く満足度が低いものほど改善の必要性が高いと考えられますが、「雇用対策」や「下水施設（下水道、合併浄化槽等）の整備」、「鉄道やバス等の利便性」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「高齢者・障がい者への福祉施策」、「工業の振興（工業団地整備・企業誘致等）」、「生活道路の整備」が改善の必要性が高いといえます。

○地区別

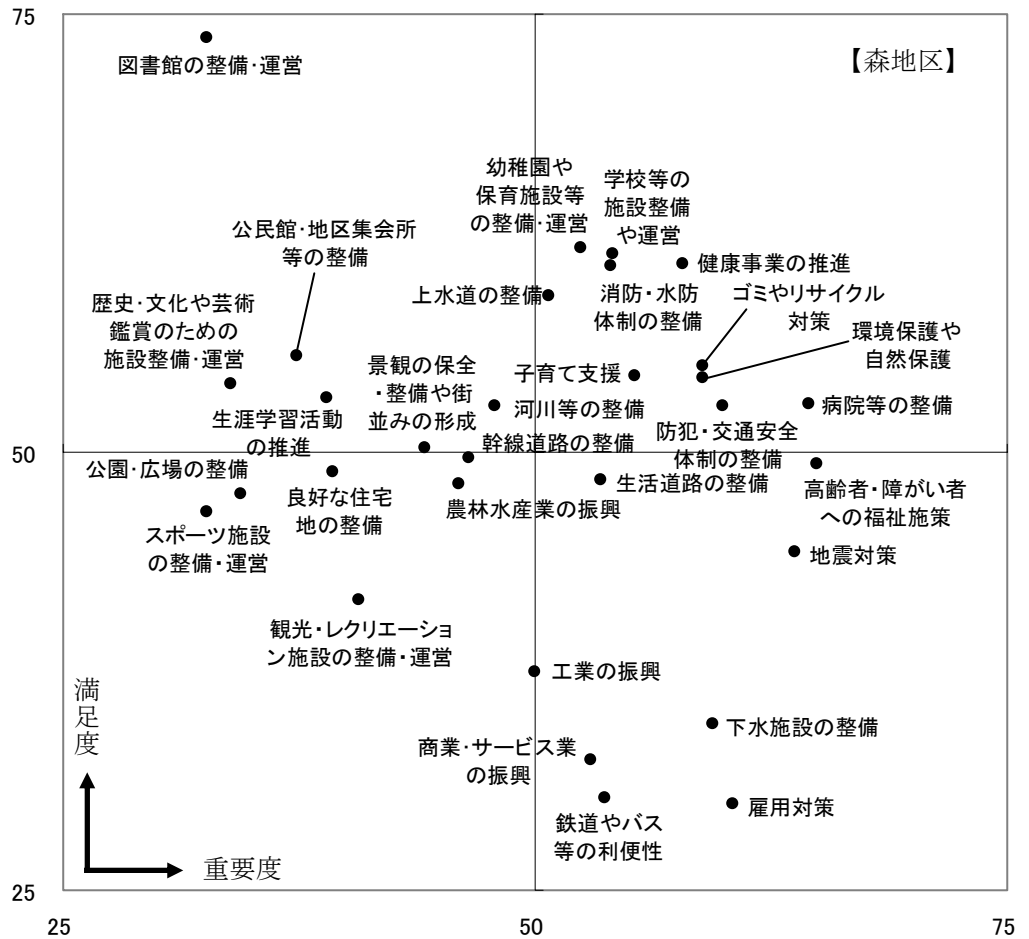
- 6地区それぞれについて、満足度と重要度の偏差値を算出し、散布図におとしました。
- 三倉地区では、「生活道路の整備」、「幹線道路の整備」、「鉄道やバス等の利便性」、「農林水産業の振興」、「環境保護や自然保護」、「雇用対策」、「下水施設（下水道、合併浄化槽）の整備」が改善の必要度が高いといえます。



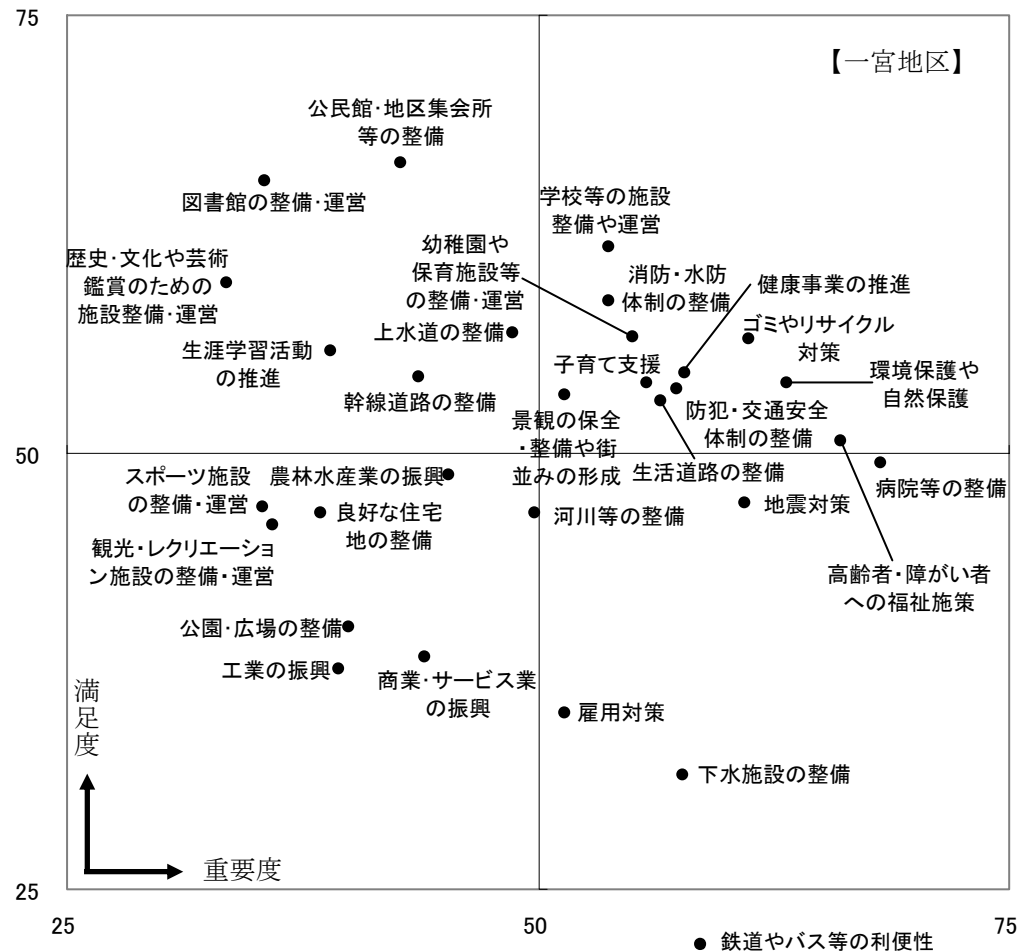
- 天方地区では、「鉄道やバス等の利便性」、「雇用対策」、「下水施設（下水道、合併浄化槽）の整備」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「工業の振興（工業団地整備・企業誘致等）」、「農林水産業の振興」、「河川等の整備」、「子育て支援（放課後児童クラブ・母親クラブの支援・乳幼児医療費助成等）」が改善の必要度が高いといえます。



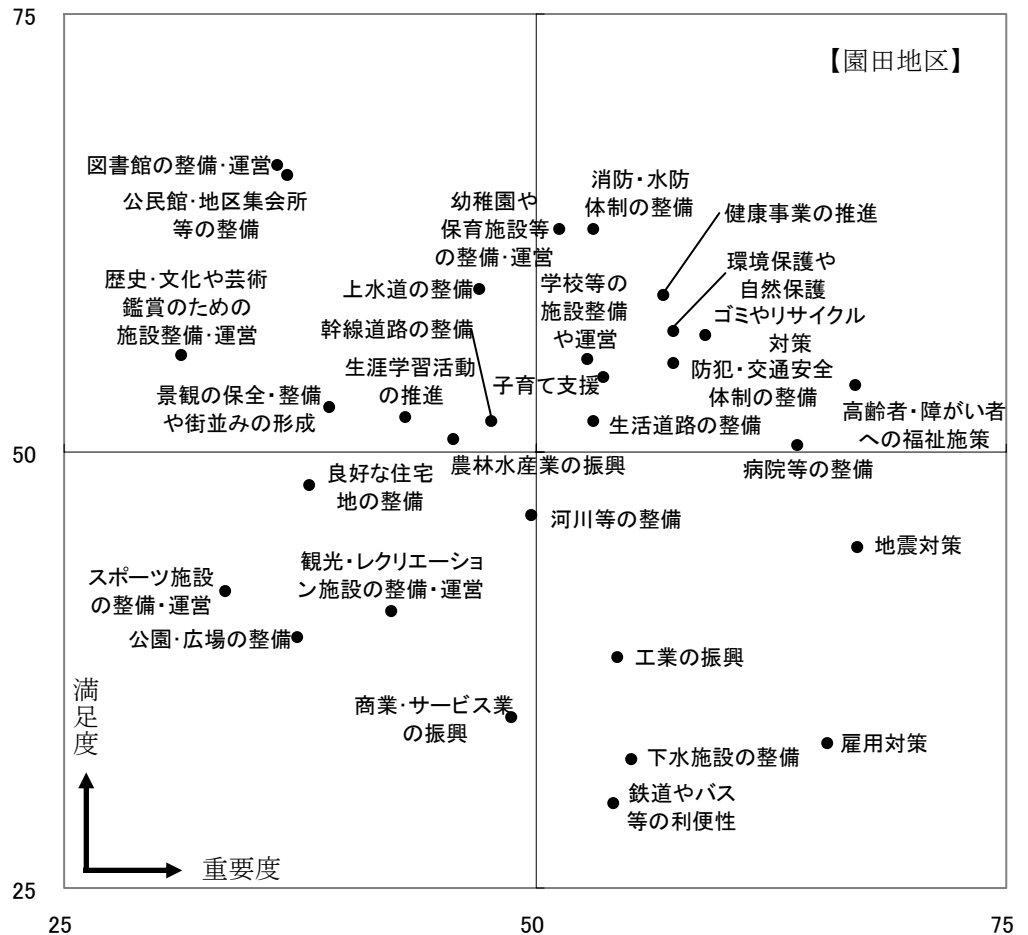
- 森地区では、「雇用対策」、「下水施設（下水道、合併浄化槽）の整備」、「鉄道やバス等の利便性」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「商業・サービス業の振興」、「高齢者・障がい者への福祉施策」、「生活道路の整備」が改善の必要性が高いといえます。



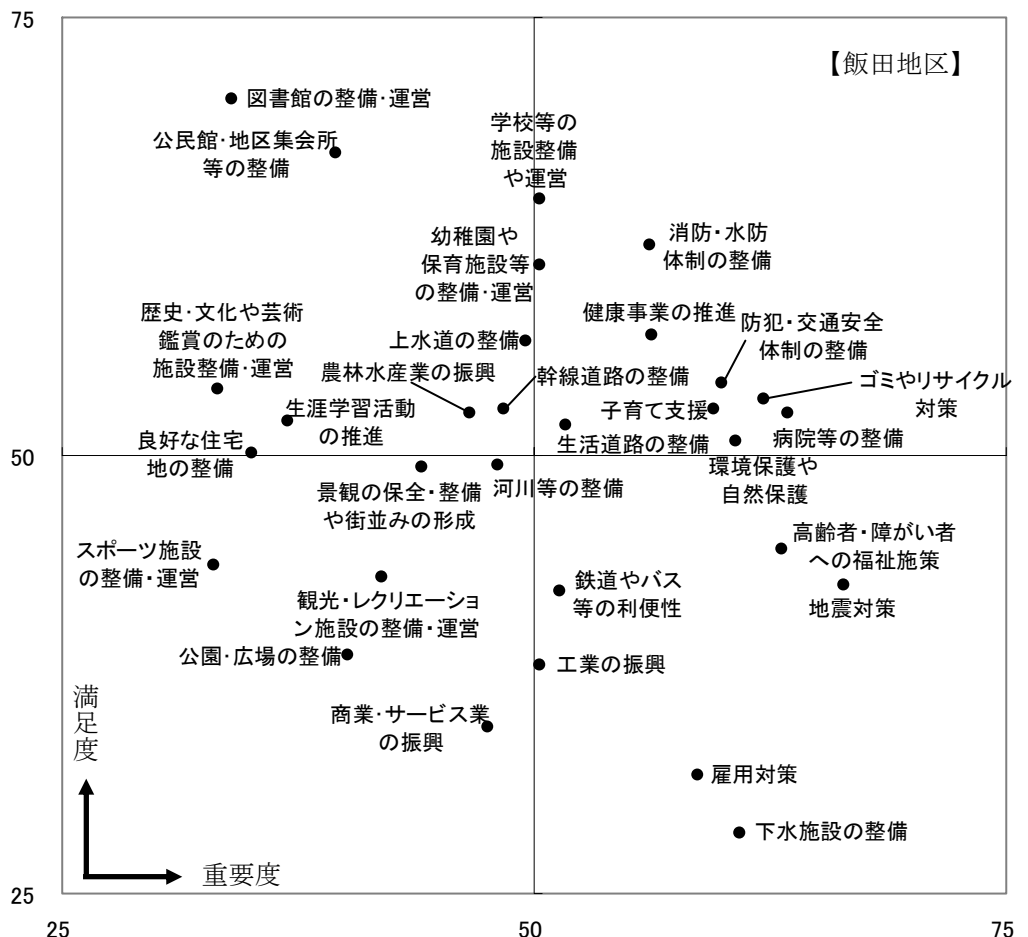
- 一宮地区では、「鉄道やバス等の利便性」、「下水施設（下水道、合併浄化槽）の整備」、「病院等の整備」、「雇用対策」、「地震対策（避難所・防災体制等）」が改善の必要性が高いといえます。



- 園田地区では、「雇用対策」、「鉄道やバス等の利便性」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「下水道施設（下水道、合併浄化槽）の整備」、「工業の振興（工業団地整備・企業誘致等）」が改善の必要性が高いといえます。

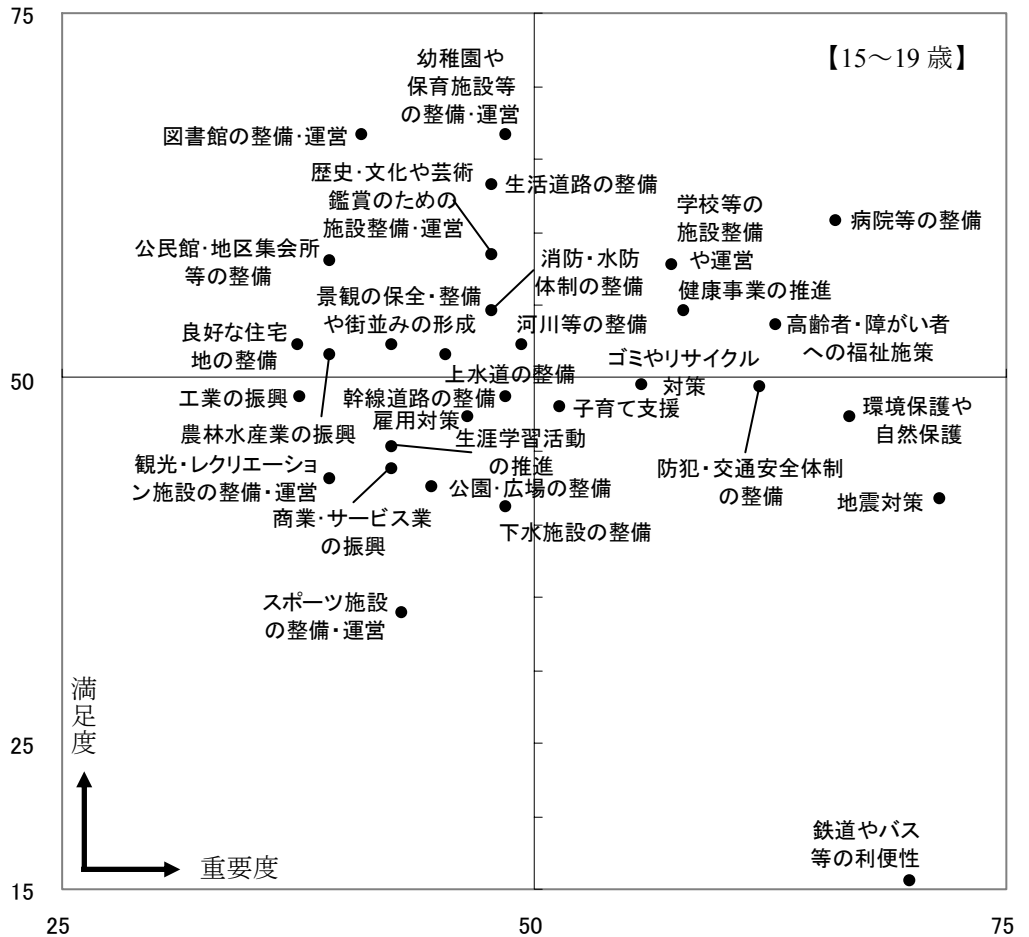


- 飯田地区では、「下水道施設（下水道、合併浄化槽）の整備」、「雇用対策」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「高齢者・障がい者への福祉施策」、「工業の振興（工業団地整備・企業誘致等）」、「鉄道やバス等の利便性」が改善の必要性が高いといえます。

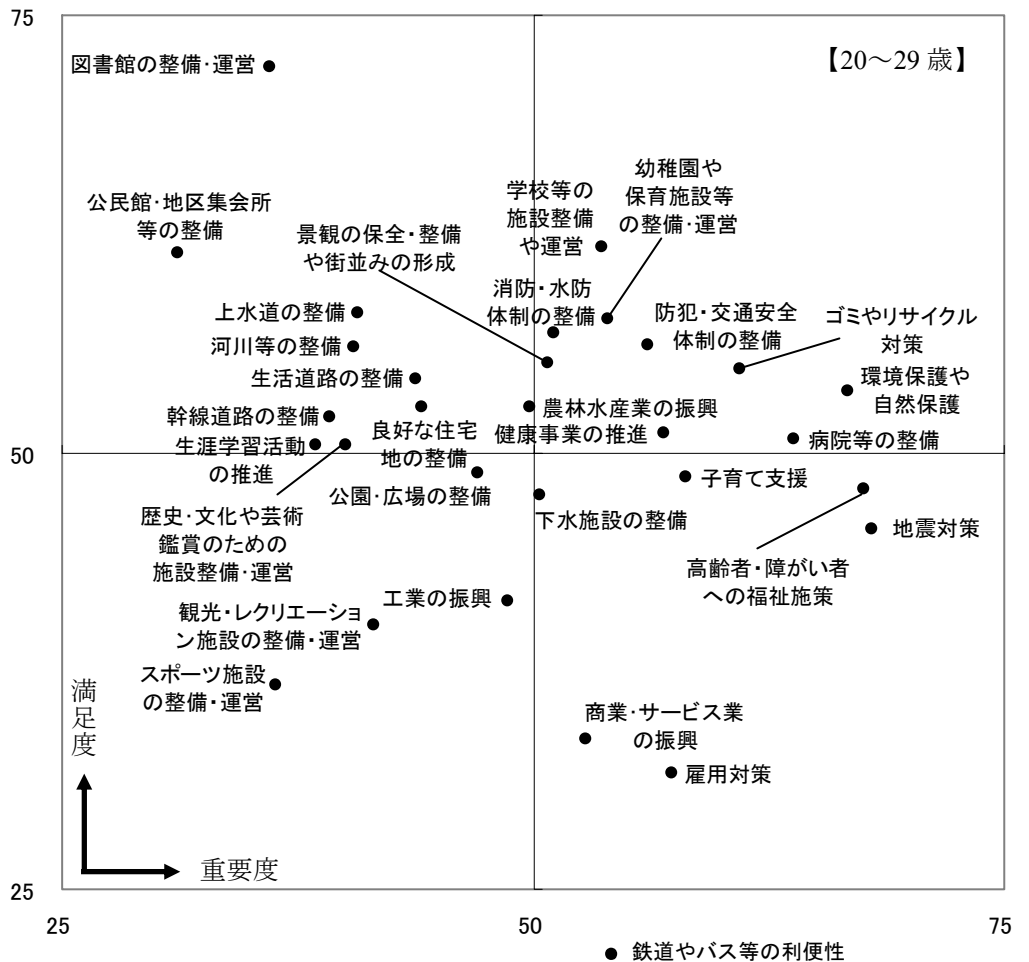


○年代別

- 10 歳代～80 歳以上までの 8 つの年代それぞれについて、満足度と重要度の偏差値を算出し、散布図におとしました。
- 15～19 歳では、「鉄道やバス等の利便性」がもっとも改善の必要が高いといえます。次いで「地震対策（避難所・防災体制等）」、「環境保護や自然保護」、「防犯・交通安全体制の整備」が高くなっています。

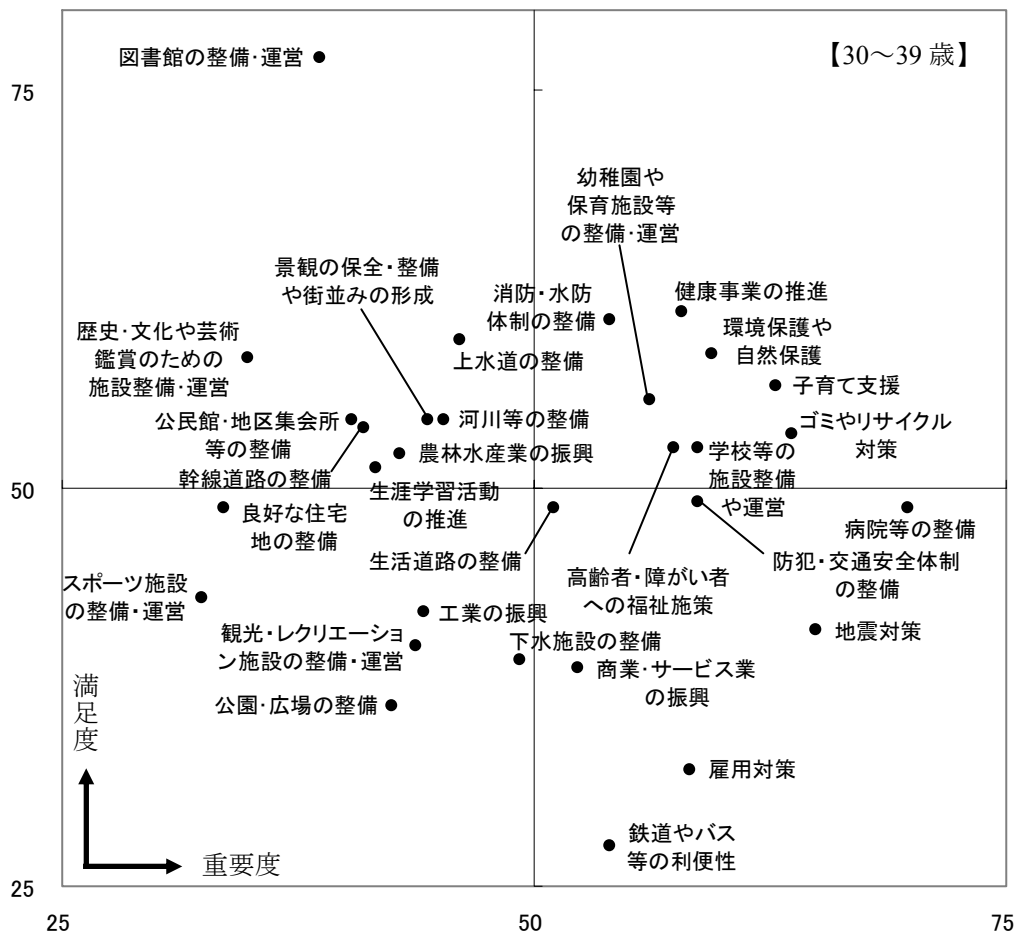


- 20～29 歳では、「鉄道やバス等の利便性」、「雇用対策」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「高齢者・障がい者への福祉施策」、「商業・サービス業の振興」、「子育て支援（放課後児童クラブ・母親クラブの支援、乳幼児医療費助成等）」、「下水施設（下水道、合併浄化槽）の整備」が改善の必要が高いといえます。

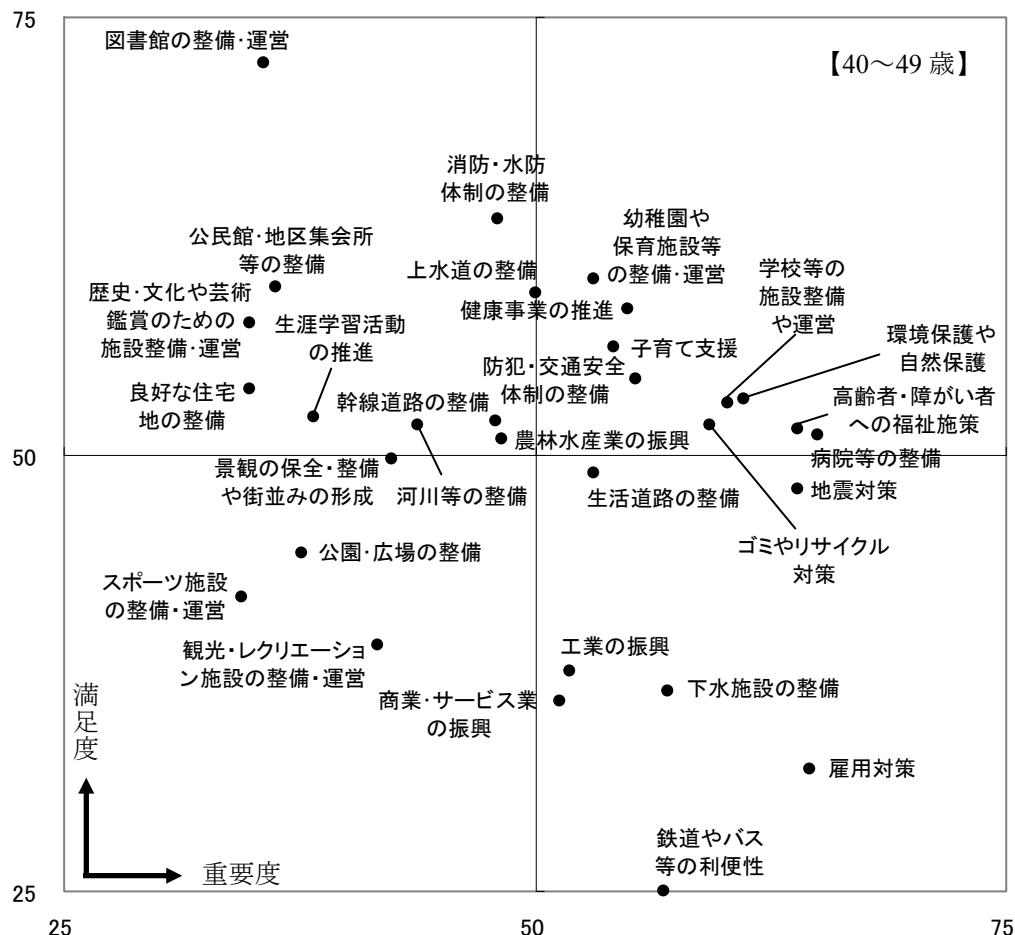


● 鉄道やバス等の利便性

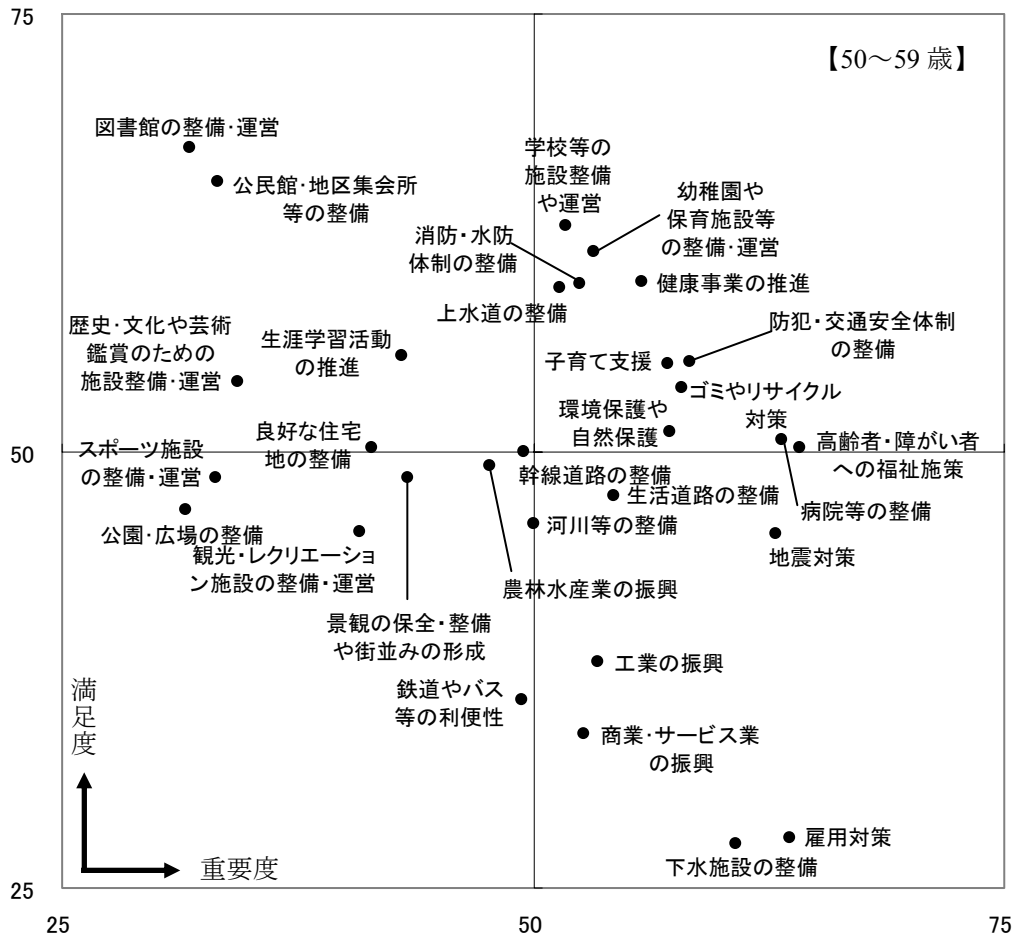
- 30～39歳では、「雇用対策」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「鉄道やバス等の利便性」、「病院等の整備」、「商業・サービス業の振興」、「防犯・交通安全体制の整備」、「生活道路の整備」が改善の必要性が高いといえます。



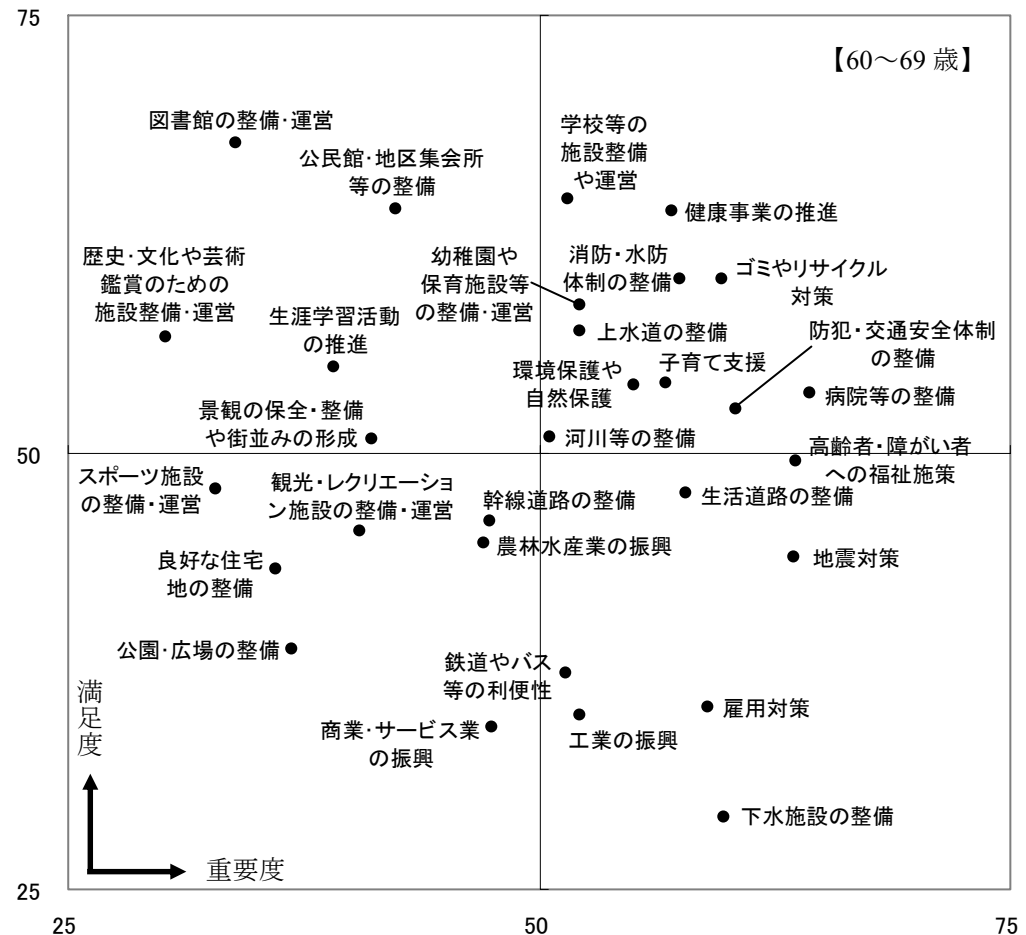
- 40～49歳では、「雇用対策」、「鉄道やバス等の利便性」、「下水施設（下水道、合併浄化槽）の整備」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「商業・サービス業の振興」、「工業の振興（工業団地整備・企業誘致等）」、「生活道路の整備」が改善の必要性が高いといえます。



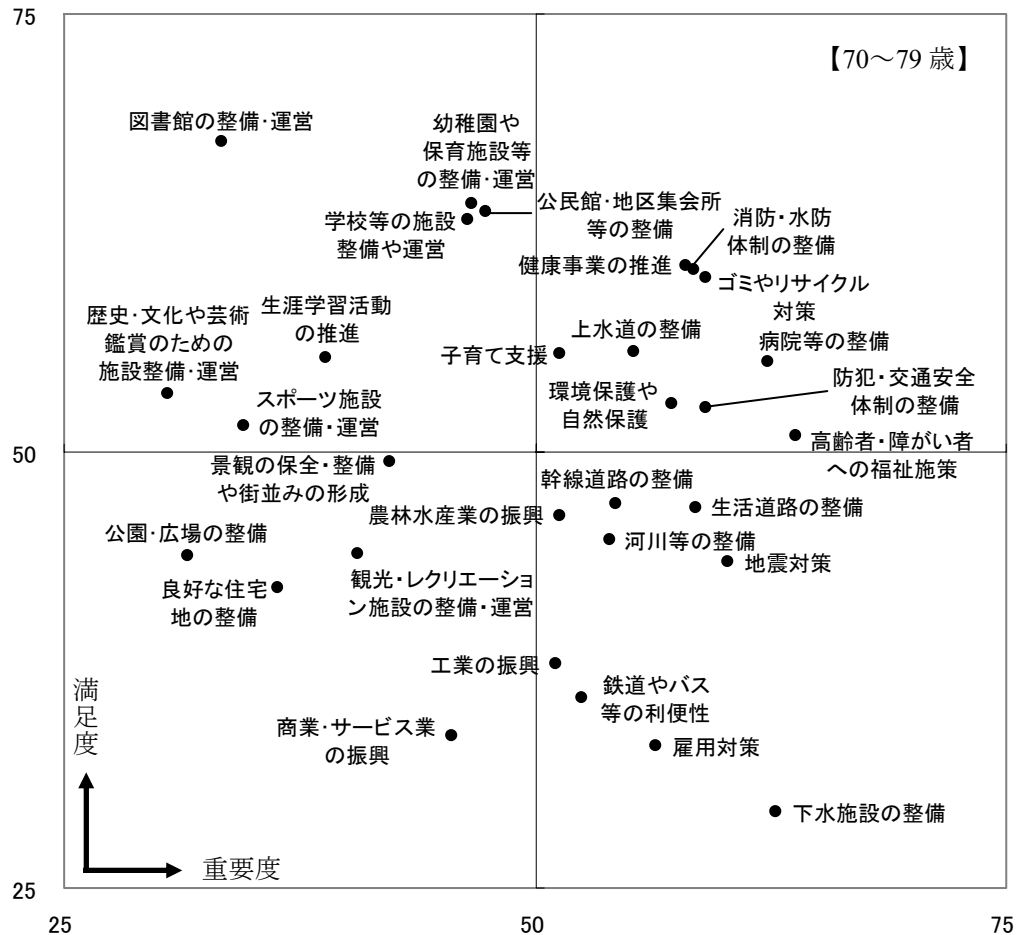
- 50～59歳では、「雇用対策」、「下水施設（下水道、合併浄化槽）の整備」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「商業・サービス業の振興」、「工業の振興（工業団地整備・企業誘致等）」、「生活道路の整備」、「河川等の整備」が改善の必要性が高いといえます。



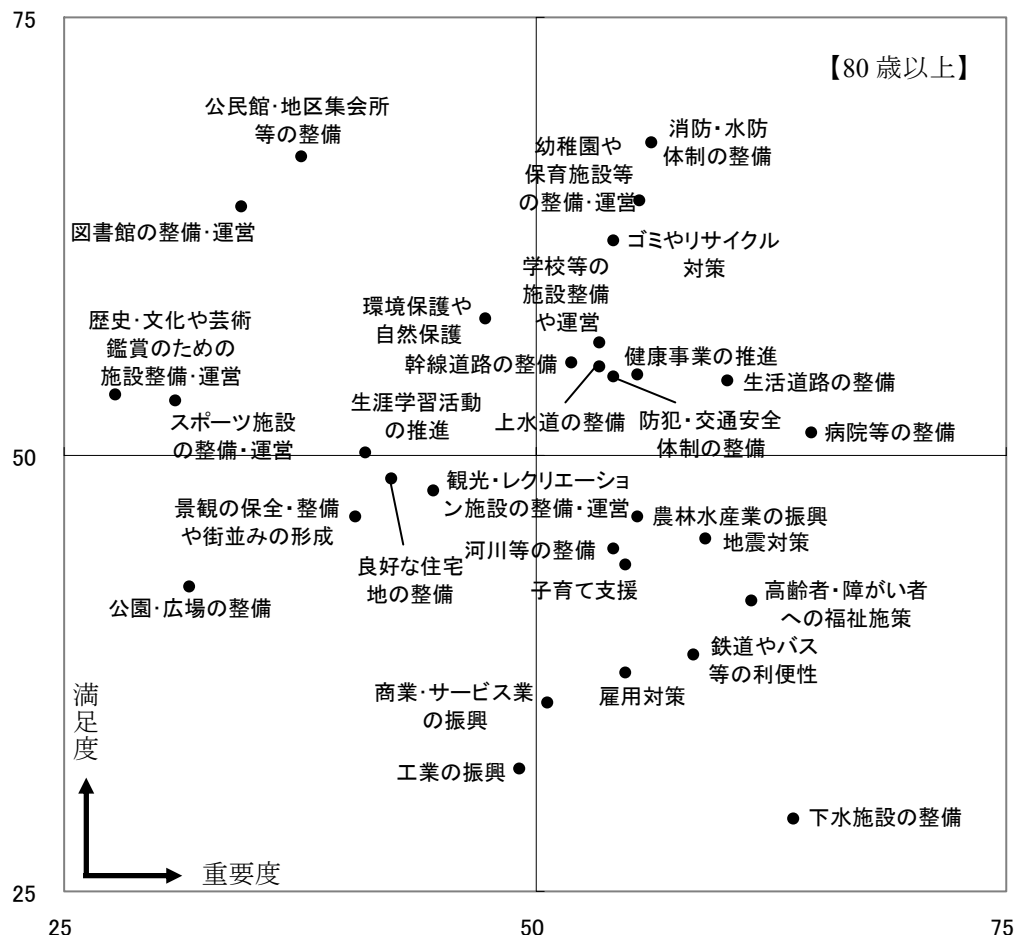
- 60～69歳では、「下水施設（下水道、合併浄化槽）の整備」、「雇用対策」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「工業の振興（工業団地整備・企業誘致等）」、「鉄道やバス等の利便性」、「高齢者・障がい者への福祉施策」、「生活道路の整備」が改善の必要性が高いといえます。



- 70～79 歳では、「下水施設（下水道、合併浄化槽）の整備」、「雇用対策」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「鉄道やバス等の利便性」、「工業の振興（工業団地整備・企業誘致等）」、「生活道路の整備」、「河川等の整備」、「幹線道路の整備」、「農林水産業の振興」が改善の必要性が高いといえます。



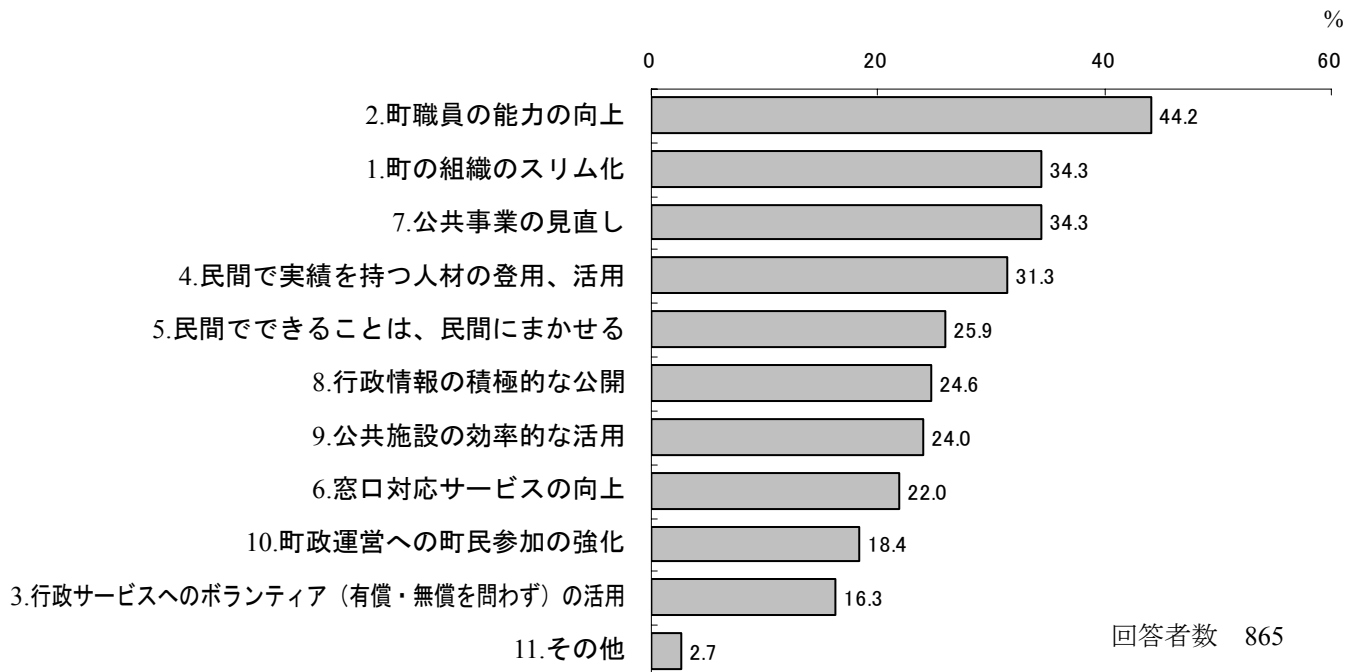
- 80 歳以上では、「下水施設（下水道、合併浄化槽）の整備」、「鉄道やバス等の利便性」、「高齢者・障がい者への福祉施策」、「雇用対策」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「商業・サービス業の振興」、「子育て支援」、「河川等の整備」、「農林水産業の振興」が改善の必要性が高いといえます。



2 今後の町政の進め方についておたずねします。

問9 森町の町政運営について今後どのようなことを望みますか。

次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください

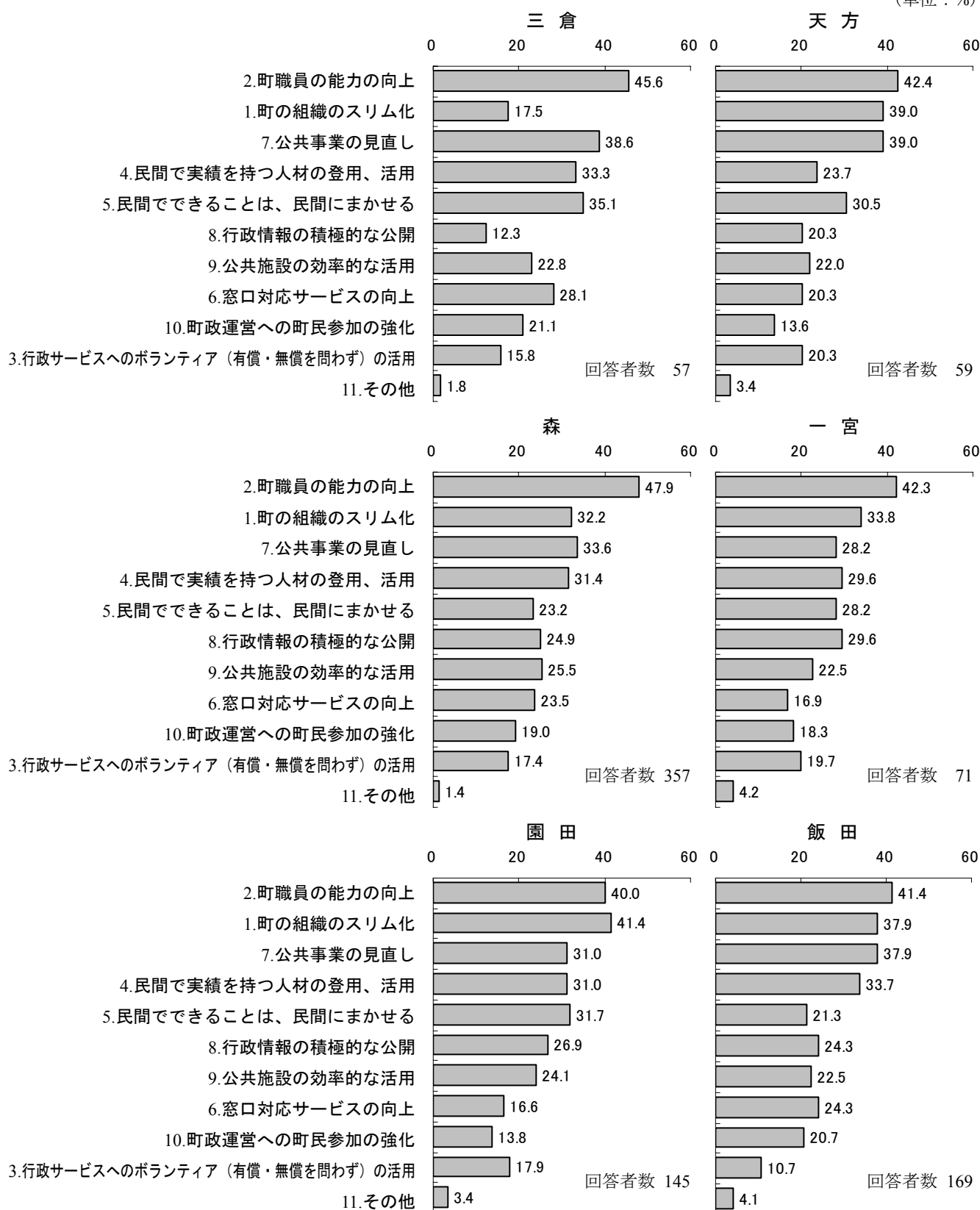


	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.町の組織のスリム化	297	12.3%	34.3%
2.町職員の能力の向上	382	15.9%	44.2%
3.行政サービスへのボランティア（有償・無償を問わず）の活用	141	5.9%	16.3%
4.民間で実績を持つ人材の登用、活用	271	11.3%	31.3%
5.民間でできることは、民間にまかせる	224	9.3%	25.9%
6.窓口対応サービスの向上	190	7.9%	22.0%
7.公共事業の見直し	297	12.3%	34.3%
8.行政情報の積極的な公開	213	8.9%	24.6%
9.公共施設の効率的な活用	208	8.6%	24.0%
10.町政運営への町民参加の強化	159	6.6%	18.4%
11.その他	23	1.0%	2.7%
計	2,405	100.0%	

- 今後の町政運営については、「町職員の能力の向上」をあげた人が44.2%と最も高く、次いで「公共事業の見直し」及び「町組織のスリム化」（34.3%）となっています。
- 「その他」の意見では、中長期的に収入に合った予算を組む、方向性をはっきりする、先送りにしない意識改革をするといった記述がみられました。

○地区別

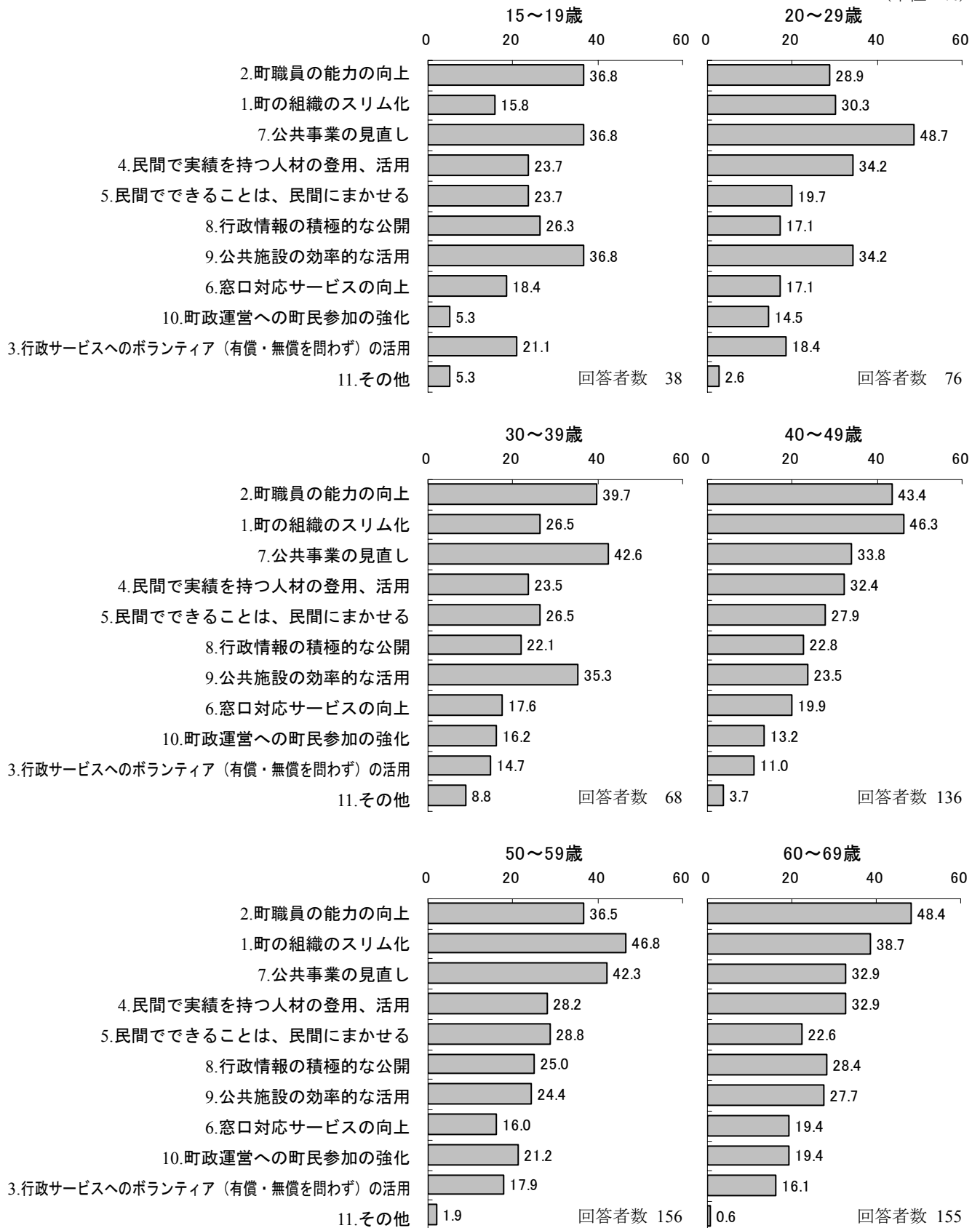
(単位：%)



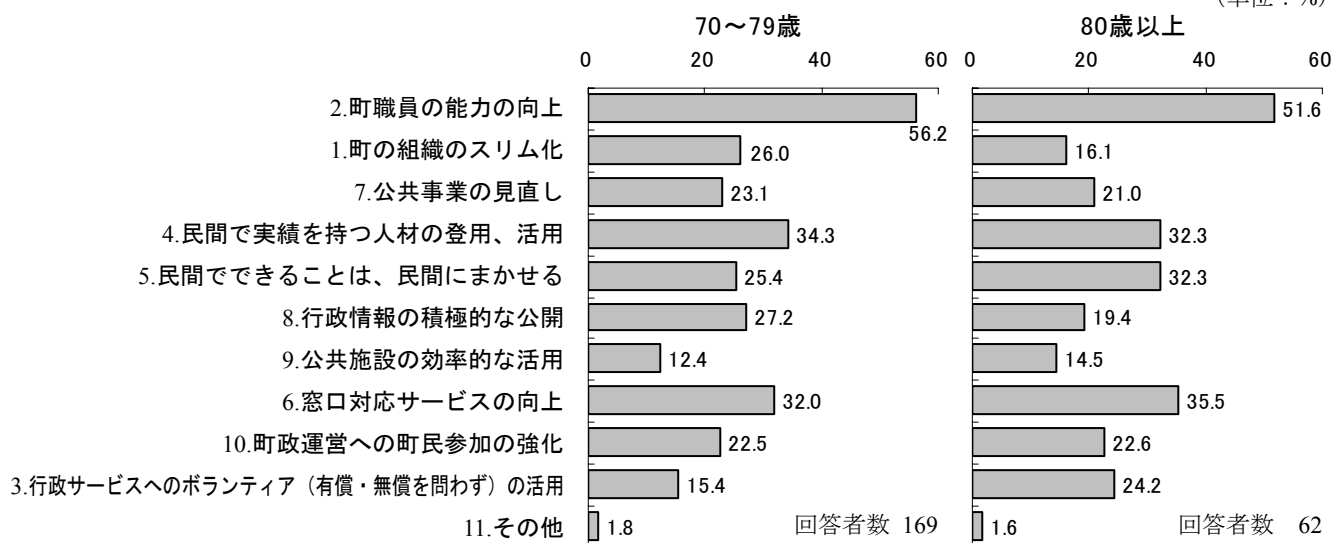
- すべての地区において、「町職員の能力の向上」が4割以上を占めています。園田地区では「町の組織のスリム化」をあげた人の割合が41.4%と最も高くなっていますが、三倉地区では17.5%とその半分にも達していません。

○年代別

(単位：%)

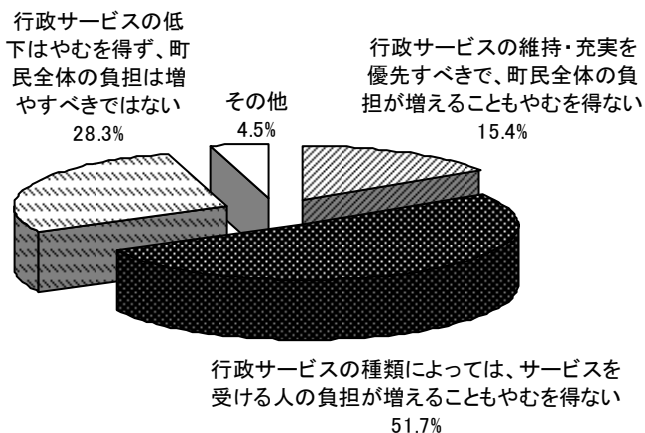


(単位：%)



- 20～29歳、30～39歳と若い世代では「公共事業の見直し」をあげた人の割合がもっとも高く、40～49歳、50～59歳では「町の組織のスリム化」が、60～69歳、70～79歳、80歳以上では「町職員の能力の向上」が高くなっています。

問10 厳しい財政状況を踏まえ、サービスと負担のバランスを見直さざるを得ない場合、あなたの考えに一番近いものを次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

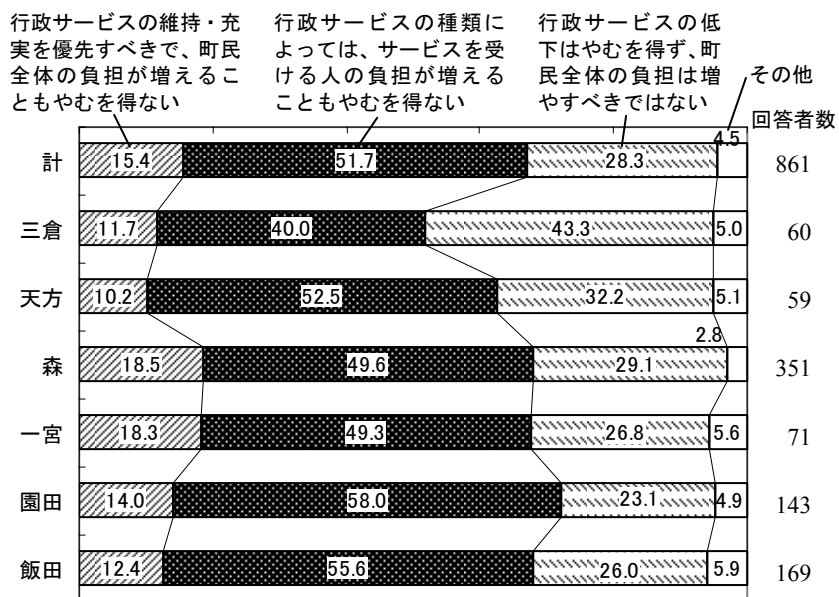


	件数	構成比
1.行政サービスの維持・充実を優先すべきで、町民全体の負担が増えることもやむを得ない	133	15.4%
2.行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることもやむを得ない	445	51.7%
3.行政サービスの低下はやむを得ず、町民全体の負担は増やすべきではない	244	28.3%
4.その他	39	4.5%
計	861	100.0%

- サービスの負担のバランスについては、「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることもやむを得ない」をあげた人が51.7%と最も高くなっています。
- 「その他」の意見では、行政サービスの充実を図り町民負担の軽減に最大限努力すべき、知恵を出し合えば町民負担は増やさずに行政サービスは充実できるといった記述がみられました。

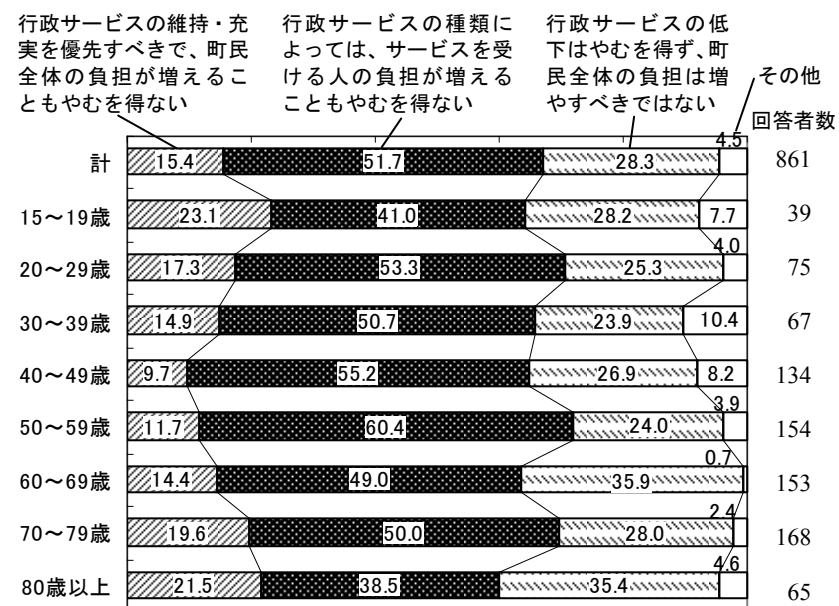
○地区別

- 三倉地区以外は、「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることもやむを得ない」をあげた人の割合がもっとも高くなっていますが、三倉地区では、「行政サービスの低下はやむを得ず、町民全体の負担や増やすべきではない」がもっとも高い割合を示しています。

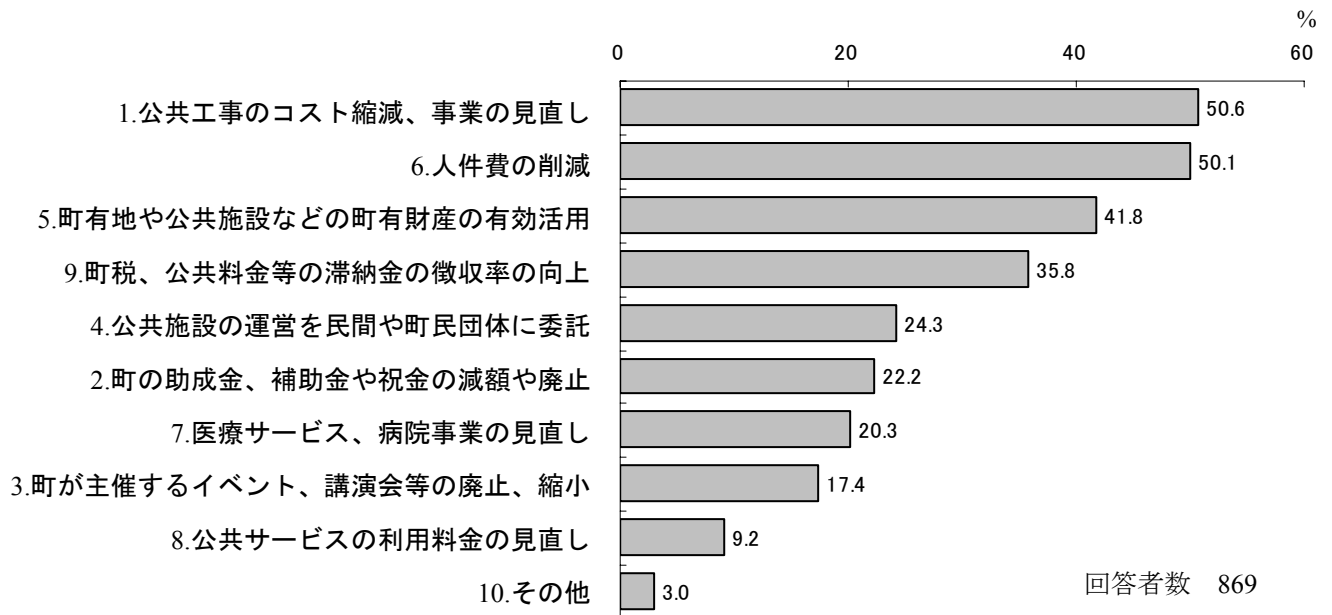


○年代別

- すべての年代で「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることもやむを得ない」と回答した人の割合がもっとも高くなっています。
- 40～49歳では「行政サービスの維持・充実を優先すべきで、町民全体の負担が増えることもやむを得ない」をあげた人の割合がもっとも低く、若い世代や高齢者では高くなっています。



問 11 財政を健全化させていくために、今後さらに重点をおくべき項目は何だと思えますか。
次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

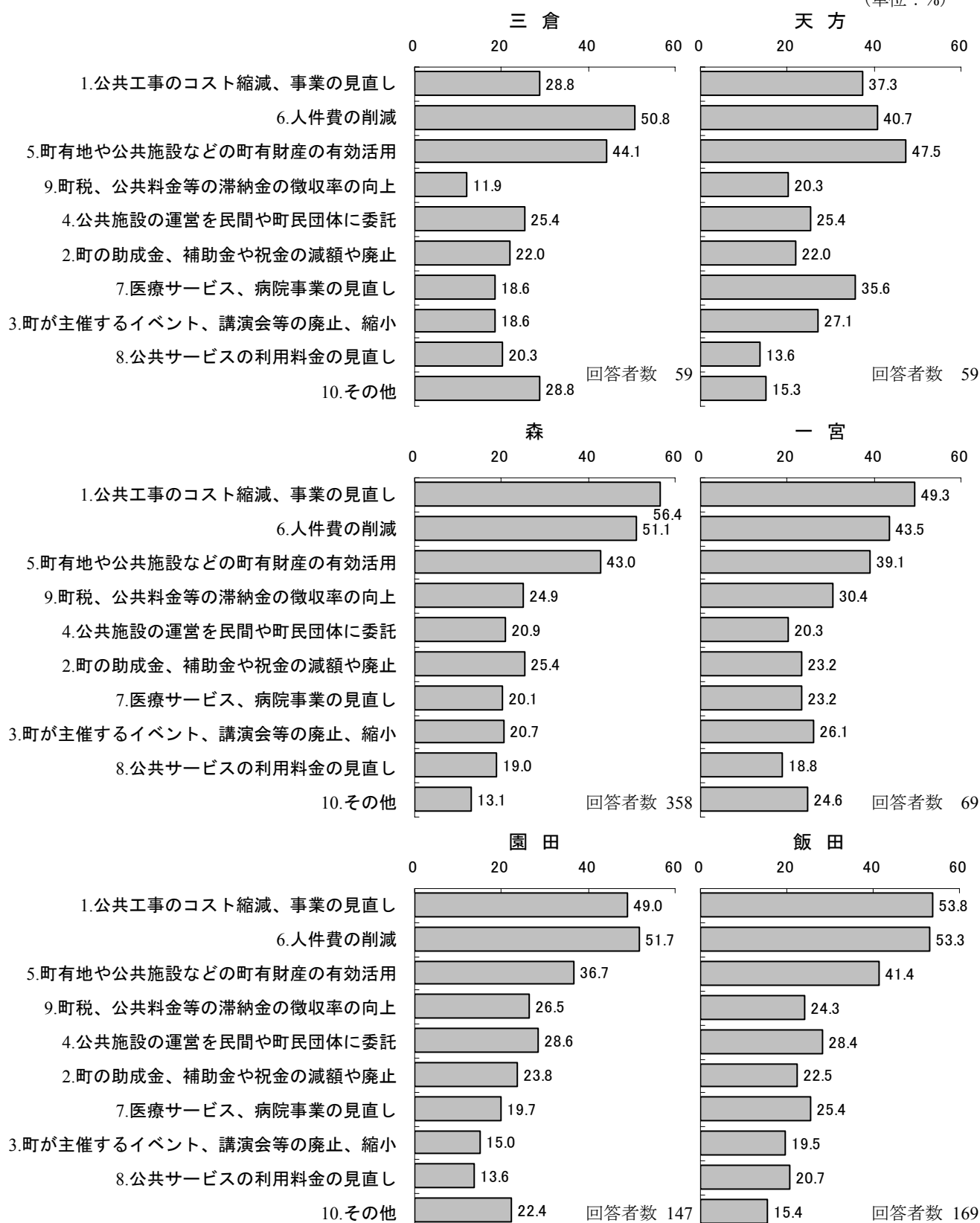


	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1. 公共工事のコスト縮減、事業の見直し	440	18.4%	50.6%
2. 町の助成金、補助金や祝金の減額や廃止	193	8.1%	22.2%
3. 町が主催するイベント、講演会等の廃止、縮小	151	6.3%	17.4%
4. 公共施設の運営を民間や町民団体に委託	211	8.8%	24.3%
5. 町有地や公共施設などの町有財産の有効活用	363	15.2%	41.8%
6. 人件費の削減	435	18.2%	50.1%
7. 医療サービス、病院事業の見直し	176	7.4%	20.3%
8. 公共サービスの利用料金の見直し	80	3.4%	9.2%
9. 町税、公共料金等の滞納金の徴収率の向上	311	13.0%	35.8%
10. その他	26	1.1%	3.0%
計	2,386	100.0%	

- 財政健全化のため今後さらに重点をおくべき項目として、「公共工事のコスト縮減、事業の見直し」(50.6%)と「人件費の削減」(50.1%)が過半数を超え高い数値を示しており、次いで「町有地や公共施設などの町有財産の有効活用」(41.8%)となっています。
- 「その他」の意見では、企業を誘致し税収を上げる、民間の知恵と職員を上手に活用するといった記述がみられました。

○地区別

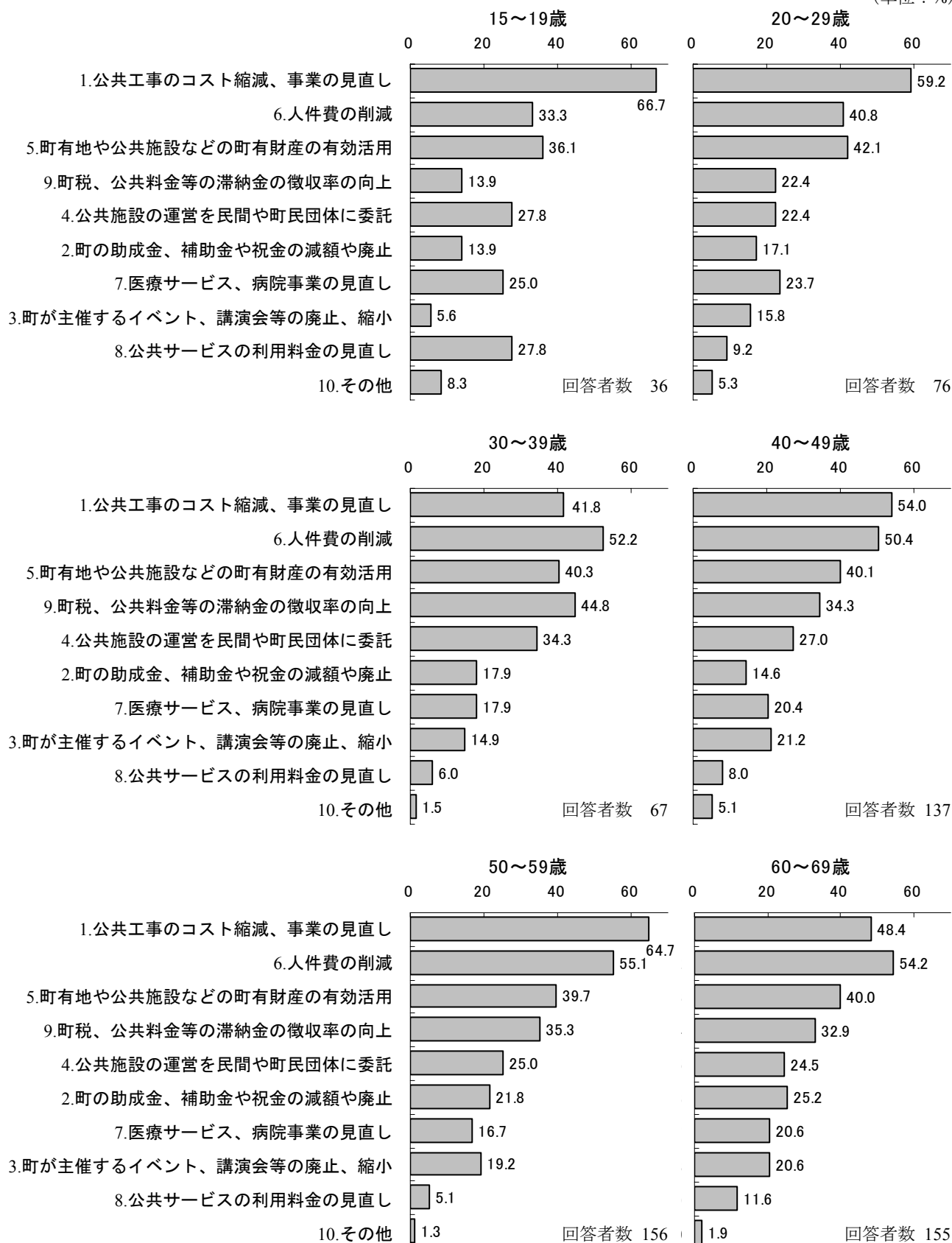
(単位：%)

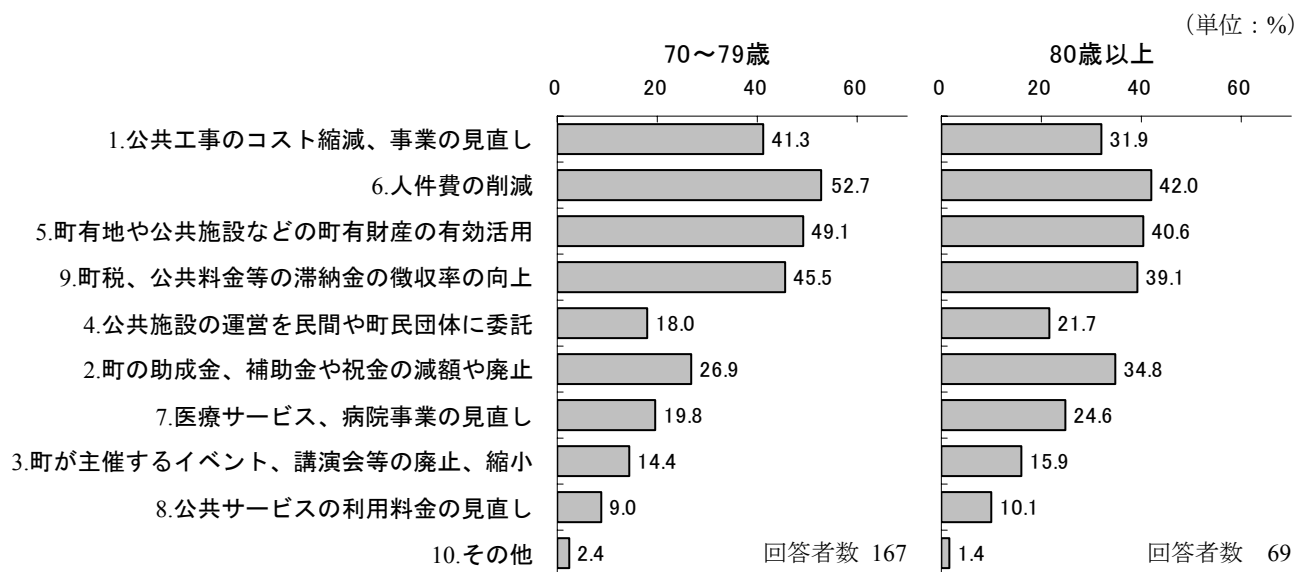


- 全体の結果と同様に「公共工事のコスト縮減、事業の見直し」がもっとも高い割合を占めていたのは森・一宮・飯田の3地区で、三倉・園田地区では「人件費の削減」、天方地区では「町有地や公共施設などの町有財産の有効活用」がそれぞれもっとも高い割合を示しており、地区によってばらつきがみられます。

○年代別

(単位：%)

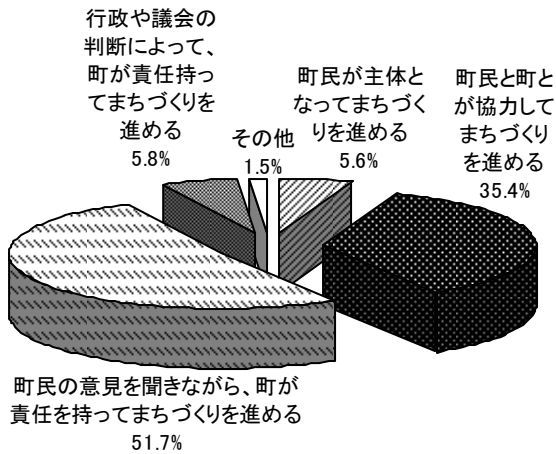




- 15～19歳、20～29歳、40～49歳、50～59歳では「公共工事のコスト縮減、事業の見直し」と回答した人の割合がもっとも高くなっていますが、30～39歳、60～69歳、70～79歳、80歳以上では「人件費の削減」が高くなっています。

3 まちづくりへの町民の参加についておたずねします。

問12 まちづくりを進めるにあたり、町民はどのように関わっていくべきだと思いますか。
あなたの考えに一番近いものを次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

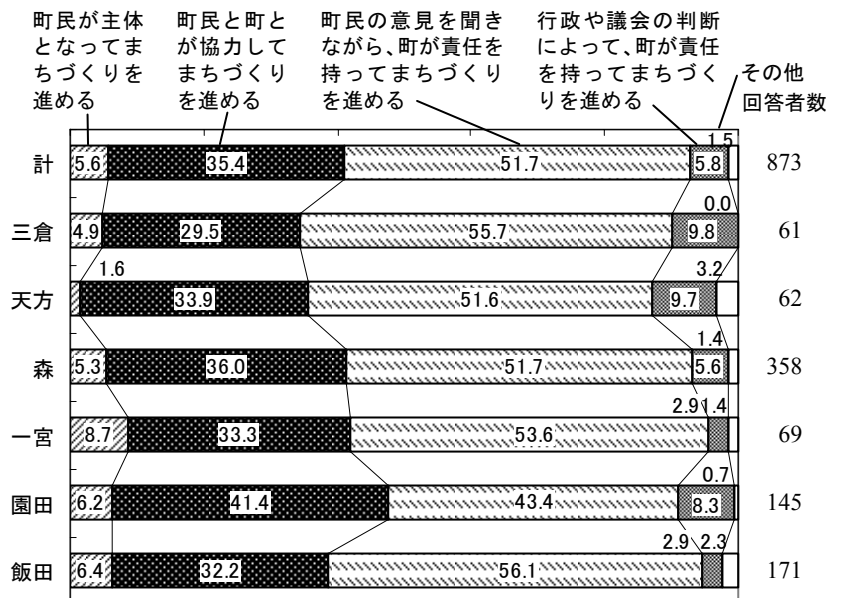


	件数	構成比
1.町民が主体となってまちづくりを進める	49	5.6%
2.町民と町とが協力してまちづくりを進める	309	35.4%
3.町民の意見を聞きながら、町が責任を持ってまちづくりを進める	451	51.7%
4.行政や議会の判断によって、町が責任を持ってまちづくりを進める	51	5.8%
5.その他	13	1.5%
計	873	100.0%

- まちづくりの進め方については、「町民の意見を聞きながら、町が責任を持ってまちづくりを進める」をあげた人がもっとも多く51.7%となっています。
- 「その他」の意見では、もっと町民の意見を聞く、積極的に参加する町民の意見だけでは偏ってしまうためバランス感覚のある人の意見を取り入れる、町民の町政に対する意識向上を図るといった記述がみられました。

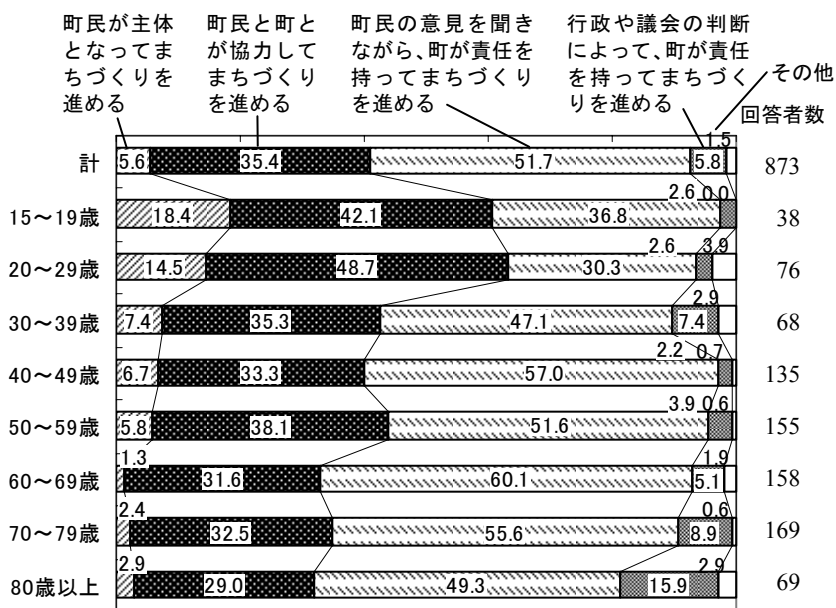
○地区別

- すべての地区において、「町民の意見を聞きながら、町が責任を持ってまちづくりを進める」と回答した人の割合がもっとも高くなっています。
- 園田地区では、「町民と町とが協力してまちづくりを進める」と回答した人の割合が他の地区より高くなっています。



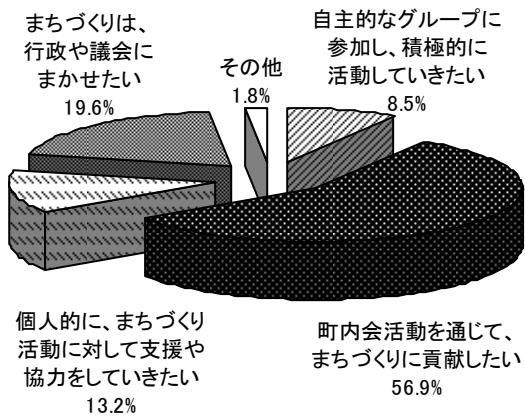
○年代別

➤ 15～19歳、20～29歳と若い世代では「町民と町が協力してまちづくりを進める」と回答した人の割合がもっとも高くなっていますが、30歳以降では「町民の意見を聞きながら、町が責任を持ってまちづくりを進める」と回答した人の割合がもっとも高くなっています。



問13 あなたは、これからのまちづくりにどのように参加したいと思いますか。

あなたの考えに一番近いものを次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

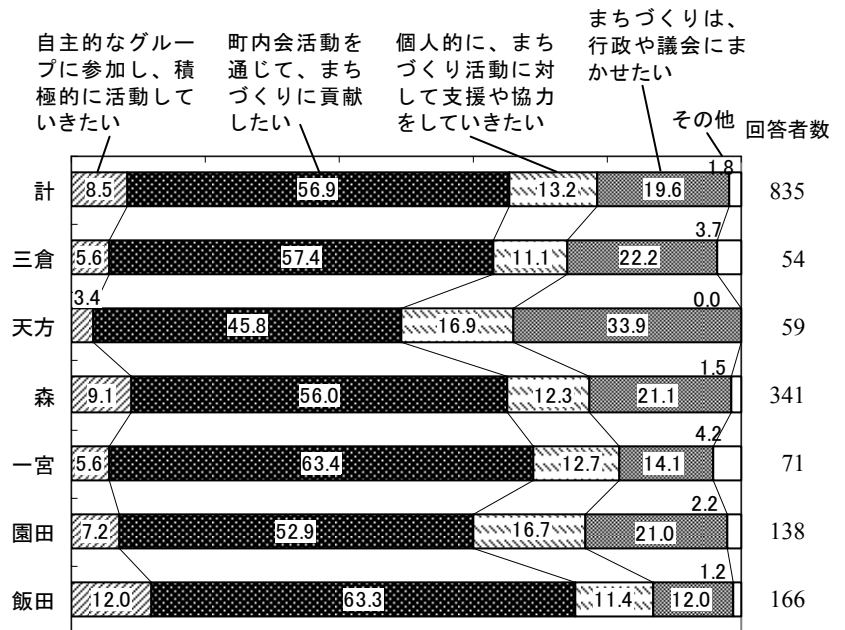


	件数	構成比
1. 自主的なグループに参加し、積極的に活動していきたい	71	8.5%
2. 町内会活動を通じて、まちづくりに貢献したい	475	56.9%
3. 個人的に、まちづくり活動に対して支援や協力をしていきたい	110	13.2%
4. まちづくりは、行政や議会にまかせたい	164	19.6%
5. その他	15	1.8%
計	835	100.0%

- これからのまちづくりにどう参加したいかについては、「町内会活動を通じて、まちづくりに貢献したい」と回答した人が56.9%と最も多く、過半数を占めています。
- 「その他」の意見では、町職員と一体となって活動したいといった記述がみられました。

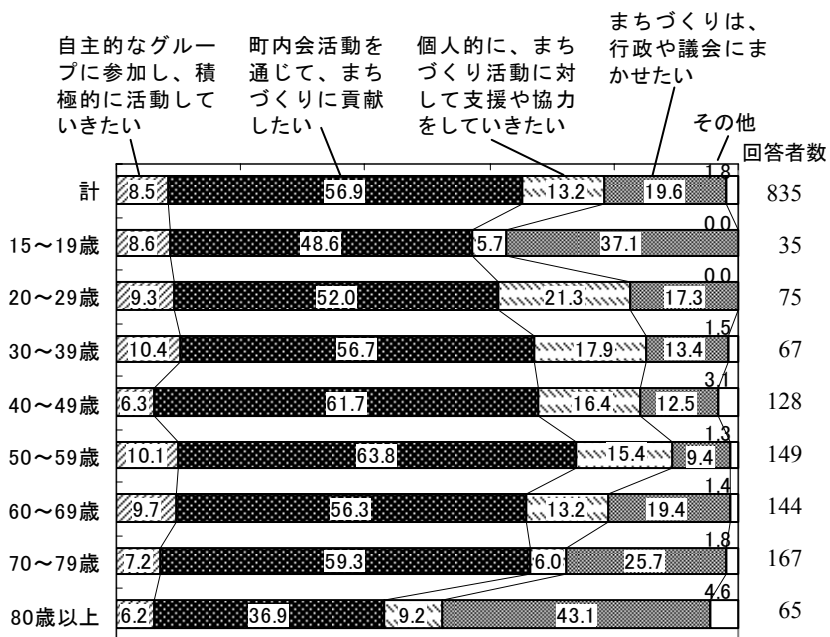
○地区別

- すべての地区において、「町内会活動を通じて、まちづくりに貢献したい」と回答した人の割合がもっとも高くなっていますが、天方地区の45.8%から飯田地区の63.3%と数値上では多少ばらつきがあります。
- 天方地区では、他の地区と比べて「まちづくりは、行政や議会にまかせたい」と回答したひとの割合が高くなっています。



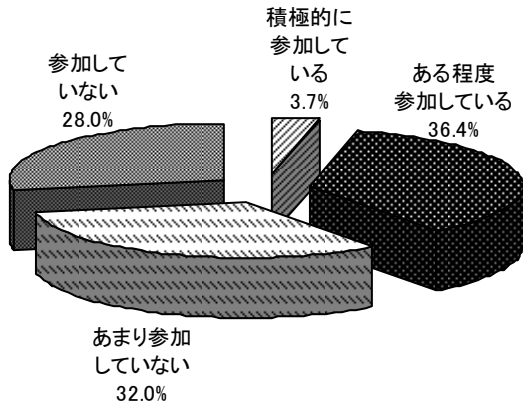
○年代別

- ほとんどすべての世代において「町内会活動を通じて、まちづくりに貢献したい」と回答した人の割合が高くなっていますが、80歳以上では「まちづくりは、行政や議会にまかせたい」がもっとも高い割合を示しており、15～19歳のでも高い割合を示しています。



問 14 現在、まちづくり活動に参加していますか。

次の中からあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

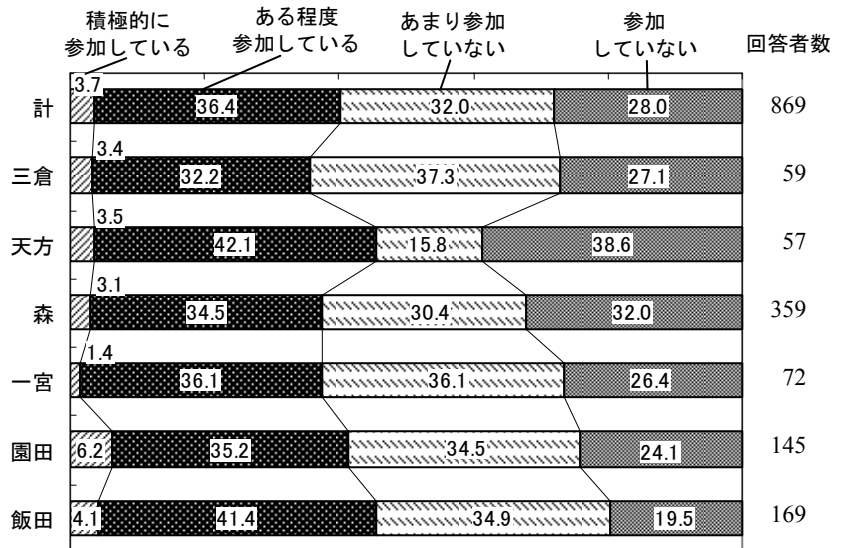


	件数	構成比
1.積極的に参加している	32	3.7%
2.ある程度参加している	316	36.4%
3.あまり参加していない	278	32.0%
4.参加していない	243	28.0%
計	869	100.0%

➤ 現在のまちづくり活動への参加状況は、「積極的に参加している」及び「ある程度参加している」と回答した人が40.0%で、「参加していない」及び「あまり参加していない」と回答した人が6割を占めています。

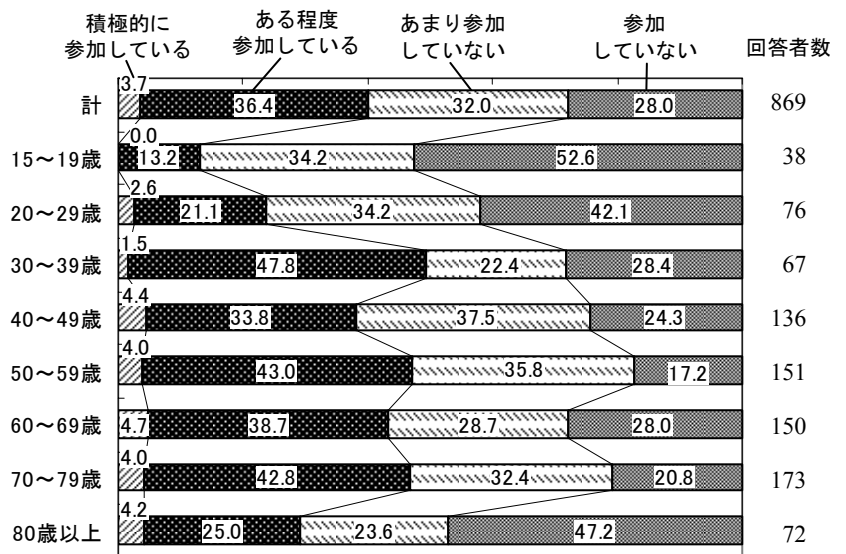
○地区別

- すべての地区において、現在「積極的に参加している」及び「ある程度参加している」と回答した人が4割程度を占めています。
- 「積極的に参加している」及び「ある程度参加している」と回答した人の割合がもっとも高かったのは、天方地区と飯田地区の45.5%、次いで園田地区の41.4%となっています。
- 天方地区では、「参加していない」と回答した人の割合がもっとも高く38.6%となっています。



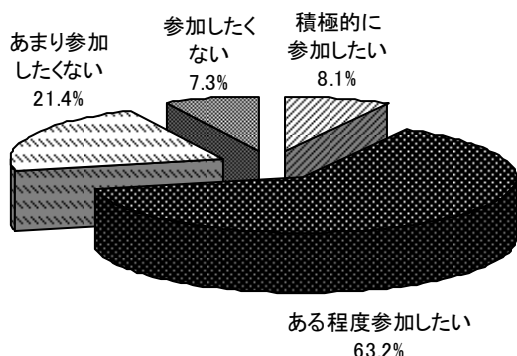
○年代別

- 現在、「積極的に参加している」、「ある程度参加している」と回答した人の割合がもっとも高いのは、30～39歳(49.3%)で、次いで50～59歳(47.0%)、70～79歳(46.8%)の順になっており、20歳代以下の若い世代と80歳以上でこの割合が低くなっています。
- 15～19歳では「参加していない」と回答した人の割合が過半数を超えています。



問 15 今後、どのようにまちづくり活動に参加したいと思いますか。

次の中からあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

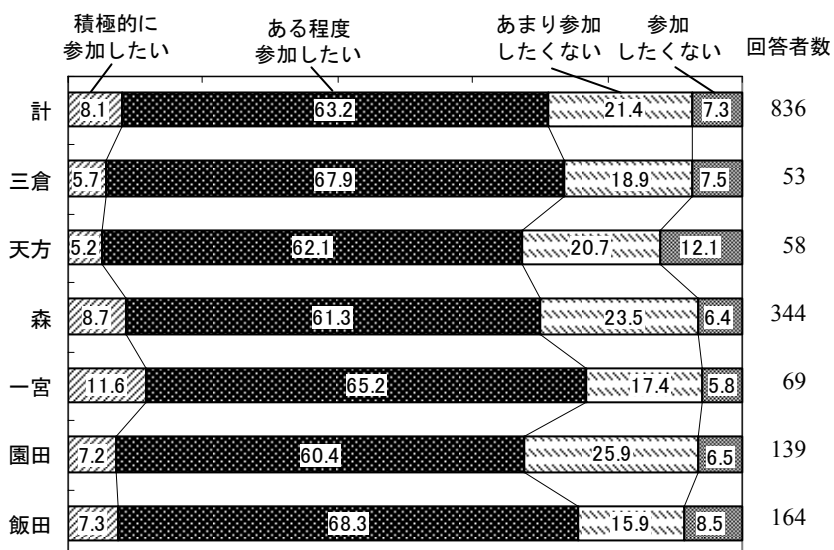


	件数	構成比
1.積極的に参加したい	68	8.1%
2.ある程度参加したい	528	63.2%
3.あまり参加したくない	179	21.4%
4.参加したくない	61	7.3%
計	836	100.0%

➤ 今後のまちづくり活動への参加については、「積極的に参加したい」及び「ある程度参加したい」と回答した人が71.3%と将来的には参加したい人が7割以上を占めています。

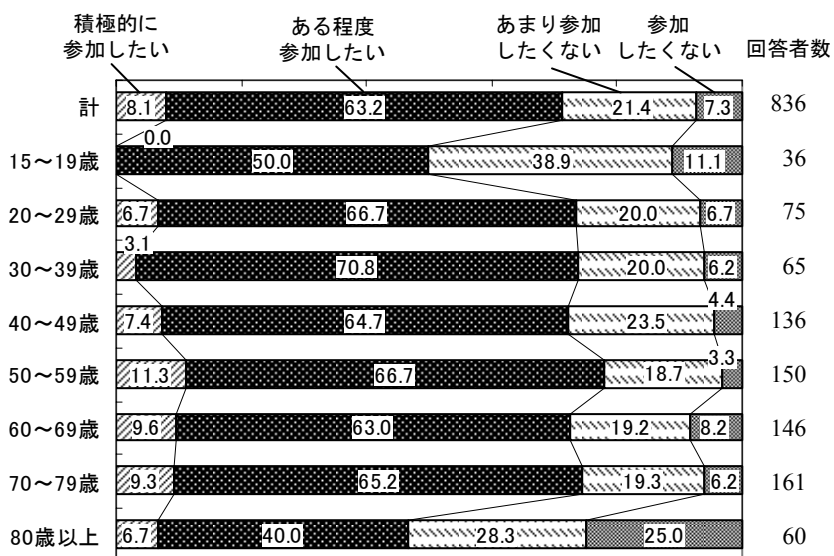
○地区別

- すべての地区において、今後「積極的に参加したい」及び「ある程度参加したい」と回答した人が7割程度を占めています。
- 「積極的に参加したい」及び「ある程度参加したい」と回答した人の割合がもっとも高かったのは、一宮地区の76.8%、次いで飯田地区の75.6%、三倉地区の75.6%の順です。



○年代別

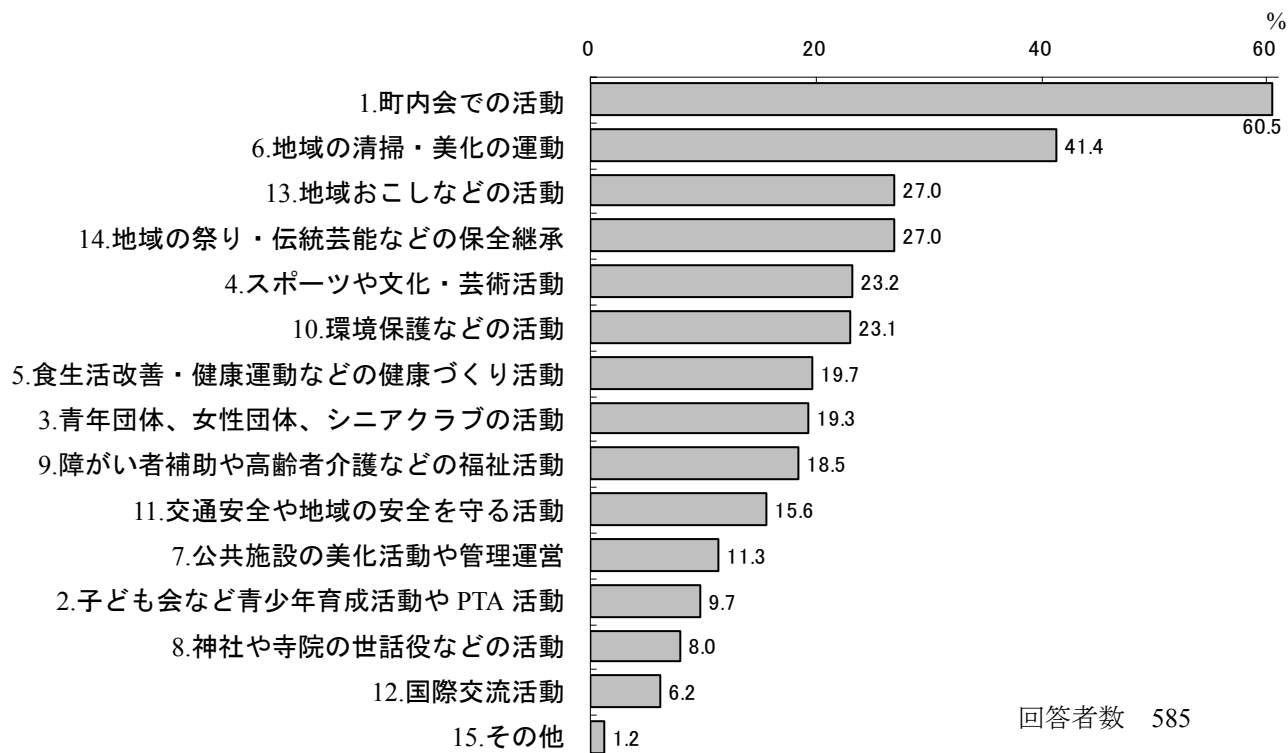
- すべての年代において、今後「ある程度参加したい」と回答した人の割合がもっとも高くなっています。
- 80歳以上と15～19歳では、「あまり参加したくない」と「参加したくない」を合わせた割合が過半数を占めています。



問15-1 問15で「1. 積極的に参加したい」もしくは「2. ある程度参加したい」とお答えいただいた方におたずねします。

具体的にどのような活動に参加したいと思いますか。

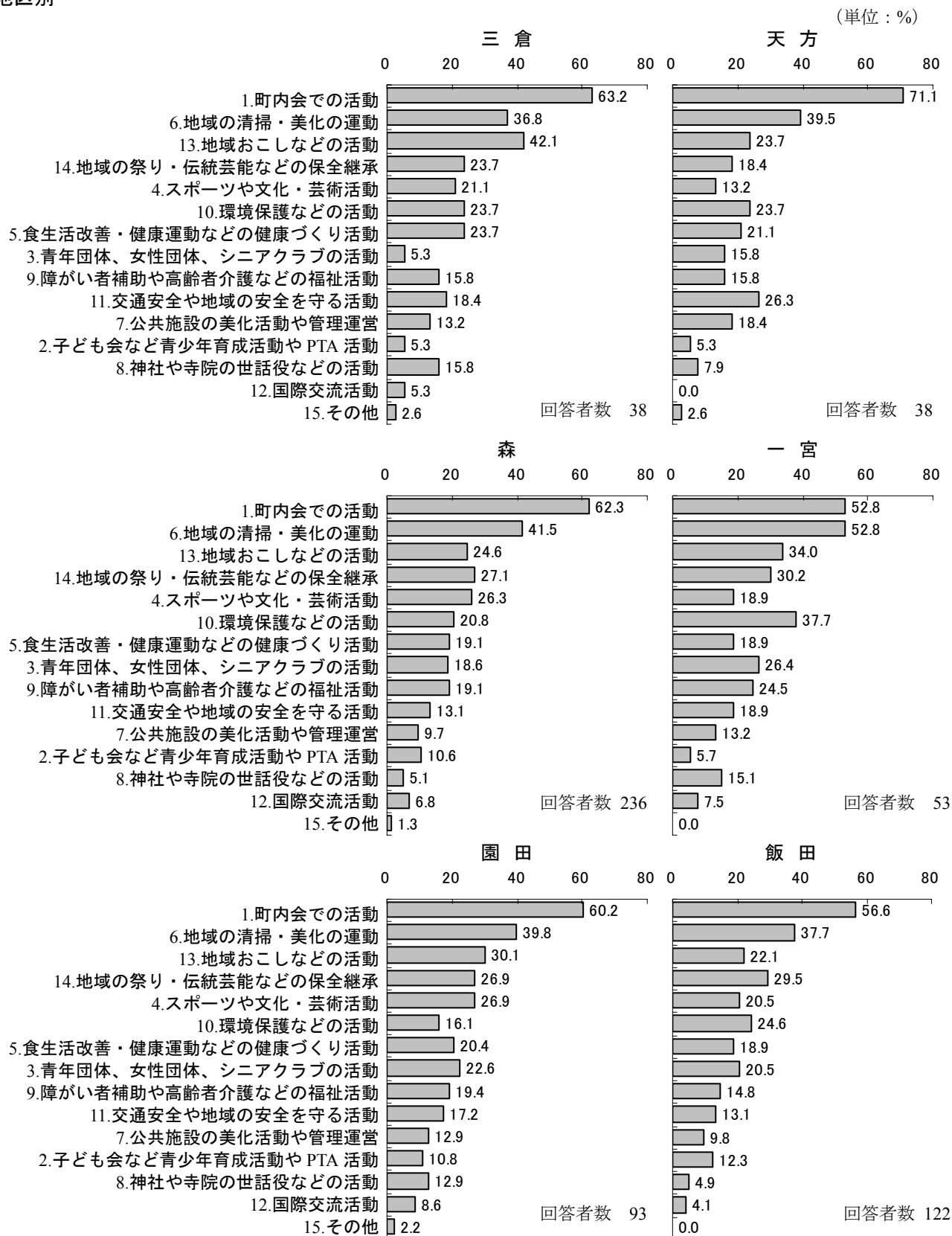
次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。



	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.町内会での活動	354	19.4%	60.5%
2.子ども会など青少年育成活動やPTA活動	57	3.1%	9.7%
3.青年団体、女性団体、シニアクラブの活動	113	6.2%	19.3%
4.スポーツや文化・芸術活動	136	7.5%	23.2%
5.食生活改善・健康運動などの健康づくり活動	115	6.3%	19.7%
6.地域の清掃・美化の運動	242	13.3%	41.4%
7.公共施設の美化活動や管理運営	66	3.6%	11.3%
8.神社や寺院の世話役などの活動	47	2.6%	8.0%
9.障がい者補助や高齢者介護などの福祉活動	108	5.9%	18.5%
10.環境保護などの活動	135	7.4%	23.1%
11.交通安全や地域の安全を守る活動	91	5.0%	15.6%
12.国際交流活動	36	2.0%	6.2%
13.地域おこしなどの活動	158	8.7%	27.0%
14.地域の祭り・伝統芸能などの保全継承	158	8.7%	27.0%
15.その他	7	0.4%	1.2%
計	1,823	100.0%	

▶ 今後参加したいまちづくり活動についてたずねたところ、「町内会での活動」をあげた人が60.5%と最も高く、次いで「地域の清掃・美化の運動」(41.4%)、「地域おこしなどの活動」及び「地域の祭り・伝統芸能などの保全継承」(27.0%)となっています。

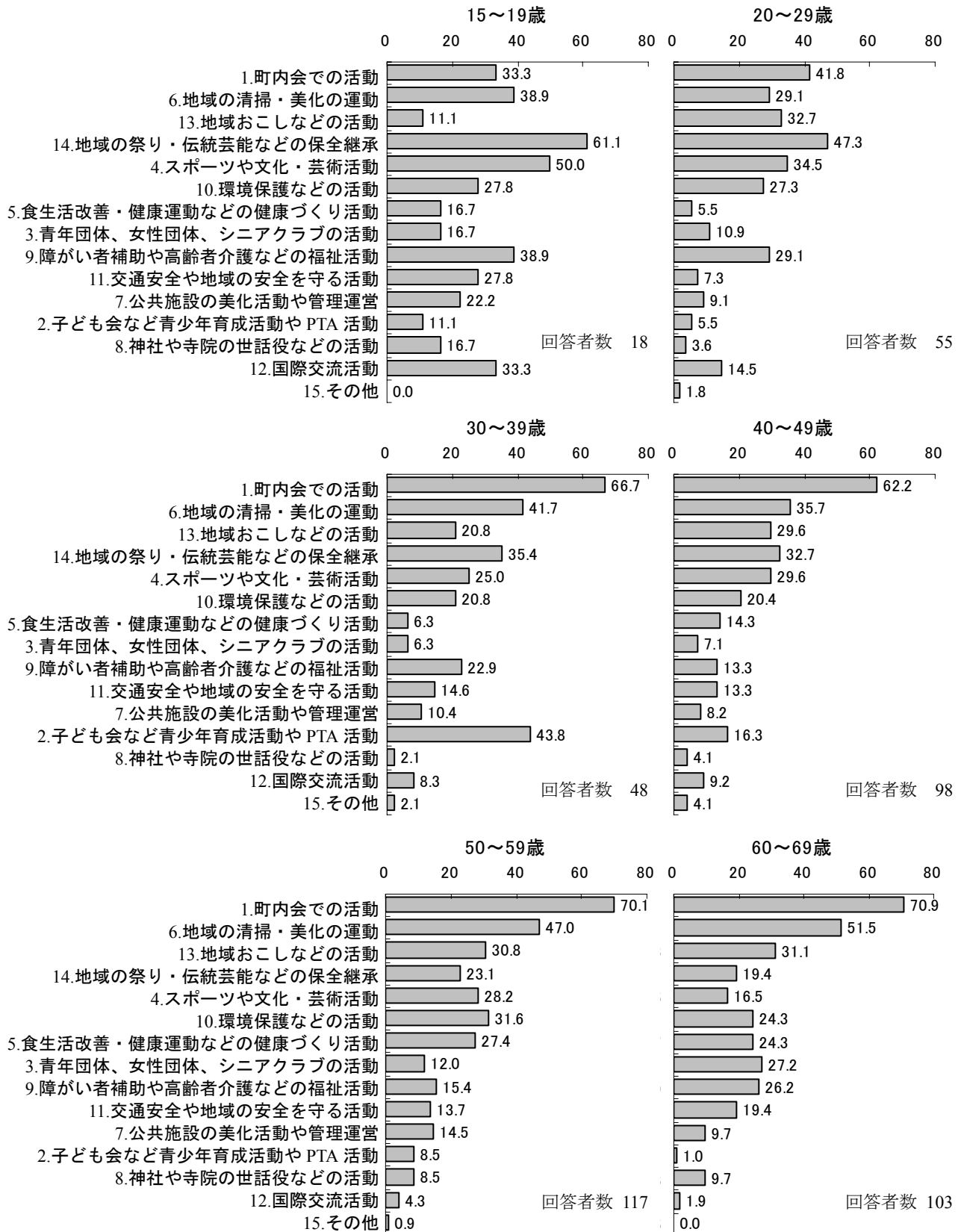
○地区別

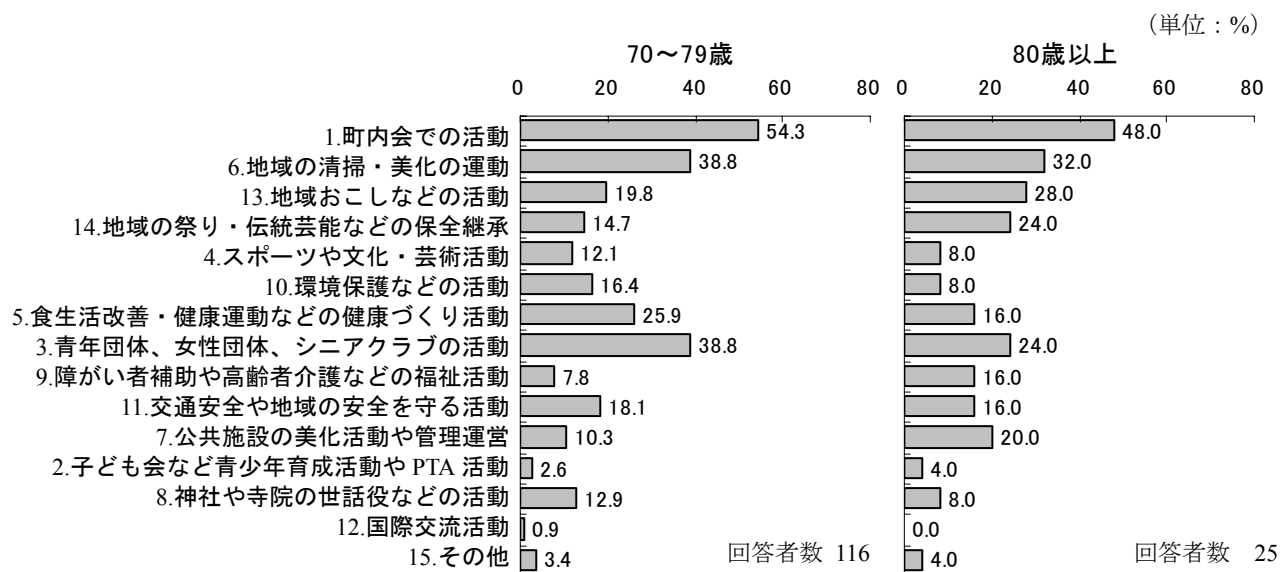


▶ すべての地区において「町内会での活動」をあげた人の割合がもっとも高く、一宮地区では「地域の清掃・美化の運動」も同率で高い値を示しています。

○年代別

(単位：%)



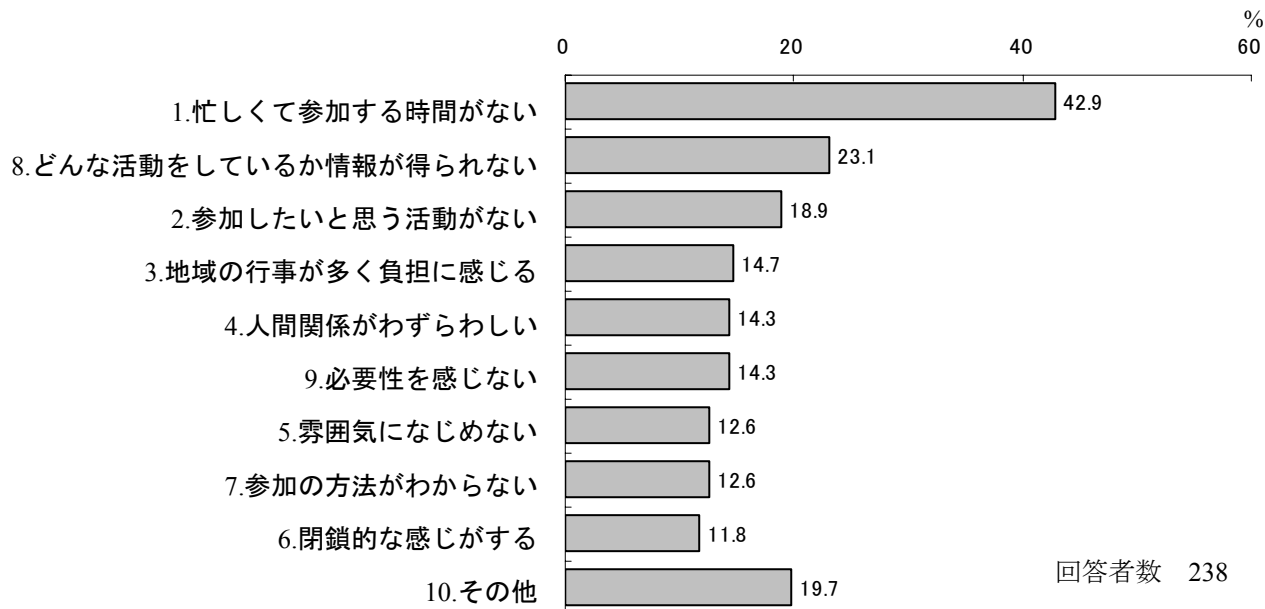


- 30歳代以上では「町内会での活動」をあげた人の割合がもっとも高くなっています。
- 若い世代ほど「地域の祭り・伝統芸能などの保全継承」をあげた人の割合が高くなっている。

問15-2 問15で「3. あまり参加したくない」もしくは「4. 参加したくない」とお答えいただいた方におたずねします。

あなたがまちづくり活動に参加したくないのはどのような理由ですか。

次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。

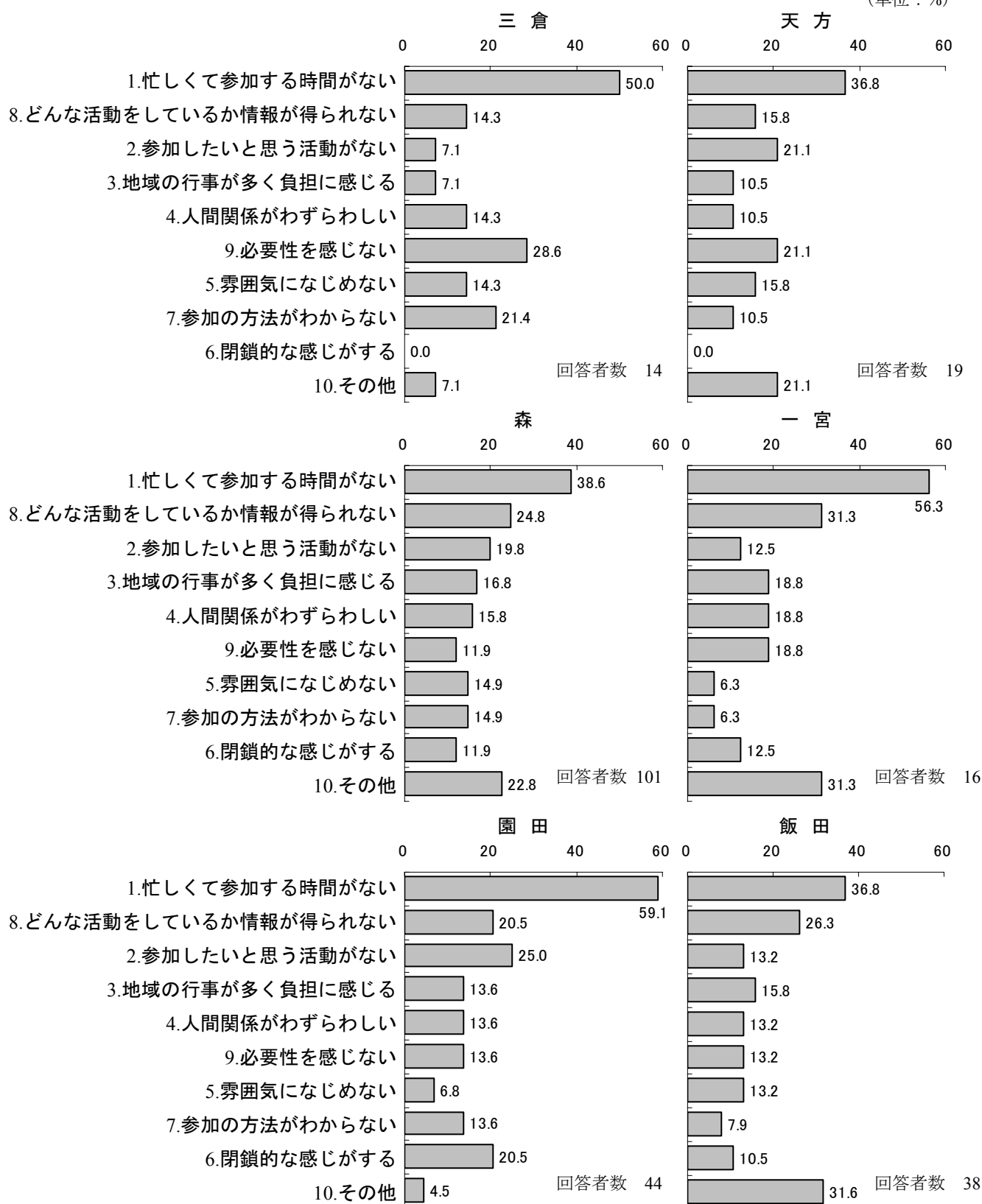


	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1. 忙しくて参加する時間がない	102	23.2%	42.9%
2. 参加したいと思う活動がない	45	10.2%	18.9%
3. 地域の行事が多く負担に感じる	35	8.0%	14.7%
4. 人間関係がわずらわしい	34	7.7%	14.3%
5. 雰囲気になじめない	30	6.8%	12.6%
6. 閉鎖的な感じがする	28	6.4%	11.8%
7. 参加の方法がわからない	30	6.8%	12.6%
8. どんな活動をしているか情報が得られない	55	12.5%	23.1%
9. 必要性を感じない	34	7.7%	14.3%
10. その他	47	10.7%	19.7%
計	440	100.0%	

- まちづくり活動に参加したくない理由をたずねたところ、「忙しくて参加する時間がない」をあげた人が42.9%ともっとも高く、次いで「どんな活動をしているか情報が得られない」(23.1%)、「参加したいと思う活動がない」(18.9%)となっています。
- 「その他」の意見では、高齢や体が不自由のため参加することが困難といった意見が多くみられました。

○地区別

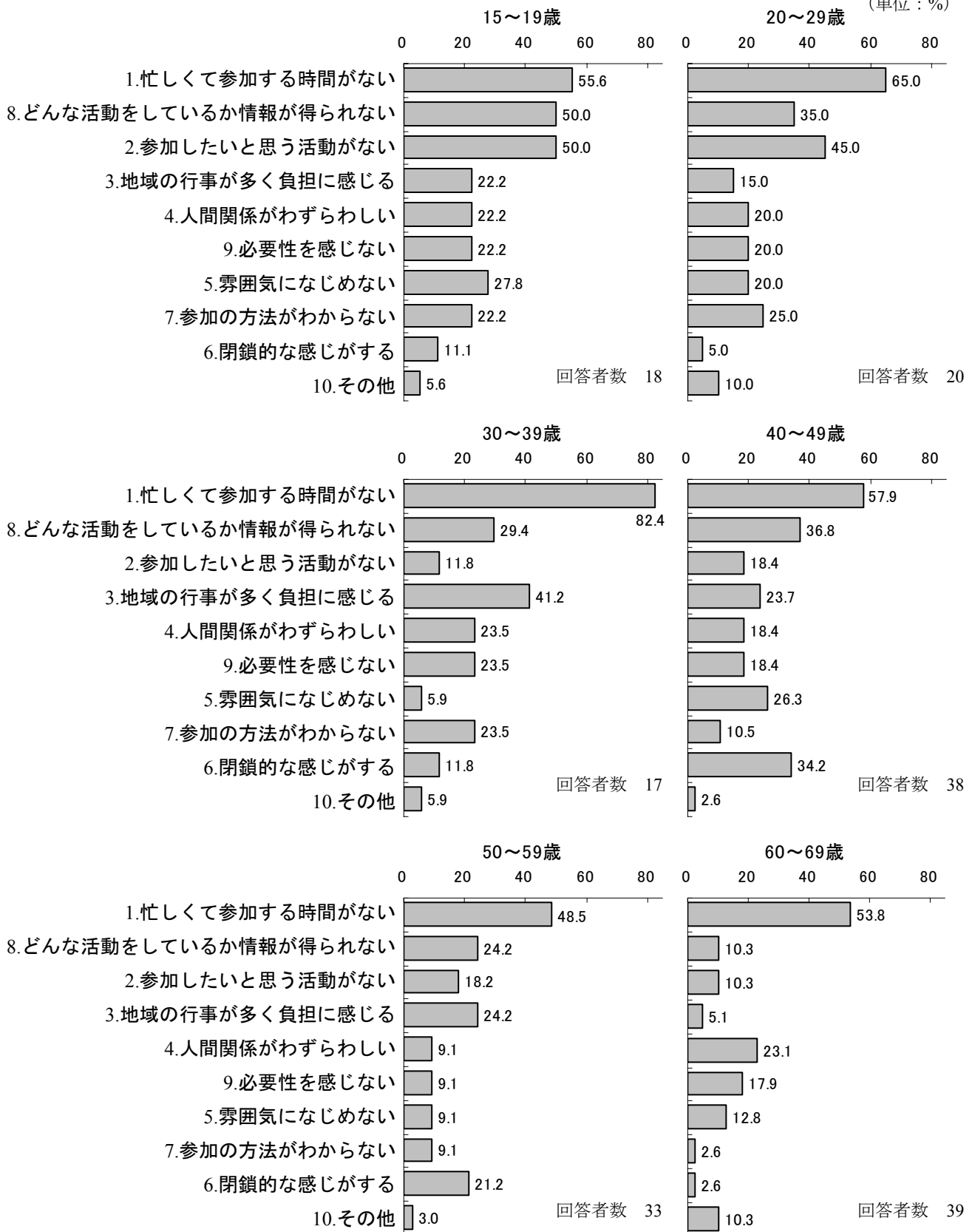
(単位：%)



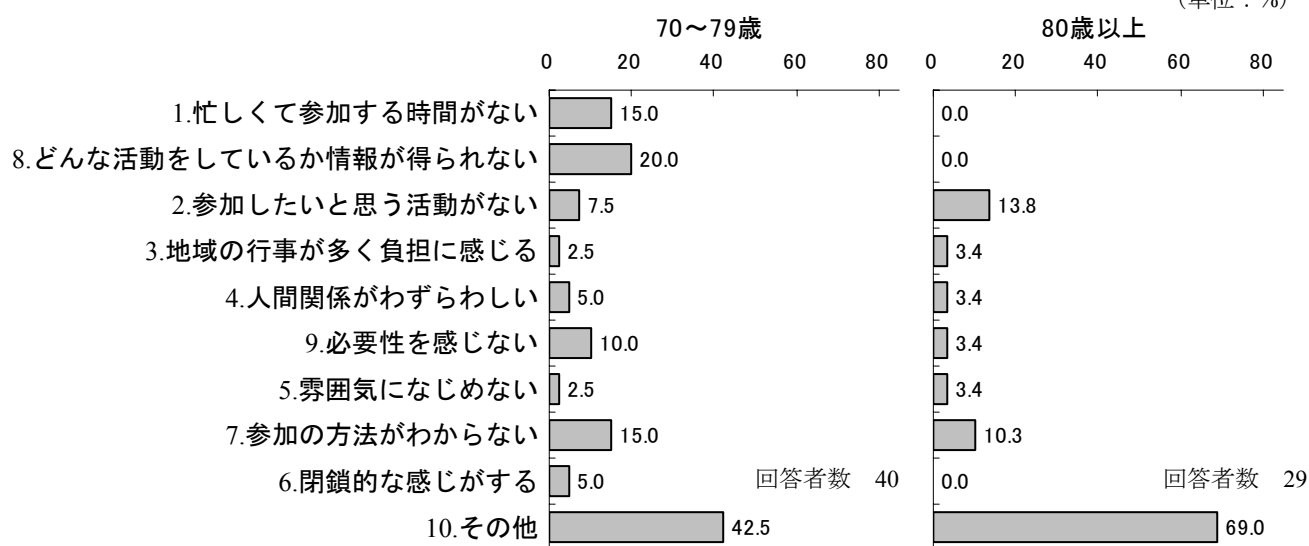
- ▶ すべての地区において「忙しくて参加する時間がない」をあげた人の割合がもっとも高くなっています。
- ▶ 森・一宮・飯田地区では、「どんな活動をしているか情報が得られない」と回答した人の割合が高く、また三倉地区では「必要性を感じない」と回答した人の割合が高くなっています。

○年代別

(単位：%)



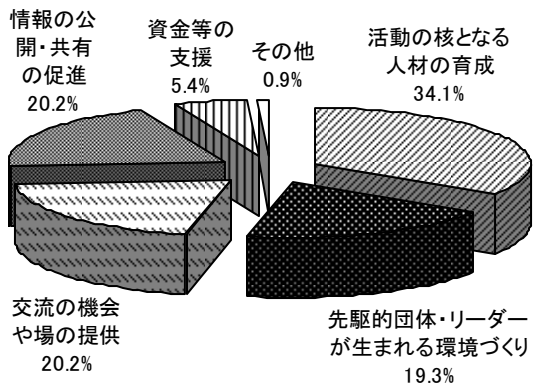
(単位：%)



- 60歳代以下では「忙しくて参加する時間がない」をあげた人の割合が高くなっていますが、70歳代以上では「その他」で高齢を理由にあげた人が目立ちます。

問 16 まちづくり活動へ参加するには、どのようなことが重要だと思いますか。

もっとも重要だと思うものを次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

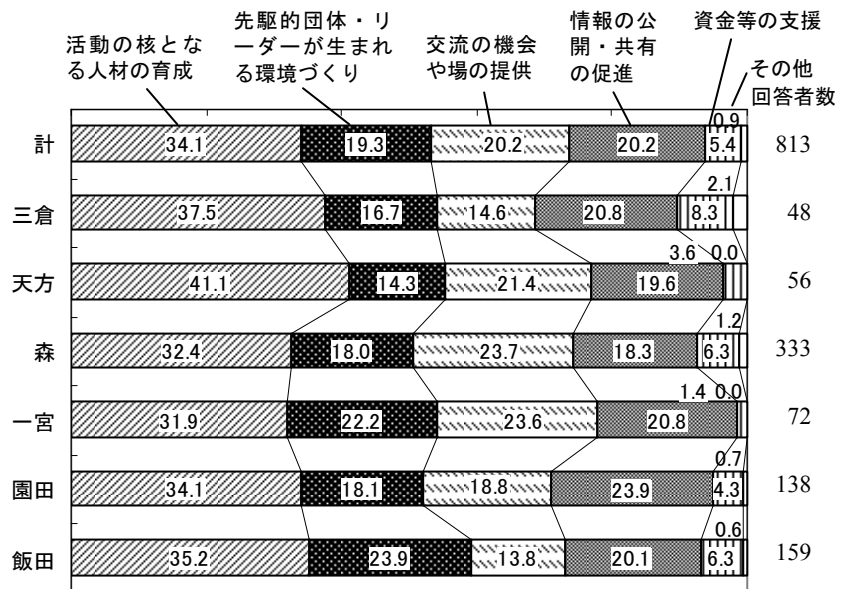


	件数	構成比
1.活動の核となる人材の育成	277	34.1%
2.先駆的団体・リーダーが生まれる環境づくり	157	19.3%
3.交流の機会や場の提供	164	20.2%
4.情報の公開・共有の促進	164	20.2%
5.資金等の支援	44	5.4%
6.その他	7	0.9%
計	813	100.0%

- ▶ まちづくり活動へ参加するために重要なこととして、「活動の核となる人材の育成」をあげた人が34.1%と最も高く、次いで「交流の機会や場の提供」(20.2%)及び「情報の公開・共有の促進」(20.2%)となっています。

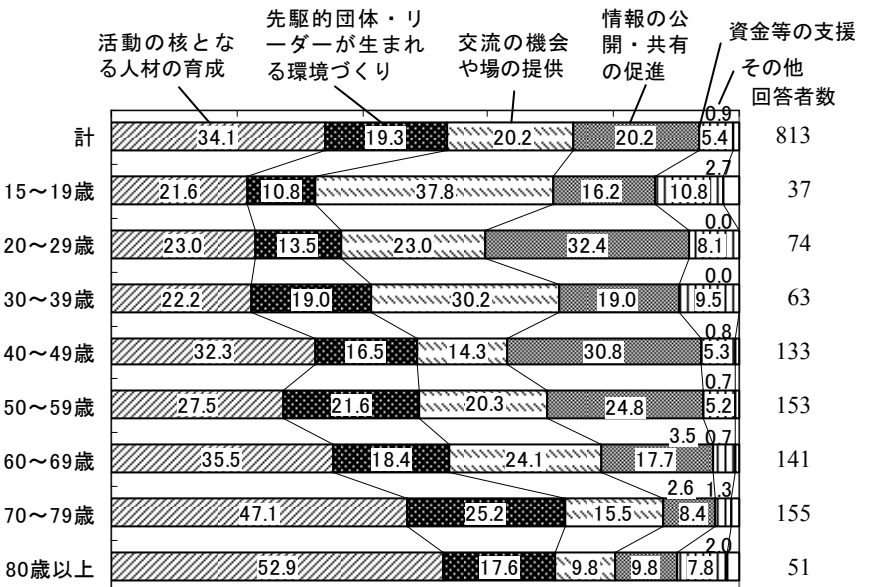
○地区別

- ▶ すべての地区において「活動の核となる人材の育成」を1番にあげた人の割合が高くなっています。



○年代別

- ▶ 年代が高くなるにしたがって「活動の核となる人材の育成」を1番にあげた人の割合が高くなっています。
- ▶ 10～30歳代では「交流の機会や場の提供」をあげた人の割合が高くなっています。
- ▶ 20歳代、40歳代では「情報の公開・共有の促進」をあげた人の割合が高くなっています。



自由記載

最後にまちづくりについて、ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。

【都市整備】

- 高齢化が進み、交通の不便な地域のために生活道路の整備が必要かと思えます。
- 昨年単独の道を選んだ我が森町はいろいろと大変な局面にあう事もあろうかと思えますが、町長をはじめ議員の皆様は森町活性化のために是非頑張ることを期待しております。私は生まれ育った、愛する郷土に愛着があり、離れる事が出来ず森の奥地で生活しております。一天の太陽が津々浦々まで平等に光が届きます様に町民として望みます。また忘れ得ぬ昭和 49 年の七夕豪雨により道はずたずたに切れ、陸の孤島となりヘリコプターで救援物資を頂いた事がありました。当地の惨状を知った親族が街から救援物資を背負って町道曲尾線だけが災害がなかったのでこの道を登ってきて下さいました。今少しずつ舗装を手がけてくれていますが出来るだけ早く完備して下さい。周期的に大きな災害が来るような気がしますので。
- 牛飼町内の旭組 17 戸の真ん中に田があるため、組の会合、町内の会合（公民館）などに行く場合、東の住民 4 戸が小藪川（新堀川）の堤防を通り川に落ちると大事故です。この辺は畑が多くこれからも住宅が出来ると予想します。ですから田の真ん中に道路を造り、また都市計画、区画整備で住宅が出来れば牛飼森町の人口も増えるのではないのでしょうか。
- 歩道の整備をお願いしたい。自転車で走っているとデコボコでとても通行しにくいです。老人や子供のためにやさしい道路づくりをお願いします。
- 下水道設備を早期に完了して下さい。
- 森地区には公園がいくつか整備されていますが、飯田地区にはありません。子育てする時に、自然には恵まれ助かりましたが、子供達が安心して遊べる広場、また近所の母子たちの交流の場があれば良かったと思いました。老人が増え続け、高齢者に福祉に目が行きがちですが、未来を担うこれからの森町を作る子供達の福祉を軽視せずに取り組んでいただきたいと願います。森町の利点を多いに生かして「住みよいまちづくり」が一番身近に感じる思いです。
- 自転車は車道を通って良いのですが、時によって歩道を走る場合が有ります。そのとき思いましたが、歩道はデコボコが多く平らではなく自転車・車椅子・シニアカー等が走るにはひっくり返りそうで恐いです。何とか平らにして頂きたい。一番ひどいところは静岡銀行の側です。南町は走りよいです。
- 下水道の整備を急ぐ。土曜日の半日くらい役場を運営してほしい。
- 浄化槽の水の流れる所を作ってほしい。
- 歩道の幅がガタガタです。自転車でも危ないところがあります。夜ウォーキング出来る明るい町にしてほしいです。
- 上下水道の整備を至急に。若者の集まるまちづくり。
- 山間僻地の道路整備が山村に居住をする人達に離村をさせないことであり、山を守ることにより、流水する水が太田川の水位を永年に続く保水力と豊かな自然が保たれると思えます。三倉地区、天方地区薄場・橘地区の道路整備を根幹とした行政の考え方がこれからの森町を救うと思えますが。一案ですが観光道路として大洞院から春野の秋葉山に抜ける道路を造ったらいかがですか。

- 問7、8の「河川等の整備」は、ムダに整備しすぎなので自然の川に戻してほしい。「幹線道路の整備」も既に充分である。
- 山や川など自然環境に恵まれた森町を大切にしたい。そして活力ある企業の実現など町の活性化を期待します。また、既に広報誌などで説明されている、現在町が進めている下水施設の整備など大いに期待しています。
- 西俣地区の川には柳の大木がたくさんあります。大水が出た場合流れの邪魔になるかと思います。一度見て下さい。中岳橋、要橋近所が特に目立ちます。お願いします。
- 防災のための道路新設が必要。現在の道路事情では震災時に太田川の流水を消化用に使えないため。 鞍山下主要道路 向天方新秋葉街道 瀬入川放水路を伴う調整門（森北部地方の集中下水道不参加者のため） 複数の肋骨道路

【教育・文化】

- 当然合併するものと思い転居をし、再び町民となりましたが、今回このような結果となり非常に残念な気持ちでいっぱいです。毎日の生活の中で不安なことも多いのは私だけではないでしょう。特に我が家では、教育面における他市町との格差に正直なところ将来的に転出も考えなければならぬと話題にのぼります。町内学区の見直し等、財政面においても課題は多いと思いますが、森町に住む子どもたちが近隣教育機関も活用しつつ、将来また地域の住民として生活していけるような基盤づくりを早急をお願いしたいところです。
- 親として教育委員会へお願いします。小学校の先生の質の向上にもっと力をいれてほしいです。今の先生では子供達の将来にとっても不安を感じる様な人間性にかけた人達ばかりの集まりです。もっと目を見開いて父兄の意見を聞いてもらいたいですし、都市部でも行われている指導能力のない先生の有無を問う意見などをもっと聞いてもらいたいです。教員委員会は、どんな活動をしているのか、不透明ですね。しっかり町民の意見を聞いてもらいたいです。
- 将来を担う子供たちのために、保育園、幼稚園、小学校などの教育機関の設備にもう少し力を入れてほしいと思います。例えば、幼稚園など教員の数が不足しています。親としては、臨時の職員をよく募集しているのを見ると、正職の人数をもっと増やしてほしいと感じます。（声を掛けられたとしてもとても大変な仕事なのでちょっと働こうという気持ちにはなれない）教諭を目指している人はたくさんいるのでそういう人を採用したらいいと思います。必要な用品、備品を買うための補助をもう少し増やしていただけたらと思います。子育て支援として放課後児童クラブ、移動図書館が始まりとてもうれしく思います。子供たちがより充実した時間を過ごせるよう月に一度の室内でやれる運動、ゲーム、手作りなどのクラブを児童館の部屋（保健センター）を利用してやったら、もっと楽しいのではと思います。（現在森のお針箱などがありますが、これをもう少し種類を増やして、近隣の市町村ではどのような活動をしているか、情報交換をしていいものは取り入れて、よりよい、森町づくりへの努力をしていけたらいいなと思います。“森の物知りっ人”をボランティアだけでなく必要に応じてはお願いしてよりよい活動ができるといいと思います。))
- 町から小・中学校への図書に対する予算が他の市町村に比べると極端に少ないと思われます。10万円以下のところは森町だけで旧春野町の方が多いです。小・中学校に活気があり設備が整っていると、子供を通わせたいと思います。アパート住まいの若い夫婦にとってどこに家を建てるかということは自分たちの一生の住みかを決める上で大きな決断です。森町にとってまず人口を増やすことが大きなポイントだと考えます。そして住む人が住みやすいと感じれば人が集まってくると思います。私は森町に嫁いで10年になります。袋井市にならなかつたことを負い目とせず、森町の良さを発信していけるとよいと思います。

- 市町村合併が中止になり、森町単独で進んでいくことになりました。あの時合併していればと折々に考える方も多いのでは。財政的に大変苦しいと思いますが、小さい町だからこそできるきめの細かい行政を願っています。私的には、太田川の桜並木に沿ってマラソンロードをつくってほしい。アクティ森の施設等も巻き込んでこじんまりした宿泊所を造り（大きなものだと後の管理が大変）大学や企業のスポーツ関係者の誘致を図ってみては。スポーツを通し町が活性化できれば素晴らしいと思います。先駆けの島田市等に視察に行ってみてはいかがでしょうか。
- 森町の将来を託す子供達に教育者、先生の選択をして良い先生を一人でも多く集めていただける様教育委員会の皆様には努力していただきたいと思います。森中にも自分主義の先生がいます。また公園でいじめ等をしている高校生を見かけ、私が声をかけると馬鹿野郎等と言いますが、最後には「はいはい」と言って次の時は挨拶してくれます。人の心は皆善です。立派に大きくなって森町の発展に努力していただきたいと思います。
- 人口が少ないため森小学校と天方小学校は合併すると聞いていますが、はっきりと何年になるか聞きたいです。また合併すれば子供達を通じて町民のふれあいもまた深まり地域活動も参加する人が増えてくるのではないのでしょうか。人数が少ないというだけで何につけ役員をする回数が多く嫌になるのではないのでしょうか。働いていても学童がないため子供を夕方まで預けられない。ここに住んでいると大変という話を聞きましたが、早く森小学校と天方小学校が一緒にならないのでしょうか。
- 未来からの使者と言われる青少年が、のびのびと活動できる環境をまずつくるのが最重要だと思う。
- 町の未来を託すのは町内の若者や子供たちです。彼らが健全に成長し町の中心的存在となるためには教育環境の充実が最優先だと思います。子供のためなら町民の負担が増えても誰も批判する人はいないのではないのでしょうか。
- これからの森町をつくっていくのは今の小中高校生ですが、その子供たちの生活を見ていると情けなくなりそうです。買い物へ行くとスーパーの中で子供が走り回っていますが親は知り合いとおしゃべり、またはおもちゃのところで売っているものを出したりしているのを見たこともあります。あれではお店の方も大変です。また、先日高校生の交通事故もありました。自覚の問題もあるのでしょうか。三ない運動に力を入れ直すべきです。高校も学力だけではなく生活状況も重視すべきだと思います。中学もいろんな面で考え直さなければいけないことも山積みです。
- 町営の弓道場を建設して欲しい。森町体協弓道部は個人私有の弓道場をお借りして運営しています。その弓道場は3人位で老朽化が激しく修繕する場合は弓道部員の寄付で賄う必要があります。森町はかつて弓道が盛んで国体で活躍した方々も在住しています。今では弓道場の不便さで有能な選手が育ちにくい環境にあります。本当に弓道が好きでまじめに取り組んでいる人の多くは掛川市や袋井市の道場で練習しています。森町支部には駐車場がなく、団体競技は5人位なので不便なのです。ミキホールの駐車場に2階部分の建物を造って、そこを弓道場にしてくださいと体育館とも近くていいのですが。弓道部員の長年の夢なので無理を承知でお願いしてみました。建設場所はどこでもかまいません。
- ミキホールの場所がわからないという人の話を聞きました。もっともっとイベントを計画し近隣の市町村にミキホールをアピールしたらどうかと思います。素晴らしい施設なのでより良い活用を今後もお願いします。
- 県の生涯学習薬学園にて三期生として修了しました。その修了生を一つにまとめて指導者の会を作っている町があります。水窪町など良い例です。卒業生で三期会を作り勉強会をしております。県費で学ばせてもらい、他の市町村を見ると森町はのんびりしていて申し訳なく思ったりします。ともかく自分の住んでいる町より外へ出て他の市町村の事を耳に入れることは良い勉強だと思います。まず考えることは医療、町で力を入れてほしい。遠くの医院へ通うことの大変さに取り組んでほしい。

- 祭り会館等の森町の伝統を紹介出来る場があれば良いと思う。
- 教育の充実をすべきだと思う。中学高校の学力を引き上げる事ができれば自然と町の活力も上がってくると思う。町の特色をもっと前面に押し出すべきだと思う。もっと若者が住みたくなる町づくりをすべき。
- 図書館について意見があります。厳しい予算で維持管理をされていくそうなので町民からの寄付を募ってはいかがでしょうか？(ある程度条件を提示の上)あと図書館員の教育をきちんとして欲しいです。大きな声で話す人、騒ぐ子供を放っておくなど(以前子供を注意した方が館員に注意されている光景をみました)とても快適な読書空間を提供しようという使命が見られません。子供ブースには何かしら防音対策をしてほしいです。もしくは初回利用時にマナー教育を受けさせ、公共の場でどういう注意を払うべきかを仕込んで欲しいです。町民の財産を有効に最大限に活かせるよう期待しています。それから、生涯教育・若者向けの講座があるといいと家族が申しおりました。
- 森町の将来を担っていく子供達の育成に力を注いでいただきたい。学校の施設の充実(古くなった校舎の建て替え)や教育予算の見直しなど重点としていただきたい。袋井市との合併問題も大人の利害のみであるような結果になったように感じる。教育、産業をもっと情報公開し町民一人ひとりに考えてもらうデータを提供すべきだったと思う。単独行政の道を選んだのだから仕方ないが個人としては袋井市と合併して欲しかった。これからの森町の行政について情報公開し町民が行政について考えていくようにいかなくてはならないと思う。
- この小さい町に公立高校が2つもあることに誇りを感じます。その高校生のだらしない姿を見て私たち戦中戦後を見て育ったものとして本当に情けなく夜7時8時の頃でもサークルK等の前でたむろしている姿を親は知っているのでしょうか。父兄、先生、町内の方は指導しないのでしょうか。特に残念に思うのは、女子生徒です。アグラをかいて地べたに座り大声で変な日本語を話して親は知っているのでしょうか。何とかあの風景だけは森町から消えてほしいと願っています。
- 文化活動に参加したことがありますが、若い人達の意見を聞く必要があると思います。

【健康・福祉】

- 現在病院に入院して治療を受け、病状も良くなり退院を希望しておりますが、受け入れてくれる施設が思うようにありません。私は掛川市川口会病院に入院の希望しておりますが、病院内に(アキハ)寮があり、入寮の手続きをお願い申し上げます。
- 森町病院から専門医がだんだんと少なくなっていますが、小児科は24時間医療が重要ですので絶対に無くさないように要望します。プラスチック類の収集日は子供の居る家庭にとって週1回は設けてほしいと思います。私たちの住む地区では草刈り、側溝清掃が高齢化に伴い負担となってきていますので、町としての対応も今後考えて頂きたいと思います。
- 障がい者への福祉施策をもっと重視してほしい。特に、目に見えにくい知的障がい者については障がいそのものを理解してもらえよう働きかけてほしいと思う。障がいのある人がこの森町の中で普通に暮らしていけることを願います。障がい児放課後児童クラブ、場所の常設、授産所の充実、車に乗れない人のために病院、福祉センター、文化会館、ユーストア、いしはら等必要だと思います。
- 高齢化社会(85才まで)を乗り切る医療費低減化作戦 地域別健康づくり運動・食生活改善週3日以上、ウォーキング2日分各自で週1回体重管理 年4回地域別、中高年の年代別医療費の増減率の発表、中高年の年代別56才~65才、66才~75才、76才~85才 医療費の減少化地域の「広報もりまち」で発表、体験事例(健康づくり運動、食生活改善)掲載しより改善を図る。

- 戦後 60 年を経て戦前・戦中・戦後を生かされた高齢の私にとりましては現在の生活は「もったいない」の一言につきます。生かされているうちは何とか自助努力迷惑をかけないようにと心掛けます。介護保険の内容も来年度は見直しがあると聞きます。日頃から身体機能の衰えを少しでも遅らせるべく“出来る仕事”“仲間とのふれあい”“スポーツ(ゲートボール、グラウンドゴルフ)”に取り組んでいます。認知症に関心を払い毎日継続できるエアロビ風体操などもよいと思います。とにかく老人医療費を少しでも少なくするよう努力したいと考えます。
- 地方消費税の不公平を国(総務省に)陳情し是正してもらおう。国保についても同じ。健康で高収入の時は都会に税金(保険料)を払い退職して老人となり病気がちになって田舎へ来ては田舎の国保に来ては不公平である。地方消費税・国民健康保険とも全国一律でなければ不公平である。
- 町営授産所「もみの木」について 4月からか所長が替わり、掛川市から赴任されたと聞く。発行された「もみの木便り」を読む中で、この所長の優れた面に感銘した。聞くところによるとボランティアで月の手当も少ないそうである。貧しい町だから仕方ないと思うが、少しでも額を増やす努力をされたい。授産所は農免道路の脇にあるが、所へ通う人のためにも、多くの人に知ってもらうためにも、町中の平地への移転を考えられたい。「もみの木だより」はどのように配布されるか知らないが、多くの人があるように、回覧形式をとってくれるとありがたい。
- 少子高齢化社会への移行に伴う構造的財政難と介護、医療などの構造的行政需要の増大という相反する課題を乗り越えるため、町民の側に立った生活圏と行政圏の整合・一体化や地方分権の推進に向けた基盤の強化、時代を支えてきた高齢者の余生が安心して暮らしていけるよう、地域の教育を進め、地域にふさわしい、次代の担い手を育て、次代の担い手達がより幸せに暮らせるようにし、不確実な明日のためにこそ力と心を合わせ、その先に希望ある夢の町づくりを目指していこう。
- 今、生活習慣病が増えていると思いますが、運動をすると良いと言われても足腰が悪い方は歩けない。プールで歩くのが一番良いと聞きます。森町には屋内プールがありません。そこで、病気持ちの方、運転できない方など(プールへ)バスで連れて行っていただけたらなどとふっと思うこの頃です。
- 私は今東京で働いていて、大学の時から森町を出ています。でも森町は好きです。帰省した際などは、自然の豊かさに満たされます。今医療保険を取り扱う仕事をしていることもあり、高齢化と医療関係の充実さが今まで以上に力を入れていく必要があると感じました。また将来的にも森町のために何かできればと思っています。
- 敬老会の件について一言。年に一度のお祝い事で良いこととは思いますが、今の厳しい苦しい世の中に大変な事です。バス数台、弁当、飲み物、芸事等々費用がすごいと思います。また、前々日からお世話する人達の手間、大変な事です。他の人達から聞いた話ですが、他の市町村では早くから商品券を出してお祝いとしているから助かるとの事。森町でも商品券にしてくれたら町の商店も大喜びではないでしょうか。また、それぞれの人も助かるのではないのでしょうか。
- 老後不安なく暮らせる町にしていきたいと思います。
- 子供健康相談を保険センターで実施していますが、今年度から2ヶ月に1回になってしまいました。「すくすくクラブ」同様育児についての相談・情報交換の場だっただけに前年度のように月に1回実施していただきたいです。子供が幼稚園に通うようになれば自然と友だちも増えると思いますが、それまでの数年間はご近所に同い年くらいの子供がいなければ日々母親と過ごすという生活パターンになってしまいがちです。少しでも同い年の子供を持つ母親達が集い育児について話しをする場やイベントを企画していただけると日々子供と家にこもってストレスがたまっている親の気持ちも緩和されるのではないのでしょうか。公共工事にお金を使うのならもう少し子供達とその親が交流を持てる機会や場を提供していただきたい。

- 子育て支援の活動に参加させていただいた事があります。森町の子供の数が私の時の半分程度になってしまいました。少子化をくい止めるためにも、この子育て支援活動は続けて行くべきだと思っています。要望になってしまいますが、保育料が高すぎます。子供が体調不良でも子供を預けられる所があればと思います。子供を産み安心して人に迷惑を掛ける事無く働く事ができれば言う事はありません。
- 子供の数がどんどん少なくなり、産んでも保育園に入れなかったりして職場復帰できずそのために欲しくても産まない女性があります。2人、3人産んでいる人は経済的にも大変な思いをしています。安心して産める環境づくりが大切だと思います。若い頃取得した資格が生かされ働けるように、また2人以上子供を産む女性にはもっと助成金を増やすなどして助けてあげてほしいと思います。
- 最近時々耳にする言葉です。森町病院に行っても、いい先生がいない。身近な所のしかも新しくしたばかりの病院に信用してみてもらえないとはどうして、と思います。私達年金生活者は、できるだけ自分の頂いたお金で自分なりの生涯生活できるように考えている。家族の中で体の調子が悪い時に森町病院に行けばいいと安心して生活できるような病院にして欲しいです。私は、自分たちで合併しない道を選び歩き始めたことだから、もう少し以前のような活気のある森町にしてほしい。
- 森町はいい町です。ただ高齢化の方が非常に多いので5~10年後どうなるのか心配です。車の運転ができない方は近くの商店を利用したいが閉店に追い込まれていて行動範囲が益々狭くなっています。「自立」は医療費削減にもなります。そのためのサービスを新たに始めるのもよいと思います。行政ではなく民間主義で行ってほしいです。ワンコインでマイクロバス位のを循環するとかあってもよいのでは。すべて無料じゃなくてもこれならお金を出してもよいと思えるサービスを導入して環境は“静か”福祉は“動”を希望します。
- 少子化のため、3人目から手当てを上げて欲しい。
- 森町に住んで日も浅く深く理解できていないため十分な答えが書けませんが、さみしい高齢者が沢山いることが(私も含む)気になります。施設ばかりを頼ることなく昔のように隣同士で楽しく交流できる様にするにはどうしたらよいか、そんなことばかり考えています。
- 今後高齢化が進行し、町税収入が減少、福祉関係の支出が増加する事が予想されます。その様な中で、どこに予算を重点的に配置するのが重要になってくるのではないのでしょうか。前年踏襲ではこの先が見えるし、中途半端になると思います。あと、森町に「総合」病院は必要なののでしょうか。公・私立合わせても6~7割は赤字だと言われているのに、2万人+の市場規模で黒字化は無理だと思います。重要な科だけ残して、あとは民間に入ってもらおう(場所を貸してマージンをもらう)などすれば人件費も大幅に減らせるのではないのでしょうか。
- 子育てをしながら仕事をする場所が欲しい。妊娠をしたから企業の都合で退職というのではなく進んで育児休業を取得できるよう働く女性にとっての情報がもっと欲しい。
- 単独で町を運営していくのは大変だと思います。まず緊縮財政で進めるよう削れるところは削っていく体制が必要だと思います。近づく敬老会の事について考えますと、高齢化が進む中該当者も多く出費も大変だと思います。現在は1ヶ所で行われていますがこれを学区(学校)単位にして学区(地域)の人達がお祝いをあげるといった方向に持っていけば遠くまでバスで行かなくても良いし近くなら出席できる可能性も出てくると思います。余興などは地域の方が担当して祝ってあげればよいと思います。バスの往復、手伝いの方の補助費を考えると予算的にも軽減されると思います。今はボランティアの意識も高まっていますし、時代に沿った改革も必要ではないかと思っています。
- 三倉地区は交通の便が悪いので、免許のない人や高齢者など買物その他の用事で街中へ出掛けたくてもなかなか出掛けられない状態です。患者バスに病院へ行く人以外でも乗せてもらえるようにしていただくとありがたいです。用事で福祉センターへ行ったときよく見かけますが、仕事中に職員がジュースを買いに来たり空き缶を捨てに来たりしますが、一般の企業では考えられないことです。

- 敬老会のご案内をいただきましたが、毎年お手数をおかけし皆様方のご苦勞を感謝いたしております。今年も名簿をいただけないとのこと、外出もままならぬ身にとりまして古きお友達の事が分かりませんので誠に残念でございます。心の楽しみといたしておりましたので一言書かせていただきました。

【生活環境・防災】

- 遠州の小京都に恥じない街並みづくり。古い建物や軒並みの保護。森の祭りの観光のアピール、記念館、パンフレット・資料の作成。なんでも新しく変えるのではなく、古いものや昔のままの宿場町の良さを生かして欲しい。人情や風情のある街づくり。道路の拡張反対。広くてもスピードを出さず、狭いから人に気を付け、安全に運転すると思う。工業団地への企業の呼び込み。街全体が活性化する行政と町民の協力。街全体を古くよいものに変えていき、観光のアピールにもっと主張すべき。
- 老人の町にならないよう若い人たちの意見を聞き、協力して、働きやすい、住みよい町づくりを心がける。森町は歴史的な場所が多いので、それを大いに生かして景観の保全に尽くすとよい。桜も町の全体的に多くなり、桜並木も美しいハイキングコースもよいと思う。
- 町の組織のスリム化の一環として、町内会、組織の再編を考えたいかと思う。現在 70 余りある町内会は大小さまざま無駄が多いのではないかと、1 町内会を 100 戸以上に再編して合理化を図ったらと思う。まちづくりについて、小京都として町を標榜している割には訪れる観光客の数が少なく感じる。近くに小國神社があり年 1 回多くの参拝者が訪れると聞いている。これらと連携して市街地を古い昔に再現して土産物屋を設けて散策できる魅力ある町並みを演出したら多くの観光客を誘致でき、活性化が可能だと思う。
- 太田川がいつもきれいであってほしい。堤防に植えてある「さざんかの木」が、草に埋もれてしまっているのを見ると、手入れが大事だと思う。堤防や河川敷がきれいですっきりしていたら、気持ちいいのにと残念に思います。(人工的な工事という意味ではありません)
- 外でゴミを焼いている人を見かけることがあります。健康にも影響しますし、空気も汚れるので注意を呼びかけてほしいです。
- 今現在は車の免許を持っている為あまり交通の不便さを感じませんが、以前はバス停もない所へ住むことに不満でした。高校生の時など冬は早く暗くなるのでバスを降りた後、自転車でも寒く暗い道を一人で帰る時のむなしさを今も忘れません。そんな時は、もう少し家が町の中ならと考えました。せめて、もう少し明るい工夫をと思いました。電灯があれば虫が来るし、良い方法がありませんか？とにかくバスが通らないというのは今後子供を育てていく上で、私の経験から不便なことと思っています。
- ゴミの収集に問題を感じます。ビニール類の燃えないゴミの収集日を増やしてください。生活で出る大半はビニールです。しかし、この町では月たったの 2 回。少な過ぎます。これからは分別しないで燃えるゴミに燃えないゴミを出す人がいても仕方ないと思います。しかも、回収場所ではゴミ袋を開けさせています。ゴミを出す人のプライバシーが侵害されていると思います。収集の係の人が「何を食べているのか良くわかる」と話しているのを聞き立腹しました。外国人もゴミの出し方がわからず家にためてしまう人がいます。回収日を週 1 回とし(磐田市ではそうしています)、ゴミの袋を開けさせるのをやめてください。お金が掛かるのが問題なら町民から集めればよいと思います。決して無駄なお金ではありません。住みよい町になることを期待しています。
- 自然が多く残っているこの町が好きです。もっと年をとっていけばなおさらそう思いますが、交通の便が悪いことが不安です。今は車を使っていますが、年をとりタクシーを頼まなくてもよい町にして欲しい。若い人が生活したくなる町、仕事に安心できる町を。
- 農道のゴミ捨てをやめて欲しい。

- 古い町並みを残したい。
- 「井の中の蛙」で森町森に生まれ、森町森に71年間住んでおります。他市町村の事は新聞などでしかわかりませんが、森町立森小学校の校歌に常磐の森（永久に変わらない）と歌われておりますし、流れも清き太田川（浪曲）と語られております。小國神社にしても今から約1400年前、八形山蓮華寺さんは1300年前、天宮神社、山名神社にしてもこの森町を古くから見守ってくださった事と思います。また国学者小國重年、氷砂糖の鈴木藤三郎など数多くの人達が我が森町を見守っていると思います。工場誘致、住宅など結構だと思いますが、二宮金次郎の精神でいきたい。
- バスが通っているが、回数が少ない。（高齢者）小型（15人～20人）バスにして民家の近くまで行く（旧豊岡村を参考）。通院に不便。
- 交通手段がもっと便利になればいいと思う。一宮にはバスが何も通ってなくてとても不便。森町がもっと活発になることを望む。
- 私は生まれてからずっと森町に住んでいて住みやすく温かくて大好きな町です。しかし、時々思うことがあります。それは街灯の少なさです。小さな頃から少し帰りが遅くなると道路が真っ暗で思いをしました。今も夜歩いていると街灯が切れていたりしている所もあります。ちょっとしたことでお願いします。これからも、もっともっとよりよいまちづくりをして下さい。
- バスの時間は正確に。
- 森の自然環境、産業のイメージ等小京都と呼びたい町だと思い、住んでみたいと思い移って参りましたが、ゴミ回収に始まり次々と生活環境の悪さ等がっかり。合併浄化槽を設置しても下水道の回りから油が流れ込んでいたり、焼却してはダメと言ってももうす暗くなるころから燃やしたりする人がいる。一ヶ月に一度きりの不燃物の回収。新しい人が入っても来ても昔からの生活習慣が住人、町職員にも色濃くあり、本心でこれは良いこと悪いことの意識の低さに今は移住も考えております。住みたい人が増えないということは老人の町になり負担だけが増すのであるなら、ある程度負担が増えてもここに住みたいと思う様なところの方が幸せだと思います。人が幸せを感じられるきれいな町にして下さい。
- 家庭でゴミを燃やす人が多いので徹底してほしい。
- 一宮はバスがなくてとても不便。天浜線は便が少なく乗り換えとか大変。バスの乗り換えもいろいろで高齢者の方々や子供たちにはわかりにくいと思う。バスの表は字が小さかったりして高齢者の方には見えにくい。高齢者が多い森町だからこそ、もっともっと高齢者が住みやすい町になってほしい。その分、若い人が出ていかないように、なじみある町になってほしい。また戻ってきたいと思う町になって欲しい。今でもとても愛着があるが、まだまだ森町という知名度は低いと思う。友達で森町の存在を知らなかった人がいる位。もっと活力のある町にしていきたい。
- 私ども老人ではなんとも言えないです。良い町になることは誰も願っていると思います。町民みんなが人に迷惑を掛けることのない人にならなければいけないと思います。交通の便が悪いと、老人や車に乗れない人は町に買い物や用事で出ても帰りのバスの時間まで森や車庫にいななければならないので困ります。時間以外にたとえば10時頃か10時半でもよいが落合方面まで定時以外の車の都合をお願いしたいと思います。料金は出します。
- これから太田川ダムができ今までのような自然環境を維持することは容易ではないはずです。これまでのような保全活動では足りないと思います。川や森や山などの自然と生態系をどうしたら守れるか。守ったうえでどうやって町の資源として活用すればよいかを考えるべきです。現在の町や漁業組合などの中には環境に対して広い知識とバランス感覚を持っている人はいないと感じます。そのような人を見つけこれからのプランを大事に考えなくてはいけないと思います。また観光の名所であるアクテ

イ森ですが、現在の経営状態では町の負担にしかになっていないのではないのでしょうか。観光施設として役割は果たしていますが、観光資源としてはまったくま役に立っていないと思います。「経営者」の見直しと「経営そのもの」の見直しを図り資源として森町の役に立ってほしいと思います。

- 空き地でゴミを燃やすのをやめてほしい。河原の犬のフンが汚い。ゴミも落ちているのでしっかり持ち帰ってほしい。大人の人達に町や環境のことをしっかり考えてほしい。きれいにしてほしい。
- 自慢できる森町の自然環境をこれ以上悪くしないために太田川ダム建設には是非考え直して欲しい。ダムができることにより必ず太田川の清流が消えるでしょう。
- 森町に来て 20 年以上たちますが、交通の便が悪いことです。警察署が廃止されたそうですが、生活の上で安全が保たれる。配慮をぜひご検討ください。
- 治山・治水に力を入れるべきである。環境破壊につながる事業だけはやめるべきである
- 私は今年の春に藤枝市から転入してきましたが、この町に来て最初に驚いたことは個人宅でもリサイクルボックスが置かれていることです。ゴミの分別回収は当然の事であるが、やはり何か問題があると思います。
- 以前に比べて役場の窓口対応が良くなりうれしく思います。森町は山や川など自然豊かでとてもいい所ですが、考え方は本当に閉鎖的で、視野が狭いと思います。私は 20 代ですが若い人としては、合併しなかった以上、下手に他地区を真似るのではなく、とことんローカルの田舎のままでいて欲しいと思います。それでこそ森の特色が生かせると思います。上水道や下水道や道路など最低限行政が責任を持って整備すべきことは整備して、あとは自然のまま、昔のままにしておくべきだと思います。昔ながらの景観や街並み、自然を残し、それを森の持ち味に変えていくことが一番森町にとって良い選択だと思います。合併しなかった以上、もう中途半端に発展させるのはやめましょう。
- 太田川ダムが着工していますが、水資源の確保、森林の保全のため森林整備が重要と思う。
- 太田川ダム湖の観光、レクリエーション、自然を考えるボランティア活動が出来る場を作ってほしい。

【産業振興】

- 森は歴史が長く伝統あるものも多いものの、そういうものが町外にアピールされていないと思う。以前、合併をするはずであった他の 2 つの地域は観光課がないため、方法によっては観光により森町の活性化が図れるのではないかと思う。観光協会と商工会でタイアップして有能な人材を使い、町民の協力も得て発展させる事が可能ではないかと思っている。「遠州の小京都」に恥じない町にしていきたい。そのために限られた資金の運用について無駄のなきよう行政側で考えていただきたいと思う。
- 太田川の汚れ、特に中州が草におおわれてしまいました。今までこのような太田川の光景はあまり見た事がなく、これからダムもできず「流れも清き太田川」が生き残っていけるか心配になります。夏は吉川、太田川にと遊びにくる人も多いと思います。もっともっと森町へ足を運んでもらえるようにレジャー施設も必要かと思います。合併をしない道を選んだ以上、町民は森町のために何かをやらなければなりません。森の茶・米・とうもろこし等は他の比べても絶対に負けない味です。もっともっと森町から発信して森の石松以上に全国区に出てもいいと思います。頑張ってください。今回合併問題で改めて森町の良さを実感しています。もう少しふんばってみんなが参画できる場所を設けていただきたい。
- 人材づくり、小学校からの教育の必要。早急に観光地にする場所があります。太田川ダム湖の利用です。釣センターの設立です。ポート岸の釣場所の計画を。魚の種類にはワカサギ、マス類(ニジマス、ヤマメ、アマゴ、イwana)を年を通して集客の必要性を望みます。

- 合併をせずに頑張る「森町」が町外の人達に認識され「森町」に行ってみたい、見てみたいと思われるまちづくりを町民、行政が一体となって協力し合い、理解しあえるよう町民の一人としてできることはしたいと思います。これからの子供達が大人になっても「森町」に住みたいと思えるまちづくりができればいいと思います。「森町」の良い所をもっとPRして観光客にきてもらえるように外からの人達を受け入れる体勢が必要だと思っています。
- 若者が町外へ転出しないために事業所、工場等がもっとあったら良いと思う。工場団地が出来ているのだから、町として企業誘致に力をいれたらどうか。また若者が集う設備(レクリエーション)を。屋外ステージ、親水公園を有効に。
- 商店街の活力は工夫次第で生まれると思います。森町へ行けばあれがある、これがあるというような物産をもっともっと増やしていければ良いと思います。
- 森町は他の地域に比べ少し保守的な感じがします。新しいことや新しい物など受け入れが消極的だと思われまます。それは古い人とか住民性にあると思われまます。また若い人が多く残らない町の様な気がします。森町内を整備し古都の町をイメージするきれいなまちづくりをし、観光客を誘致できたら町の発展にもつながるのではないのでしょうか。
- 工業団地の立地条件は第二東名ICに近く良い場所だと思います。今の内にしっかりとインフラ整備の計画を立てて他のライバル工業団地よりも好条件になるようがんばって下さい。他の町から人が移り住みたくするような行政サービスをお願いします。観光開発ではなく、定住希望者が住みたくするポイントをしっかりとおさえて取り組んでください。(住宅地の整備、人口を増加できるように宅地開発推進)
- 企業(工業団地)を有効に利用するために真剣に働きかけを行うべきである。本気になっていないのではないか。
- 森町小京都として銘打っている以上、城下の町並みを昔によみがえらせ、森町小京都「観光歩道」を造りあげてほしい。若者が森町から出ていけない対策(特に山間地域)を考える必要がある。そのためには大企業は無理と思うから、中小企業を森町に発展させ、若者の多くが働ける場所を造りあげてほしい。
- 親の仕事を引き継ぐ子供が少なくなって来ている。大型店が出来ると負けてしまいます。でも働く人は仕事があるのでうれしい。町の商店で薄暗く汚れっぽい店が目につく。活気が見られない。店内を明るくきれいにしたい。入る気がなくなる。山の奥にある店へ入ったとき商品がきれいでそうじが行き届いていて周りは静かなところなのにやる気を感じた。
- 森町をアピールするには駅などにポスターを貼り、町外からの客を呼び、森町はいい所だと言われるような町にしなければならぬのでは。
- 今後は地方交付税も減税となって行く中で独自の町運営を決断した以上、この町でしか出来ない事柄(農産物、工業製品、観光)をリストアップして全国のオンリーワンを創り出し、町の活性化につなげてほしい。
- 実現不可能に近いが城下を昔風の町並みにしたらどうか。中山道のように。西側の田を観光客の駐車場にし、城下の町で土産店を売る。水車を作る。太田川から水を引いて。城下に人、観光客が集まれば町を通る時に買い物をしてくれるのではないか。城ヶ平に城を建設してほしいが難しいと思う。町営グラウンドは芝生に。小中学校、高校等の施設に冷房を。病院に産婦人科が欲しい。望月プラザは良い。河川等整備は自然が大切。
- 森町の商店はあまり買いに行っても愛想も悪く、知っている人にはものすごく話をしてニコニコしている。同じ買い物をしているのになぜか。もう5~6回位そんな思いをしているので森では買い物し

たくない。知人だからか、自分がその立場だったらどう思うか考えないのか。だから森では買い物に行く気になれない。

- 近郊の山林や竹林は荒れていると思います。所有者個人でのメンテが全くできていない状態にあると思います。他県、町外などから森町に体験に来ていただくような事業促進を望みたい。竹の子掘り、きの子狩り、炭焼き体験など。
- 自然がいっぱいの森町ですが観光にもっと力を入れた方がいい。あまり森町のいい所を知らない県外の人がいるようです。
- 高校生が遊ぶ所も1ヶ所くらいほしい。
- 私達の所では近年急速に信号が3ヶ所も出来て交通の面で不便な時間がある。特に大型車が多く、通り抜けるだけで森町に用事のない車が多い。何よりも優良企業の誘致により森町に用事のある車のための道路でありたい。企業誘致なくして森町の発展があるのか。青・壮年代人に興味を持ってもらいたい。
- 日本の国土は良い土壌に恵まれず自給自足、適地適作、地域の産物という観点からこの町で作れるものを指導していただきたい。これから先、食糧不足が囁かれる中、農地を有効利用し農地第一に物作りを考えるべきと思う。外国物の悪さ、外国人を頼ることのできなくなる事を考え、小さな所から出発し森の町づくりの一考と提案します。
- 大手工場を誘致して今の工場も同じように通勤の便と輸送路を取り付けてあげたらどうか。その工場に働く人の住宅（一戸建て）を促進してあげたらどうか。
- 先日テレビでキキョウ寺について見ました。名古屋の方から来られた方に道を尋ねられましたが、看板等でもう少し道案内があればせっかく遠くから来てくださった方に喜んで貰えたのではないかと思います（お寺の方にもお願いしてみてもいいでしょうか）。最近テレビで天浜線が取り上げられたり、ソーセージの店やそば屋等を聞かれたりすることが多くなりました。
- 第二東名に関連して、森・掛川インター周辺の整理、企業・生産工場誘致や工業地帯の整備、町財政では無理と思うが、効果は大きいと思います。森町PAにはどうしても入りたくなるような店づくり、地元特産品の計画生産を目標に入れ、消費者や企業、努力家に早く働きかけをして欲しいです。独立町政となった現状では、まず人口増（1万人以上）に最善の努力をする必要が急務と思います。時代の流れで一宮地区荒山100haに政府資金や町、財産区等25億の投資で作った茶園団地は約30年間組合員100名の筆舌に尽くしがたい努力と知恵で現状があるが、時代が変わり大変茶産業も厳しく、環境の良い標高140～170mの地を都会の高給退職者の高級住宅地となるよう、道路、水道、排水を充分考慮し徹底した調査の元優良な企業に実践して欲しい。
- 工場を誘致し財政的に裕福になる。強いリーダーシップを発揮するような人材を活用して森町全体のレベルを上げていく。

【町政】

- 先般の合併に関わる件について、森町の将来を考慮したとき、財政、広域行政、文化、環境のあらゆる面から検討して周辺市との合併が必要なのか、単独でやっていけるのか、町民にわかりやすく教えていただきたい。前回のように、小さな町で行政（町長）と議会（議員）の考えに多くの隔たりがあるのは決していいことではない。まず「合併あり」「反対」ではなく、多くの面から数字、状況を通して意見を交換し、真に必要なことは何かを町民に示して欲しい。田舎の小さな町が、地・人の特色を生かして輝くには、行政、議会が町民の意を反映していくのが大切ではないかと考える。

- 森町は単独で小さい町です。まず経費の節約、行政のスリム化（大きな町でも小さな町でも同じように役職・課があったら大変です、キュッと縮小し手本を見せるべきです）。これから先、若者がこの町に定着するように、仕事、教育、生活と安心できる町にして欲しい。新しい時代の森町に変えて欲しい。思い切った改革を願っています。
- 「資金が足りないから負担金や税金を増やす」こんな事は一番簡単でたやすいことです。バカでもアホでもできる。どう合理化し、無駄を省くか、まちをよくするために、町のリーダーとして活動するために、公務員や町議員になっている方、なった方は当然の事ながら努力してもらいたい。住民の1人として、協力はしていきたい。縁あって森町にきました。しかし、子供たちが「ここに住みたい」「ここにいたい」と思う町になっていかなければ、どうなってしまうかわかりません。もっと地元での就職やしっかりした仕事先があれば、変わっていくかもしれません。企業誘致（公害のない企業）をすべきです。
- 町長はじめ町会議員、職員の給料をカットして、財政を立て直していかなければと思う。
- 合併をしなかったのですから町内で間に合うものは全て町内で間に合わせて欲しいと思います。たとえば、高齢者で1年間医者にかからなかった人達に配られる海苔のセット等、これ等を商品券にしてほしいと思います。そうすることによって町内が少しずつでも潤うと思うのです。是非お願い致します。森町だよりも以前載っていましたお悔やみ申し上げますはこれから是非是非掲載してくれるようにお願いします（2年も前から言っている事です）。
- 森町として残った以上町民として納得できる町政を行って下さい。
- 住民の代表として選ばれてそれぞれのポジションについて人達は、もっとそれなりの責任を持って住民の意見や要望を聞いた上で色々な活動をしてほしいと思います。このアンケートに基づいて町づくりをしようとしても、お金がなくては何も出来ないと思います。今度の合併の件に対しても、上の人たちが先に計画を立てその後に住民の選挙があったのでこれは失敗だった。森町の人達が皆言っている声です。これからは森町に住む人達の声聞いた上で活動してほしいものです。
- 森町民は、まだまだ景気回復には至っておりません。低所得で子育てを最優先して生活をしている状態です。しかし、年金生活者で毎月旅行を楽しんでいる人や町職員でありながら奉仕作業、町内会行事にも欠席している者が多々見られます。地震など災害があった地域にボランティアに行ったりしてその状況を町民に知らせ、東海沖地震対策等に生かせたら町民の信頼を得ることと思われまます。森町には、給食センターがあり高齢者にはたいへんありがたいものですが、その食材の委託の話が農家ありません。行政はどこから仕入れているのでしょうか？またサービスとは民間では無料です。有料だったら職務です。行政は頭を切り替えて頂きたい。議員削減の結果、一年生議員が半数ではいまだ議会報告がありません。これでは町職員が各地域に報告して歩くほかないと思われまます。
- 合併しない町の行政改革はまず役場内部から。職員が車で出向の折り、1人で用が足りる物を3~4人も便乗してくるとの声を多く耳にする。職員を5人から3人に減らし、2人を減らした分の1人分の給料を3人に分けて能率を図る。助役を廃止し、その任を総務課長が代行する（助役に給料の3分の1を与える）。必要以外の公用車の出向をさけて経費節減を図る。
- 公共施設の運営が赤字になっているところは原因を究明し改善していく。一般会社（製造業）の様に提案活動を取り入れムダをなくす。相当な節減になると思います。
- 今後の町が心配である。町職員、議員などが町民に対して町の在り方を知らせる事が大切ではないか。
- 人づくりの一語に尽きると思います。優れた人材の発掘登用も大切と思います。すぐ出来ることは職員を適材適所に配置しその能力を十分発揮させることです。

- 町の発展には何が必要かよく研究し必要な経費は惜しまず予算化して出費すべきである。 人件費の効率化を図って行って欲しい。
- 人口の減少と益々厳しくなる財政状況の中でまちづくりは大変なことだと思いますが省けるものは出来るだけ省き、任せられるものは民間に（実績を持つ人材等）に任せ、町に愛着のある行政サービスのボランティアの活用を進めるべきだと思います。
- 行政改革について、スペシャリストの養成を。職員配置、常日頃の見直しと弾力的な配置システムの工夫。3~4年ごとに職場を替わるといふゼネラリスト養成のパターンでは専門的な知識は身に付かない。一つの職を徹底した経験を積んでスペシャリストを育てる事が職員の効率的な向上につながると思う。 森町の発展について、現在森町の状況は他に金を出しても金は入ってこない。他から金をおとしてもらうには他の人を呼び寄せる事、すなわち観光の町に変貌させる事ではないでしょうか。森町小京都と言われて来ました。神社仏閣が多く祀られています。観光協会の長い冬眠から目を覚まして神社総一代・お寺総一代・役場・観光協会・地域が一体となって取り組み、明日の森町を考えてはいかがでしょうか。また商工会、商店会共協力する。
- 町長はもっと毎日の職場生活にきびしい目であるべき。役場内に非常に無駄を感じる。人件費 15%カット。(15%根拠は何にからか)森町は他町村に比べ役場職員が多い。役場管理職は試験制度にすべき。また民間企業への研修制をとり入れる。各課の統合をし、管理職は民間企業への勉強が全体に必要。すべての意味で町長を始めとし、議員のみなさん、役場職員の姿勢を見て町民はやる気を出すと思う。徹底した無駄の排除をすべきである。
- まず財政が厳しい。財政をふまえて議員さん多い様に思われます。見直したら良いと思います。町民の意見を聞いてください。人件費の削減です。
- 去年の今頃の町の財政シミュレーションでは合併しなくても十分やっていけるとのことだったが、単独で進むことになったら財政が厳しいというばかりである。町民に合併しないことを選ばせた最大の原因だろうと思われる財政シミュレーションについては、その後一切説明がない。どこが違ってきているのか、これからどうなるのかを町民にきちりと説明した上で、行政と住民が協力してまちづくりを考えていかなければ森町はなくなってしまうのではないかと思います。豊かなまちでなくても住み良い町づくりを目指した方が良いと思います。
- 町職員、また議員さんの頭が高すぎると思います。町の行政の見直しをお願い致します。町職員の削減（いつ来るか分からないお客さん）を待っている時間のムダ、知識のない方等に税金のムダ使いはしてほしくないと思います。
- 民間企業は景気低迷の中、意識改革、接客マナーの向上、経費削減などにより生き残りをかけて企業努力をしていると思います。役場本庁の1階受付の対応はどうでしょうか。行政の風潮でしょうか住民サービスに対して、一部の職員の方がやってやると思いたくなるような受付態度が見られます。嫌な思いをされた方も大勢いるのではないのでしょうか。役場の職員もサービスを受ける立場に立って、考えてみれば分かると思います。早急に改善を頂きたいと思います。困っている時に気軽に相談に乗ってくれるのが行政と考えます。町民代表である町議会議員の意見を住民の声として、受け止めて頂き改善、改革を行ってほしいです。（議員さんも民間で活躍されている方たくさんいます）今後の森町を考えると問題点はたくさんありますが、行政と住民が一体となり、さすが森町と言われるような、活力ある町づくりの推進をお願い致します。
- 合併をせず単独の道を行くことになった森町ですが、不安があります。財政的に難しいのに下水事業を考え直さないことや不要な水（上水 4,000 トン/日）の買い入れなど森町が生き残っていくために無駄な出費をまずやめなければいけない。もう箱物行政の時代ではないので、頭をつかっただけのまちづくりをしてもらいたい。首長はイエスマンばかりを大切にせず、もっと問題提起や疑問を主張できる人

が森町の未来のためになることを知るべきだと思います。その方が現状の森町の欠点を見抜き、また、森町の方向付けも誤りがあれば指摘されるのでよりよいまちづくりが可能となるでしょう。

- 行政が今何の事業を進めているのか、一般町民には全く解りません。もっときめ細かに情報を下ろす方法を考えて下さい。今後、財政の健全化を図るためには、町長の協力が何よりも必要と思います。行政には、地域に積極的に出向き、町民の意見をできるだけ多く吸い上げる様努力して下さい。
- 20年来住み良い町、住みたい町づくりを合言葉に町民一体となって取り組んで来たが、21世紀もすでに5年、こんにち私共の身の回りの現況は過疎化が進み、人口の減少、少子高齢化が急激に進み、地域を取り巻く環境は一段ときびしい現実があります。先の住民投票により単独の道を選んだ選択肢は問題ないか、行政改革による国、県からの補助交付金はきびしく半減されないか、町財政は大丈夫か、森町の明るい将来像は、私共地域住民も旧来の悪い習慣から目覚め一段と意識改革をして町行政共々対話を重視して、それぞれの立場に立って知恵を出し合って住み良い、住みたくなる町づくりに前向きに進む姿が必要かと思います。
- コスト削減、サービス向上。町政運営の町民の参加（シルバーを頼まず）、ボランティア行政サービス参加（東北の矢祭町合併せず行政が良くなっている）、テレビ日曜討論会を観て森町もこうなるといいと思いました。
- 周辺の市町村が合併し大きな組織力として発展していく中で我が森町は町民独自の力で生きて行かなくてはならない。そのために町の組織のスリム化、現組織の徹底的検討をする。不用なもの時代遅れなもの非効率なもの等がないか。職員意識改革、一人ひとりの職員の危機意識がどんなであるか森町規模で職員が多過ぎる。現職員より最低16人は削減できるはず。パート職員がいつの間にか正職員になっている？（職員定数と職員給与）町の外郭団体の長を長期間（5年以上）にならないよう常に人事の刷新を図ること。
- 余分なお金は使わずにしてほしい。町議会、議員の給料を一般企業と同じにしたりする。町長などの給料も同じ一般企業が出来るような経費削減をしてほしい。これから子育てをする人達のためになるまちづくりをしないと袋井市等に移り住んでしまう人も多くなると思います。幼稚園ばかりではなく保育園へ通わせている親たちの事も考えて欲しい。お金がないならないなりに返信用封筒も回収に歩けば良いのではないのでしょうか？そのようなことから意識を変えないとまちづくりは良くなっていかないとします。
- 町の行政や動向を知るために世帯主ではなく個人宛へ情報が欲しい。
- 森町は地域性が強く「一本気」「義理」など「人間関係」を重視する風潮が強いと思われます。（同級生のつながりが強い、仲間のつながりが強い等）「筋道」「道理」「理解を十分得る」等「じっくり時間をかけてまとめる政策」をとり「町民の心をつかむ町政」にしないと反発する人は多いと考えます。私は数十年前に森町に移住してきました、生まれ育ちとも森町ではありません。
- テレビで見た年中無休の役所、役所のサービス向上を。
- 森町としてのビジョンをはっきりさせて行政を行ってほしいです。今後合併を考えているか明確にしてほしい。町長と町民が気軽に話し合える場を提供してほしい。
- 商工会で行っている森地区の夏祭り歩行者天国も町からの予算によって実施されているとは思いますが、一度一般の方々の意見を集めたらどうですか？先般ある新人の議員の方が申すに、農業関係の整備に助成金があるけれど、くれるだけの金は全部使わなければ損だとまったく税金の無駄遣いというような言葉を平気で言っている。行政自身も目を見開いてやってもらいたい。第三セクターで運営しているアクティ森町の財務について、内容を広報森町にて町民に解るように説明をしてもらいたい。毎年赤字補填をしているとの話を聞いていますから念のために。

- 森町単独行政を選択した以上、財政不足の折、緊急性・重要性・通常等の区分けをいっそう明確にし、税金の効果的な運用をする。情報公開として、広報もりまちの従来の数字報告もさることながら、現状の問題点、また結果報告、中間報告を詳しく伝えるとともに目標達成度を%等数字で把握管理する。都市型生活がすべてにおいて目指すものとは考えられない。あまり便利でなくても田舎独自のゆとりある暮らしもいいのではないか。町行政担当者に特別専門職を設けエキスパートを育成し、県、中央にも対応できる人材育成を図って頂きたい。各種行政事業プランのシミュレーションを数多くして選別する。職員の削減ばかりでなく必要なら増員も良しとし、アルバイト、パート等の活用もいかがかと思われる。
- 行政のスリム化最重要。町民が納税した大切な予算を有効に使いムダを省いて予算を余らせるような行政を心がける。民間企業は大変な苦勞をしている時代に役人は公僕としての自覚が足りない。他人の金だと思わずに税金を大切に使う。
- 窓口業務の人員配置は適切な人員配置になっているのだろうか。
- せっかく単独の道を選んだのですから、森町が良い方向へ進めるように必要なところへは投資をし、削ることができる物は削り、ムダのない財政運営をしていってほしいと思います。自然がいっぱいのこの町で子供が安心して成長できるよう子供の未来が明るくなるような町づくりを進めていただきたいと思います。私達も小さいことでもできることが有ればやっていきたいと思います。
- 以前合併しない町のことをテレビでやっていました。どこだったか忘れてましたが新しい町長さんの考え方で役場の中から変わろうと職員の教育から始め、すべての面から経費を削減し町民の理解、協力を求める、この通りだと思った。役場の中が変われば町民も頑張ろう、協力しよう、という気持ちになると思う。今のままでは仕方なくやらなくてはいけないようで進歩はない。
- 将来的に「森町」をどのような地域にしていきたいのか不透明（都市にしたいのか、名所旧跡や神社仏閣を生かした遠州の小京都にしたいのか）
- 森町役場という会社が赤字なら、支出を減らし黒字になるよう努力しないといけません。民間であれば給与カット、ボーナスなしです。テレビ、新聞に出るのは大手企業だけなので参考にするのはおかしはずです。たとえ参考にしていなくても考慮すべきではないでしょうか。苦しいからといって町民や企業を締め付ける前に、自らの態度で示すべきだと思います。町民は納得しません。商店街は人がいない。地方の主力産業の建設・林業もダメ。森町は豊田合成とお茶だけしかない町になってしまいました。
- 森町福祉センターのお風呂は役場の休日と同じですが、ゴールデンウィーク及び年末年始は町内外からの利用者も見込まれると思います。是非営業していただきたい。なお、食堂等利益が出ると思われるので一考されたい。役場は利益の出ることを考えて欲しい。森町のやる気のある人たちの意見を聞き、活性化に役立てて欲しい。役場の職員の人数は多すぎるのではないか。森町病院の職員の人数は多すぎるのではないか。処方箋の前に一人常にいるのは無駄としか思われぬ。
- 森町も単独で出発することとなり厳しい状況が予想されます。特に財政は私達町民にとりまして直接影響を受ける問題として非常に危機感を持っています。今や官も民も同じく自立していける力を持たなくてはならないと思います。又今すぐにできること、できないことを大別し、できる物はすぐに手をつける、できないことは別のワーキンググループを結成して対応していく事が重要ではないかと考えます。（廃止、縮小、減額を考える）
- 森町は合併を返上したがその先の町のビジョンが見えない。単独でこの先何年やっていくのかどういうまちづくりをしたいかなど町民アンケートをとって参考するのはよいが町当局はどう考えているのか、財政面のこの先は、町長は在任期間中に合併しないと言うがその先はどのようなだろう。町からの情報が少なすぎる。町広報も旧態のもので新しいまちづくりへの紙面の工夫、アピール等全く見えな

い。単独でやっていく全国の中小町村を少しは参考にして欲しいと思う。祭りとお茶だけが売り物では寂しすぎる。キラリと光る森町。時流に乗り躍らず地道に歩みたい。町名も森町から遠州森町に変えてみたらどうだろう。新しい森町が見えてくるように思う。

- 町政の基本方針については、町長と議会は互いに理解し合い事を進めて欲しい。町会議員の方はご自身が選出された立場を念頭において行動して欲しい。その時その時の雰囲気にも右往左往せずご自身の意志に基づいて行動して欲しい。一担公にした意見、発言には責任を持ち矛盾するような行動は慎んでください。町民と幅広く語り合い町政について「説明責任」をしっかりと果たして下さい。地方自治体の仕事は重要性を増します。行政面、議会面とも人材を育てて下さい。
- 他市町村の合併で変化が見られる中、単独の道を選んだ森町、大丈夫でしょうか。全て何ら変わらない様子で心配です。議員をはじめ町職員の意識も向上したのでしょうか。公共の各施設も元職員の天下り先にしないよう、人事を考えてほしい。シルバーの人材を利用したり、若い母親の人の力を借りたりして運営をしてほしい。
- 質問内容が漠然としていて、回答が難しい部分があった。町の情報公開方法がわかっておらず、町民へ伝え方の工夫した町のサービスを考えて欲しい。
- 合併が達成できず、財政は厳しいかもしれませんが、「町民のため」に精一杯頑張ってください。
- 町がいったい何を考え、何を思い、何をしているのかをより公開して頂きたい。そして、町として何を必要としているか等情報の公開を通じ町と町民が一体となって森町をよりよい町にしていけたらなと思います。合併反対になった後、町長が替わらなかったのはなぜか知りたい。賛成していた前町長が出馬したのはおかしいと思いました。

【町議員への要望】

- 町長・議員は町民のためしっかりやってもらいたい。自分のためばかりでは本当の町づくりはできない。役場の職員の中にも自分達のことしか考えていない人がいる。大半の人はやっていてくれて感謝していますのでこれからもよろしく願います。
- 町議員さんに一言。選挙中の初心にかえり町民の声を聞き議会で審議等を公開してほしい。町内会に出てほしい。森川橋の問題も関係者ともよく話し合い最後まで（議会報告）責任をもって解決し共に手を取り合ってほしい。公共工事排水（家庭雑排水）の具体的な方法、資金などについて説明をほしい。
- 町議会議員にお伺いしたいと思います。町議会の質問書以外にもっと地域の細かい点に目を配ってほしいと思うことがたくさんあります。報酬も町民から見れば大変沢山いただいていると思います。作れなくなった畑の荒れていく土地がどの地区にもあると思いますが、それについての活用方法など議会で考えたことなどあるのでしょうか。議会の報告書などでは一度もそういう点など小さいことは問題にされていないのが大変残念に思います。どんな土地でも税金は払っているのですから合併しなかったため大局的に見てだんだん町が、地名が忘れられていく様な気がしてなりません。
- 各委員会、協議会への議員枠はできるだけ少なくした方が町民、委員の意見が充分出るのではないかと思います。

【町職員への要望】

- 日ごろ役場職員の方にはお忙しく仕事をされているとは思いますが、各企業から学ぶところも多々あるかと思っています。無駄を省き、働いている方に今以上の向上が見られることを願います。もう既に実施されているのかもしれませんが、他市の運営方法や業務スリム化のよいところを取り入れるとか、上層部の方に他を見ていただくとか、これからの森町が閉鎖的でなく、新しいものを取り入れていけ

るような柔らかな頭を持って考えていって欲しいと思います。その中で森町のよさを守っていくことができればよいと思います。

- 町民のほとんどは役場職員に不満です。人数が多すぎる。グータラ時間稼ぎして終業するだけ。理不尽な手当が多すぎる。我々は町内会、消防、体育祭等あらゆる仕事をボランティアでやっているのです。職員も細かい時間の種々まで手当をつけるべきではありません。奉仕の心あつての町職員です。庁舎の掃除は自分たちがやるのが当たり前。外注費の全額の明細を提示してください。退職後の天下りも廃止すべきで、辞めたら潔くお礼の奉仕をしてください。営業不振なら、我々はボーナスも出ない。町職員こそ「生き残れる森町」のために私欲を捨て奉仕してください。
- 今後町が生き残るための第一歩は職員の人件費の見直しであろう。町内に家がありながら町外のアパートに住み、交通費、住宅手当の支給を受けるとはとんでもない。役場の駐車場も当然職員一人ひとりが月額駐車料を払うべきだ。外出や時間外手当など民間企業にはない。怠慢な職員、高慢の態度の職員は町民の勤務評定を受けてクビにすべき。まず、職員の意識を変え、この大変な財政の森町で給料を頂いている公僕の身を真剣に考えるように。町長自身が公務員上がりなので、役場全体が民間の危機感とずれている。町長以下本気で我が身を考えるように望む。
- 今後厳しい財政事情になると思いますが、町職員が率先して努力している姿を町民に示すことにより活性化するのではないかと思います。
- 町の職員が一生懸命やっている姿を見たり感じたりすれば町内会や町民も協力しようという気持ちになると思います。そしたらきっとよい町づくりができると思います。これからの活躍を期待します。
- 町職員の時間割別仕事(職務)の日報をパソコンで打たずに必ず黒のボールペン使用し、毎日担当の係長・課長へ提出すること。メリットは職員の25%カットができる。仕事の内容が係長、課長などに良くわかり改善すべきところが直ぐにわかる。町民の満足、不満足が直ぐにわかる。自筆ですと職員の頭の働きが良くなる。町で使用するものは総て町内業者から買う。メリットは、町民の所得が増加し納税にプラス、町の職員の信頼度が高まる。町の職員の町内での購買意識の向上。
- この様なアンケートが来ても森町は良くなりません。役場の対応の悪さには毎回腹が立ち私1人かと思ひ会社で話すと各自それぞれ不快な思いを受けているようです。自分から進んで仕事をしよう。良くしていこうと努力する姿がなく、年を増やすごとに悪くなる様に感じます。公務員だからではなく、自分から町を良くして行こう。若者が子供を連れて戻って来ることができる町でありたいと思います。現状では、子供を連れて町外へ出て子供を大きくしたいと思う状態です。町の中で充分と思う外の世界を知る事のない方には申し訳なく思いますが、3人の子供を育て終わり変な教育しか受けさせられず成人した2人には申し訳なく思う毎日です。失敗に気付き1人でも外へ出せば良かったと思います。
- 町職員は公務員ということで、役場などに行ったり仕事に対する態度を見たりすると、町民より立場が上だと思っている人が大半であると感じる。今まで役所仕事は時間がかかり能率がよくない。これからは一般企業と同じような考え、職員の育成に努めてもらいたい。一般企業ならとてもものにならない人間が多数いることを忘れなく。安定した職場ということで職員の意識が足りないと思う。
- 大人一人ひとりが意識を持って生きていきたい。大人が成長していかないと子供達が成長していかない。まだまだ子育て期間中なので身近なところから実行していこうと思っています。町職員の方々はどうか意識を向上させてください。今まで通りお役所仕事というやり方ではやっていけません。責任が不明確な分流れやすいです。
- 無駄遣いをするな。もっと危機感を持って。職員の頭の中を変えるのが一番。

- 何故合併しないのか？合併反対で決着したのに賛成派の町長が何故続投なのか？森町の行政は何をやっているのかわからない。これでは周りの市町から取り残される一方では。町職員も一会社の従業員だということを忘れずに行動して貰いたい。あくまでも町民はお客様だと言うことを忘れずに。

【まちづくり】

- 「個人は皆のために、皆は個人のために」という言葉が昔からありますが、自分がよければ、人それぞれだから、みたいな近年の傾向ではなく、面倒がらずに他人と係わり、思いを共有すること、そして協力し合うことのできる人間性の向上をお互いが目指す町民づくりを投げかけていきたいと思っています。
- これからの町づくりに町民の参加は欠かせないものと思いますが、例えば8月の広報の防災ボランティア発足の記事を見ても、ボランティア活動に参加される方々の高齢化が目立つように思います。もちろん、そういった方々がいつまでも元気で活躍されることは大変よいことだと思いますが、それを引き継いでいく、また新しいものに取り組んでいく若い人たちの力も今後更に必要かと思います。幅広い多くの人たちが構えてしまうことなく、町づくりに参加できる体制ができるとよいと思います。
- 合併した町がよいことばかりではないと思いますから、森町も町民全体で知恵を出し合って理解しあいながら進めていけたらいいと思います。
- 森町協働まちづくり委員会がスタートしたことを知りましたが、できれば参加したかったです。森町の厳しい財政事情を考えた場合に合併を考えて進んで欲しいです。
- 町民一人ひとりが年齢を問わず生き生きとした生活が送れる町づくりをしていくよう、町民皆が協力していくべきだと思います。貧しいからといって何もかもあきらめたりしていたら前には進めません。心だけは豊かに、皆がそう感じることができるようこれからの森町に期待したいです。
- 町民一人ひとりが安心して住みやすい町になるように町づくり活動を積極的に行い、貴重な文化、遺産などを大切にし、意見交換などで町民が一体となって町づくりができる方向になればと願っています。
- まちづくりについて、協力できることは協力していきたいと思っています。
- 正直に言います。私は明日もわからない老人です。賛成に をつけました。皆で力を合わせて笑われない町づくりに頑張ってください。 (飯田 女 80歳以上)
- 30年以上森町に住んでいますが、町として行っていることが協力できることもあるのに、一部の人のみに声を掛け、知らない間に物事が終わってしまっている。役場の人間の知り合い、関係者でなければボランティア等協力させてもらえないのでしょうか。年齢を問わず協力したいと思っている町民はたくさんいます。
- 私は某自治体職員であるが、「どんなまちにしていきたいのか？」を常に考え日々模索している。まず、ビジョンを描くことが絶対条件である。町民というよりも、そこに働いている職員こそが持たなくてはいけないことである。生意気であるかもしれないが、私の勤務先も含めて、果たして森町役場の職員でビジョンを描いている方がどれだけいるのであろうか？それが前提となり、各課の事務分掌に応じた自分の役割(仕事)があるのではないだろうか？そうした視点が、総合計画の第一歩であると思う。これから求められる町とは、どこでもそうであると思うが、「安心して暮らせる町」なのである。現在20代後半である私からすれば、これからの世代である子供たちに負担をかけていくような町づくりは大人としてすべきではない。数年先の将来を見据え今抱えている問題は、やはり今対処しなければならないのである。そのうえ、森町ならではの自然・歴史・文化を生かした町にしていくべきであろう。どこにでもあるような、どこでもやっているような町は御免である。お金はなくても、「キラリ

と輝くまち」「町民自らが誇れるまち」が私の持論である。まず、職員の皆さんでそんな町作りを是非考えてほしい。それから、官民を問わず町内外の方と意見を戦わせ、切磋琢磨し、研究し見識を深めていってほしい。

- 伝統的な街として町民であることを誇れる街だと転入して感じる事が多いのですが、地域の独特な特性も強いと聞くことも度々あり、新しく転入してくる人や新しい町づくりなどもう少し考慮し、町の特性になっていけば町民の住みやすい街となり、少子化などの歯止めにもつながると思います。あと、医療施設の質（医療技術的にもスタッフの質的にも）がもう少し充実することも大切だと感じています。これからもずっと森町に住み子供の成長を見守って行きたいと考えていますので、今後の町づくり、これからの森町をととても楽しみにしております。自分にもできることを協力していきたいです。
- 何を町づくりというのかわかりにくい。全体的に質問も抽象的すぎ答えを出しにくい。私はPTAの役員も経験し、現在スポーツ活動を行っているが、スポーツ施設の不備、学校施設のトイレの不備は困っている。またその町の対応も要求に対して何の反応もない。（PTAでトイレの設備について要求したとき、何の答えも返ってこず、無視の状態であった）アンケートも良いが地区別に役場職員、議員等との座談会も必要ではないか（町内ごとに）今までは余りにも少なかったのではないか。特に合併に関しては議員が逃げていたのではないか。町長も合併に反対した議員にかつぎあげられたのはどのように考えているのか大いに不満である。政策が決まったとき、あるいは事業が決まったとき、もうどうにも止まらない状態の時に町民に説明しても遅い。そしてもう箱物はいらぬ。部落座談会（説明会）をやるのが大事。今後の町づくりに期待したい。単なるきれいごとだけでは、2万人余りの町ではやっていけないのでは。具体的指標（計画）を示しやっていくことが大事になっていくと思う。10年の計画も必要だが2～3年後の計画も必要だと思う。（町民に十分な説明を）
- 町の中の活性化を第一に、できることを実行する。森町を自分達で守り、作っていこうという意識を一人ひとり自覚するよう呼び掛けて若い力を集める。
- 大きな市に囲まれた小さな町ですが、小さくても光り輝く町になっていけたらいいなと思います。私たちが住むこの森町が本当に住みよい町になるように、意見を出し合い実際にそれらを実現するために活動することによって、ひとりひとりがこの町に愛着を持ちより一層森町が好きになる。そのためにも、交流の機会や場の提供をしていただけるといいのではないかと思います。ここに住むみんなの手で森町を輝かせていけたらいいなと思います。
- 他の場所にはない森ならではのことを生かし、人が寄ってみたい、住んでみたいと思うそんなまちづくりが出来ればと思う。
- 私個人としては森町の豊かな自然や静かな環境がとても気に入っています。しかし残念なことに外からの新しい物を寛大・寛容に受け入れられない人達が多くいるのもこの森町の特徴です。今後はもう少し積極的に外部の人達と交流をもちよいまちづくりをして行けたらと思います。そして、健康で健全な大人に成長して行くよう子供たちにスポーツや文化交流を通じて視野を広げて行ってほしいと思う。自分らしさのある大人になって欲しい。
- 80才に近い老人です。若い人の意見を。
- 行政と町民が今までの反省をし、未来を創造していく良い機会ととらえたい。互いがよく向かい合い、じっくり検討して進めていって欲しい。負担が弱者へ覆いかぶさるような事がないようそれを特に強く訴えたいです。
- まちづくりの活動は大変重要な事だと思います。今自分自身は子供のことで忙しく毎日を過ごしているためなかなか自分から活動していく方向に行きませんが、近い未来に自分の中でゆとりが出来れば何かしていきたいと思っています。

- 豊かな森町になることを望みます。テレビ放送で茨城の矢祭町の行政について見ました。合併反対後の計画の様子を放送しており、森町でも参考になると思いました。行政と町民が一体となって町づくりに力を入れて下さい。
- どちらかというと保守的な地域で、ごく一部の人の考えに流されがちであるが、町民は新しい指導者や若者の活躍できる町づくりを望んでいる。
- まちづくりのために活動を行うことは素晴らしいがあれもこれもとなると負担が大きい。体協の活動などはもっとスリム化し、参加したい人達のみで行うべきである。強制的に参加させられては大変住みにくくなる。
- 町内会長は60~62才位の人が多くサラリーマンが多い。まちづくりは町内会がリーダーシップを發揮せねばならないのに極めて消極的である。町として地域毎必要な点を町内会長とのコミュニケーションを図り進めなければ動かない。サラリーマンの職場は厳しい。町内会長は会長の仕事が多忙すぎると言っている。最適な事を狭く深くするような町職員のリーダーシップがなければ地域は動かない。町内会長をしてから17年を経過した私は56才で定年退職をしたので、現状より積極的に町内会の仕事をした。
- 今後の町づくりについての町民の交流の場の提供を望む。太田川ダムは町づくりには不要。町職員が多過ぎるのではないか。
- 私は小さな店の個人事業主です。最近商店街も人通りがなく店も忙しくない現状です。このようなアンケートも必要でしょうがこれは商人にはあまり必要ではなく一般の人の意見(サラリーマン、主婦)または声を聞くアンケートだと思います。まちづくりに参加しようと思っても、また店が暇でもシャッターを閉めてまで参加する気にはなりません。もう少しお考えいただけたらと思います。昔のことを言うと笑われるかもしれませんが、前の方が生活しやすかったように思います。町並みばかりよくなっても中身が大切なのではないでしょうか。
- 「まちづくり」はすぐにはできないもので、種をまき、大切に育てていかななくてはならないものだと思います。まずは人間づくりに力を入れ、地域社会の基盤をしっかりとしたいと思います。未来にこの町を支える子供たちを大切にされた教育、育児支援をしっかりとしていき、支柱になる人材を多くしていくような行政を期待します。
- 町づくりは、人づくりからです。昔のような人間味あふれる近所づきあいがあれば自然と明るい活気のある森町になると思います。
- 私は高齢ですので思っている、考えている3分の1も体力的に実行は不可です。若い人達の行動力を行政が一体となり明るい住みよい町づくりを進めて下さい。また町民の中には毎日の生活が大変で苦しい日々を送っている人達も多数いると思います。こういう人達に温かい手を差し伸べる行政と町民の思いやりが必要だと思います。
- 高齢のため町づくりに参加できません。皆様のお力により更に住みよい町にしてほしいと思います。
- 現代の物心共に豊かでない時代に何百年もの歴史を営み続けた人々の知恵をもう一度研究し、これからの「小さくても光り輝く森町を築く」よう創造力を町民と町政が協働して發揮しようという気運が沸き上がってくることを心底願わずにはいられない。「遠州の小京都」という価値に等しい町を作ろうとする町民共通のイメージを共有できる戦略が必ずあると思われる。自分達の代が店を守れるだけで良い、土地を守れるだけで良いという短い時間の考えだけでなく100年200年を考えた取り組みが今必要ではないかと思う。
- 貧しい町で独り立ちして行くのはとても大変な事だと思います。町民と町が心を合わせて今まで以上にガラス張りではいけなくはないと思います。

- 小京都の町づくりにもっと力を入れるべきです。
- 過去の慣例にこだわらず、新しい考えでまちづくりをして欲しい。
- もし町をもっと活発にしたければ、人が動かなければならない。森町の町民が外に出なくても楽しめる町づくり、町民も楽しそうだから協力したいという案、外部が なら森町に行けば楽しめるという環境づくり、そしてイメージを人に持たせる。私たち若者にとって娯楽はとても重要。住んでいても不便でない町づくりをお願いします。
- もっとこのような意見を言える場を作ったらいいと思う。世代別に話し合うとかすればいろいろなことが明確になり、問題解決になると思う（年寄りの意見だけではかたよる）。実際、森町を今後どのような町にしていくのかも全くわからないので情報の提供をもっとわかりやすくしてくれるといいと思う。例えば E-mail など登録制にすれば情報を欲しい人だけが見られるし、コストも少ないと思う（特に若い人にはいいと思う）。あと、企業と町が協力し合える場を作って、活性化できれば。せっかくアクティ森もあるのだから、いろんな企画を町民から出してもらったりして（毎週土日はイベント）いけばもっと売上も伸びると思う。とにかくあるものを活かしてほしい。
- 8月7日放送のサンデープロジェクト矢祭町のまちづくりを参考に。
- 仕事を持つ人(カレンダー通りに休日がある)が参加するには主に土日や夜になって来ると思います。となると公共機関や担当職員の勤務も超過や夜間という手当ががつく形態でなく勤務時間を割り振ってやりくりしていくことも一つだと思います。その上でボランティア活動を盛んにしていったらどうでしょうか。学校に通っている子達も気軽に参加できるものを多くしお年寄りや自営の方達だけでなく広く継続的に関わっていきけると良いと感じます。ロードレースのボランティアなどは、花の会だけでなく多くの方が花を植えるのもどうでしょうか。駅の清掃は利用する高校もやったらどうでしょうか。街路樹がない町道や県道に花や樹を植える。太田川や小さな川の堤防に町内会で桜を植える。
- グループ・人を育てるには権限と資金を与えてどこまで任せていけるかがカギをにぎる。その育てる主旨と助成の在り方をルール化していくことが望まれる。
- 他市町に遅れをとらない、誰もが住みたい、住みやすい町づくりをめざしましょう。
- 町づくりに参加したいと思う反面、なかなか地域性などで機会がありません。問16の3のような交流の場があればと思います。あとは地区の人数や年齢的なことも活動に踏み切れない理由でもあります。地区の壁をなくすような町内誰でも良いというような活動があればとてもうれしいです。あまり地区ごとという事にこだわっていると活動できる地区が限られてきてしまうと思います。それは住んだ時からの不満でもあります。
- 住みたくなる町づくりのテーマは大変難しい課題です。環境、住宅、教育どこかにポイントがあると考えます。提案にはなりません、このようなアンケート調査が重要だと思います。
- 67歳の老人ですが、まだまだ若いと思っています。何か人の役に立つ事があると思います。その場を示してください。そうすれば、働いてみたいと思います。
- まちづくりに活動するならば町内すみずみまで手をのばしてほしいです（特に道路、どぶ、どぶ川など）。
- 自然環境に恵まれた森町なので住人はもっとおおらかな気質の中にも開放的で協調的な人間関係の力で良いまちづくりを進めたい。なんとなく余所者を受け入れない排他的な面が少し気になる。

【合併】

- 森町は前回合併しなかったけれど、財政などこれからのことを考えると厳しいと思います。少ない人口でたくさんのサービスを望むのは難しいことなので、この先もう一度合併について考えたほうがいい（町民一人ひとりも）と思います。
- 森町単独で行政はできません。掛川市及び磐田市と統合し、新たな町政にし、住民が納得する形をとるべきだと思う。役場は職員が多すぎる。民間に任すことは民間にする。
- 森町は合併せずに単独の道で歩むことになったと言われているが、少子高齢化に伴い高齢者がますます増加していく中で、このまま単独の道が続けていくことが本当に町民にとって幸せな生活を送ることにつながるのでしょうか？合併の是非を問う住民投票が行われたが、本当に正しく行われたと思われませんか？住民投票の数日前に町議会議員が中心となって合併のデメリットを強調させたチラシを配布し合併反対に誘導したが、このようなことをしても公正に選挙だったと言えますか？高齢者が増加し、高齢者を支える若者の負担が大きくなる中で、十分な福祉ができないだけでなく、若者がますます税金を払わなくなるのではないのでしょうか。特に、介護保険料は地域によって払う金額が違うため、高齢者の多い森町は大きな問題になると思います。医療・福祉の面からみても、森町は遅れていると思います。住民投票でこれからの森町について考えることも必要ですが、もっと重要なことは、これからを担う若者の意見を取り入れていくことではないのでしょうか。今の森町は年長者の意見が取り上げられやすく、若者の意見が取り上げられない、意見する場がないと思います。こうしたことが行われないと、若者の森町離れが進み、ますます住みにくい森町になっていくと思います。合併はそれほどメリットのないことでしょうか？では、なぜ同じ周智郡である春野町は浜松市と合併したのでしょうか？確かに、森町には歴史的財産が多数あり、昔のものを残したいと思うかもしれませんが。しかし、合併では良い部分は残すという傾向があるので、必ずしもデメリットとは言えないと思います。むしろ、浜松市のような大きな市と合併すれば、医療・福祉の面で必ず保障されるものだと思います。町長選挙をはじめ、町議会委員の選挙での投票率の低下は、誰もが行っても何も変わらないという行政不信の現れだだと思います。
- 合併しなかった事によって森町だけまわりから取り残されている。このまま単独で行動しても限界を感じる。これ以上の発展は望めないと思う。
- 合併。
- 森町が再度袋井市との合併を考え、そして合併をする道を選ぶことをお願いします。
- 今後も単独で町づくりを進めるのは無理があると思う。いつかは他市との合併を考えての町づくりを進めてもらいたい。
- 早期合併を。
- 合併に賛成だったため残念です。財政的に非常にきびしくなると思います。大きなプロジェクト、道路整備、企業誘致等必要だと思います。将来、他の市へ吸収合併となるのではないのでしょうか。名前のこだわり、袋井市の強引さ等いろいろあったと思いますが。
- 昨年、森町・袋井市・浅羽町の一市二町の合併は否決されましたが、より森町が発展するため、改めてどの市と合併するのが一番よいか、今一度合併のあり方について町中で議論してくれることを望みます。
- 私個人、合併には賛成だったので正直森町が合併しなかったのは残念です。今後ますます厳しくなると予測される町の財政状況を考えると不安です。住民投票を行った結果「反対」という結論が出たわけですが、一体どれくらいの人が森町の町政に関してどの程度理解して投票したのか気になります。町民が

もっと町政に積極的に参加(理解)しないと、現状維持すら不可能ではないでしょうか。やっぱり合併です。でもいまさら袋井とは無理ならば春野町に続いて浜松と。長いものには巻かれぬと無理ですよ。たぶん。

- 10年以内には袋井市と合併すべきである。
- 浜松市に合併すれば町が良くなると思う。
- 森町全体として合併すべきだった。森町のためにも迷う事なく合併すること。
- 森町だけではいずれやってはいけなくなると思うので、合併すべきだったと思う。
- 合併は必要だったと思います。何でも資金の面で縮小、スリム化、廃止。この調査書をもてこのような文字が多かったように思います。小・中学校が土日休みの時など学校を利用する。夏ならば幼稚園児、保育園児などの水泳教室、大人の方は中学校のミシンなど使って洋裁教室、和裁教室、料理教室。やっぱり手作りって必要です。でも資金面でムリかもしれません。
- 袋井との合併はないのですか。消防、火葬場などは袋井と共存していく以上合併したほうが良いと思います。
- 合併した方が良かったと思う。森町だけで運営していくのは大変と思う。企業誘致をした方が良い。
- 袋井・浅羽・森町の合併が不調に終わり残念に思う一人ではありますが、単独でも立派に健全なる町政が出来る見通しがあるというので安心いたしました。町長を頭に町議職員のご健闘をお願いいたします。
- 袋井・浅羽との合併離脱は大変残念であった。何のための合併か森町住民の無知に唖然とした。自分のことしか考えない議員と行政に不信を抱いた。住民の為の行政を切に要望する。森町にも行革審を設置すべきと思う。住民の目から森町を変えていく必要があると思う。
- 国の方針である構造改革、改造すべてのことは合併により初めて達成可能ではないか。合併に反対した市及び町には先細りしかない。金を掛けないで何かをするには無償(ボランティア)しかない。これが頼りの町づくりを。智慧をしばり、身体を動かして充実感の得られるようなことを何か考えるしかない。
- 合併して、他の地区との意見交換を多くした方が良いと思う。“遠州森”のお茶とか“遠州森”の柿とかでこだわりが多すぎる。町名がかわったとしても品物の名前はそのままにしておいてもいいと思うのですが。特別にその名にこだわりすぎていると思う。人口がこれから増加するということはないと思う。むしろ少子化で減少する一方だから子供たちのことを考えれば合併の道を開いて頂きたい。今の浜松市は12市町村で成り立っています。(まあ個々に不満あるでしょうけど)一つのところでのまちづくりで発展性があるかどうか。“井の中の蛙大海を知らず”状態の地域ではないでしょうか。
- 袋井市との合併がなくなり、周りの市からもずいぶん取り残された印象を受ける。“森町”というところさまでできてしまう言葉は単独というイメージ。これから先がすごく不安です。合併反対を活動された方々にももう少し対策案を聞いて今後の町づくり、とりのこされない森町をどのようにしてつくっていかなければならないかを早急に話し合いを住民達としてもらいたい。もう後には戻れないし、先に進むしかないですが、その先には高い山がいくつもありその山をこえなければいけないのは住民です。
- 森町を発展させるには合併しかありません。今合併しないと掛川、磐田、袋井に取り残されてしまうので早く議題にのせて下さい。今後年寄りが多くなりますので、河川敷を利用して遊歩道、公園等の設置を考慮して下さい。町が先頭に立って省エネ対策を住民に働きかけて欲しい。最近太田川の汚染が著しく感じられます。浄化指導をお願いします。

- 森町の今後の人の動きを見ると、まず高齢者が増え、そのため町の財政は一層厳しくなるばかりだと思います。合併問題を今一度考え直していくべきだと思います。将来的には磐田市、袋井市（森町含む）が一つになる中遠都市になることを望む。前提として、袋井との合併を今一度提起してください。森町には大きな企業（会社、工場）が少なく、そのために若い人たちが他へ移動するようになり、高齢者が増える一因だと思います。企業の誘致を町政の最大課題として取り組むようにお願いします。第二東名の早期開通の促進を。
- 一市二町の合併の推進活動を団体として準備を進めていたところ住民投票により単独の道を進む事になり、現在でも残念に思っております。これからは地域の発展を考えるより森町として責任ある行政を展開していかなくてはならない。生活環境はもとより懸案であり事業も着実に進めなくてはならない。2万人の町民はどこからの収入で生活費や税金の支払いをしているのか、袋井市や磐田市・浜松市・掛川市の企業でのおかけが大部分です。地元での安心した働き場所がない、少ないことを町や関係者がもっともっと考えなくてはならないと思う。単独の道を進むことになった今、町、町民が真剣に考えるときが来ている。第7次、第8次計画が未来に安心できる総合計画が策定されることを望みます。
- 周辺の市町村がどんどん合併している中で、森町だけが取り残されてしまっていることで町民の負担が増えるのはおかしいです。合併しないことの方が町民のプラスになると出した結果なら今以上の負担はおかしいです。これから社会に出ようとしている若い自分たちには不便です。
- 私は今現在各地域の合併等で町村が少なくなる昨今、森町は陸の孤島になっていると思います。私は賛成をしましたが結果は多数反対で否決されました。町として今後どのようにして活性化していくのか、果たしてよい町になるのか、いい面が出て来るのかわからないと思います。行政としてはどのようにして街を明るくするのか。テレビ放送であった東北地方のような役場にするか、まだまだ考えなければならないものが多くあると思われます。明るい良い空気の中でよりよい街づくりを期待しています。

【全体・その他】

- 森町に70年以上住んでいますが、住みよい町です。5年くらい前より猪が出て、農作物を全滅にされ困っています。米、粟等一生懸命手をつくしてきたのに、一夜で終わってしまいます。毎日囲い等に手間をかけていますが、なんとか良い方法をお教え願います。
- いずれは合併した方がよいと思います。天浜線の1年分の切符は大変重宝に使えるとみんな喜んでいきます。静岡銀行で毎年行っているコスモスの花の種を播く事業に花の会で参加しておりますが、後の手入れもしないし無駄な労力を使うばかりです。一考の余地がほしいです。
- 老若男女にとって住み良い町にして欲しい。太田川の流れをいつまでもきれいに守って欲しい。森町病院への救急時の乗り入れ口と一般車の乗り入れ口が一緒なので改善して欲しい。
- 牛飼旭組には町の土地があります。現在住民の駐車場として自由に使用されていますが、個人的に砂利を入れ他人と争いさえ生じるさま、町財産ですから一度ここできちんとしていくことが大切だと思います。もちろんここに町と住民の出費でごく簡単な集会場（小さく）をつくれれば、毎月の常会に遠い氏神様まで行かなくて済み、またこの旭組のコミュニティの場としても是非活用する場になると思います。
- 先日テレビで合併せず単独で上手に運営している福島県矢祭町のことが放送されました。町の職員や町会議員さんが視察し、参考になることを取り入れたらどうか。最近殺人等に悲惨な事件が多いと思います。道徳教育を徹底することが必要だと思います。少子化の対策として、児童手当等の増額も必要と思いますが、近隣でも男女とも独身者が増加している。男女の出会いの場を増やす工夫が必要。昔と違って結婚の世話をする人も少ない。各地区に世話人をつくり定期的に情報交換を行い、結婚を進めるボランティアを募る。企業誘致による雇用の拡大、税収の増加を図る。一般企業の営

業担当者のような人を配置し、専門に情報の収集及び誘致活動をする。

- 年をとっても安心して楽しく暮らせる町をつくってほしいです。
- 次世代の人達が安心して住める森町を目指してください。
- 工場誘致で人口の増加を図る。安心出来る老後の対応（医療福祉の充実）
- 各町内高齢者世帯が増えて若者が袋井、掛川他市町村へアパート住まいとか家を建て出ていき、時代の流れで核家族は仕方ないと言ってしまうえばそれまでですが、天宮団地みたいな建設や安いアパートの建設、緑を主体にして何か若者が森町に住みたいと思う環境づくりが大切ではないかと思います。工場誘致とか商業等も小さいお店が閉店においやられています、農協の森の市のように他の市町から買物に来てもらえるような店づくりを考えてみたらどうかと思います。また、町の議員さんも今年度の選挙みたいに若者が積極的に出て若者を中心とした町をつくり、少しでも町内から町外へ転出する人がなくなるようにと思います。夏になると太田川に人の背丈にも草が伸びていますが、草刈り等も各町内年2回春秋は行い河川美化を進めたら良いと思います。仕事時間内にタバコを吸ったり携帯をいじったりしている町の職員を見かけますが、民間事業所では想像もつかない事です。季節、時間によっては暇な時もあるでしょうが財政が厳しい人材の活用を考えて欲しいと思いました。
- 町民は小言ばかり言っていないで前向きに生活する様な人間にみんながなり、損得ばかり言わず骨身を惜しまず協力出来る人が多くなればもっと活性化するのではないのでしょうか。町政に携わっている人はよりいっそう勉強をしていただき良い町になる様願ってやみません。
- 高齢化が進む中、若い人が住みやすい町づくり、就労の場、教育環境、道路設備、子育て環境の整備の必要性を感じます。
- 長期的なビジョンを作り、見直しをしながら進める。子供が伸びのび育つ町。
- 町には各種の文化クラブがあり多くの方が参加しているようですが（一人の人が複数の会に入っている）、これらの会に町から助成金が出ています。生活に追われ参加したくてもできないひとの方が多いのではないかと思います、一部の人のための文化クラブにならないようにしてください。公職を退職した人（例 校長、教師）が町の職についている（図書館長、幼稚園の園長等）、この人はボランティアでやって下さっているのですか。給料、手当等はどの様になっていますか。
- 女性の会はなくていいと思います（災害の時などにはみんな協力してやれる事はやるのだから）。
- 私はまもなく80才。総合的なことはわかりませんので今住んでいる地区での森町を見て選んでの回答です。
- 中央体育館入口の自動ドアが普段使われていない。何のために自動ドアを作ったのか疑問。イベント時は使われているのであろうが、本来日常的に使われてこそ意味があるように思う。日常で使わないのであれば自動ドアを作った意味がない。これはほんの一例ではないか？“何のために”“誰のために”“どの様な目的で”という思想が感じられない。この様ないい加減な考えでまちづくりをされては困る。まちづくりは財政的な裏付けが必要でありその覚悟はしているがその前にパフォーマンスの低い職員、学校職員等の整理を切に望む。今後まちづくりには積極的に関わって参りたいと考えます。
- みんなが安心して暮らせるまちづくりにお願いします。
- 地区体協や体指等住民大会、森町 ロードレース等は不用。現代はスポーツしたい人はお金を出してまで行うので町や地区ごとでやる必要はないと思う。子供が増えるまちづくりをして欲しい。未婚や子供をつくらない人（出来ない人ではない）等は増税し、子供がいる人には補助や医療費の助成、幼稚園、保育時間の延長等をし、小さな子供がいる夫婦が住みやすい町にする。

- 何か全てが忙しすぎるように思います。もっと皆さん全てが心にゆとりを心掛けたいと思います。
- 他県、他市町に長く住んで故郷森町へ帰ってきました。大好きな土地で愛着もありますが未だに閉鎖的な考え方が根強く気が滅入る事が多い。
- 勉強不足で意見を言うことができません。今後少しずつでも勉強していきたいと思います。
- 日常生活している周囲が旧態で進歩がなく、どちらかと言うと閉鎖的で後退しているものが多く、若い人達に未来を託したくても魅力を感じない。大きなものばかりに目を向けなくても小さくて新しいものには新鮮さを感じると思います。そして、子供たちと行動を共にして明るく楽しく、安心して暮らせる地域にしたいです。周囲に明るく響く子供の声が聞こえる町に。交通取り締まりを強化するのも大事でしょうが先ず人づくり、が大事だと思います。
- 森町が好きなので町全体で森町をもっともっと良くしていけたらいいと思います。無理に都会化せず、森町らしい町にしていきたいです。
- 平凡な生活。目を通させて頂いた事は有り難く思っております。満80歳では家庭内仲々通ることは現代にはないと思います。(私は)もっと若い方をお願いしたいと思います。
- 町からのお知らせやいろいろな方々のご意見お話等をもりまち便り、議会だより等で拝読致しますが、内容が無学な年配の者達には少し難しい事柄もあって充分理解できないことも多々ありますし、最近特に横文字、カタカナの言葉を用いた文章も見受けられ、その単語の意味さえ分からなくて折角の良いためになる内容でもつい読みあきてしまうこともあるので、お年寄りに進んで読まれるような言葉も使っていただきたいと思うのは私だけでしょうか。このアンケートの全体を見終わって、町のため住民の福祉のため毎日を努めて頂く努力には深く感謝致します。
- 太田川をきれいにするという事は誰でもわかると思いますが、川原にはゴミを捨てる人がだんだん多くなっております。人間としてのマナーが最悪ですね。また人と人とのコミュニケーションはゼロです。自分のことしか考えない。もっと町内会でも挨拶する人はいない。だんだん悪くなりますね。
- 森町は外からみると少し閉鎖的な面があると言われる事がありますので、町の内外を開けたオープンな町にしたいです。
- 町民は行政に甘えすぎである。町に財産がきわめて少なくなってしまった現在、町民の住むところは自分たちの手で清掃を始め、住民のできることは住民が進んで行く。ボランティアとなり住みよい町としていかなくはなりません。森町は「木」が似合う町です。柳でなく葉のある木を植えて自分の家の前の落ち葉は住民が清掃する。そんな町に、また町はリーダーとして引っ張って下さい。森町は「水」が似合う町です。現在の親水公園はダメです。水がいつもない。噴水もない。森町病院、森町文化会館の経営は民間へ委託するべし。企業をもっと誘致して活力ある町にしましょう。
- これから先、森町の人口が増えずに人口数が保たれているかもしくは減る中、高齢者だけが増えていくのではと思う。若い人達世帯がどんどん森町へ入ってくるような魅力のある町にしていって欲しいと感じます。
- 何事も隠し事の無い町にしたいと思います。町長も議員も町民も仲良く暮らせる町にしたいと思う。
- 以前と比べて住みにくいと思って悩んでいる毎日です。ペットが大の苦手で、まだ犬は放していないため良いが、近所で野良猫に首輪を付けて自分の家で餌をやり何匹も居着いている方がいます。そのため戸を開けておけず、屋根には所構わずフンをし、布団を干したくても安心して干せずとても困っています。猫を飼うのなら、夜とか留守の時は家から出さないように責任を持って飼って欲しい。人の迷惑も少しは感じて欲しいと思います。余裕もなく、今後ずっと森町に住みたいので安心して住めたらと願っています。

- 森町は周智郡なのですか？スタートの意味で変えた方がいいのではないかと思います。
- 私は高齢者であり町のために参加できませんが、新森町を町長さんはじめ議員さん町職員さんに宜しくお願いいたします。頑張ってください。
- 何事も自己責任を持つようにすれば町の財政も負担が少なくなると思います。戦時中の「欲しがりません、勝つまでは」の言葉が思い出されます。
- 森町に生まれ育った私としては、いつまでも森町でありますようお願いします。
- やはり財政を見直す事が重要と考えます。公務員の給与カットでは彼らの生活活気が失われる可能性があるためこれ以上は無理と考えられます。公共事業の根本的見直し、本当に必要な所にしっかりお金をかける。(何度も道路を掘らないなど) 家庭と同じで収入以上の支出をしない事が重要です。農林業は良い品を作るので全国へもっとアピールすべき。逆に観光は弱いので観光客の滞在、休憩の出来る所、人の呼べる所、駐車場の確保が必要。町内の人間も行こうと思うところが欲しい。産業の基盤であるのは人です。教育の充実、また女性(母親)の働きやすい環境整備、保育所の充実、育児助成金等を進める。
- 老いているから移転したくても出来ない。
- 山、川環境は昔と違い悪化の一方で下水道処理施設を最優先に建設されたし。山は手入れをする専門家を育て、竹などのためにならぬ物を野放しにせず山を持っている人々に行政より補助育成してもらいたい。川は40~50年前の魚類の復活をなんとかしてもらいたい。子供の教育は学校教育も大切だが子供は真の自然の中で遊ばせ、自然から学ばせ、丈夫な身体と健全な思考力を持たせたい。山の木の実を木に登って取って食べ、夏は太田川その他の小川の深さある淵などでプールなどでは教わらない身につく泳ぎをやらせたい。将来森町を背負ってくれる集中力のある道徳心を持つ青年が育成される様願います。
- 町内に住んでいる人達の行政に対する関心のなさが残念です。一人ひとりが森町に住んでいる事に自信を持って暮らして欲しいと思います。
- 町中の施設をもっとアピールしてほしい。
- 最近はいろいろな事件や犯罪が増加しているので子を持つ親としては、地域の人が団結して子供が安心して生活したり、公園に行けたりできるように、不審人物や、子供にとって危険な場所を町に気軽に言うことができるようにしてほしい。 アクティ森などの施設を見直してほしい。もっと遠方から来た人が喜んでまた来たいと思えるようにしてほしい。例えば温泉がでたら、そういった施設をつくったり森ならではの料理の美味しいレストランをつくったりして。今のままでは人が少なく赤字になってしまっていると思う。見直す必要があると思う。
- 合併からはずれなんとなく新時代に乗り遅れてしまった様でこの先がとても不安に思われます。できる事なら森町以外の町に住みたいと思うのは私だけでしょうか。こんなちっぽけな森町は、これからどうなってしまうのでしょうか。住民が安心して生活できるようよろしくお願いします。
- 町の合併を望まず単独の路線を選んだ森町。自然に恵まれたこの町を存続させるために山や川を生かした観光地施設、大規模公園、スポーツ施設、ショッピング街など他ではなかなか体験できない特色のあるものをつくる事によって雇用も促進され、また観光客も増え町の財政もうるおっていくのではないかと。行きたい町、住みたい町の代表に森町になることを今後期待しています。
- 望月会館はありがたい施設です。使用するたび感謝しています。但し、カラオケでがなり立てる騒音が我慢できません。個室でなく、ゆっくり友人と話し合える空間があったらいいなと思います。町内に有料、格安宿泊施設があり、シニアで運営できたら良い。食事は外から取る。食堂を設け、室内で

の食事を禁ずる。遠くの親戚、縁者も気楽に泊められそこを拠点にウォーク等の観光もできるし、たまに家族と離れて独りになることもできる。

- たいへん世知辛いご時勢であります。このような時勢に大切なことは効率や合理化、数値化ではありません。人情と相互理解、柔軟な考え方であります。批判をするならその改善策を出すことや勝手な物言いよりも大所高所の考えを生み出す世論づくりが大切であります。怒りで町はつくれません。愛と創造で町をつくっていきたいですね。アンケート集計等大変ですがよろしくお願い致します。
- 保育園に子供を入りたいのですが入れません。待機児童ゼロにしてほしいです。一宮地区は現在インターネット接続がISDNです。早急にADSL(光ファイバー)の整備をお願いしたいです。今年度中に整備すると言っていますが、いつですか。全国的にみて森町としての地域格差をなくす前に森町内の地域格差をなくす方が先ではないのですか。
- やっぱり袋井に加入してください。森町のゴミ袋があまり町外で売られていないので不便です。あと森町内でバスを走らせてほしい。他の市町村はどこもやっています。保育園もしくは保育所が少ない。公園もそうです。公共施設が奥の方ばかりで不便です。
- 森町を良い町にしましょう。私は「森町」が大好きです。これからの森町の未来に期待します。
- 自然をいかし、観光客を増やし行政をよくしていけばいいと思う。あと老人が多くなるので、デイケア、老人施設の増加と、よりよい森町にするためのサービスを増やすとよいと思う。
- 山形県知事は毎年皇室に献上しているサクランボを経費節減のため、サクランボの量を減らし、包装も桐箱から段ボール、と簡略化し、また発注先も特定農家から農協に改めた。森町でも数ヶ月すると次郎柿の献上の時期がやってきます。この記事の報道を見るたびに大勢の関係者、職員が物々しい格好で箱詰めされる、これを誰がお届けするのか知りません。森町の予算も知りません。昔ながらもいいですが、時代も大きく変わってきています。山形県同様一考されてもよいのでは。
- 自分の住んでいる地区が、町の中心から外れているので、町とのかかわりが希薄です。町に人が集まるようなイベントを企画して下さい。
- 森町役場の方へ、自町内の組の人口の変動、一人住まいの増加等、今後どのような事で進んでいったら良いか、組の増減等自治会主導で良いのか、町の変えることが有るか。
- 高齢化社会が進んでおり、今後更に進行すると思う。華麗な事業や行事を少なくし、経費の節減を図る。各団体(外郭)の経費の分担金が多い。節減を指導すること(消防、福祉関係)道路整備も未だ必要であり、小破損は早めに修理すること。広報活動(広報もりまち)言語明瞭、声の通りの良い人の登用、少子化が進む前段階としての青年(もう成年になっている)の結婚の奨励策を考える。
- どの市町村も一時のブームのごとく街おこしなど町外からの人の流入を気にする政策が多すぎて、一声でいえば真似ばかり。アクティ森などいい例ではないでしょうか。外に目を向けずに町民が日々住んでいて楽しく融和できるようにする。例えば森から園田に流れている小藪川を昔のように釣れて食べられる魚が泳いでいる川、その川の堤防をジョギングコース、ウォーキングコースにし、夕涼み、桜の花見が出来る川にしたらどうですか。もっと内側に目を向けて逆に他の市町村が真似するくらいの独自性がこれからは必要だと思います。
- 住みよい町づくりのために森町内の道路整備をしてほしい。また、保育料の補助を町から出してほしいです。それが少子化対策につながると思う。観光客を集められるイベント等を行っていく。森町ならではのイベントを行えばよい。特に森の祭りなどがよいのではないかと思う。
- 私は年が多い。でも健康のうちは何事も協力して生きたい。

- 参加したいが高齢のため不能。
- さざんか荘について、町の人をもっと頻繁に利用出来る場所にしてほしい。
- 広報森の放送を一部開放して、地域の運動会（小学校や中学校）や文化祭のお知らせをするなど、役場や町内での活動のお知らせでなく、もっと色々な利用したら良いのではないかと思います。
- 工場等誘致し、騒音、汚水の垂れ流しをし、河川を汚すよりも、袋井市、磐田市、浜松市のベッドタウンとし住民が増える方が静かな町として将来性があると思います。旧豊岡村の様子を見ますと、余分な箱物が見当たらず、庁舎も精一杯小さくし、つましく行政をしていることがよくわかります。まだ当分の間、合併もしないと思いますので、合併しないでよかったと思わせるよう経費を節約してください。
- 地域住民に自立意識を考えて進んでもらえれば、自治体も自立できる可能性はあると思う。先人が育てた森町は、歴史、文化が豊富であり今私達は未来を担う子供たちに確実に伝えていくことと、地域産業の発展と地域開発の必要性を感じます。
- 花作りに道を使用するのは交通安全の障害です。隣組の行事の中で年をとってドブ掃除など強制されるのも辛いです。病気などで出られないのにその家を大きな声で非難するのは止めて欲しいです。公民館の掃除も同様。組の付き合いは廃止して欲しい。回覧板はいらない。
- 子供達が夢を持って住める町に、若者が希望を持って住める町に、若者が町外に出ていかないで住める町に、高齢者が安心して住める町にしたい。
- 町内清掃のこと：草刈など年 1 回では少ない。各町内で月 1 回位、組単位とか方法を考えて行うとよい。“きれいなところにゴミは捨てない” 敬老会のこと：町全体で行っているが、各地区防災センターがあるので、地区ごとに行うとよい。バスを使ってまで 1 ヶ所に集めて行っているが、検討してみる必要がある。 県道の草刈り：時期になるとどの道も草が繁っている。おおいかぶさるように業者が草刈りをしているが、自分たちが住んでいるところなのだから、年に 2~3 回くらい町内会長の集まりなどで議論して方法を考え、各町内会で行えるとよい。税金の有効利用にもなる。 荒れた農耕地をきれいにする。
- お祭のときだけ若い人が多いが、普段は老人ばかりで活力のない今の街はいかがなものか。若い人が出て行かない、帰ってきたいと思える様な魅力のある町になってもらいたい。
- 森町病院の小児科はとてもよい先生、看護師さんたちですのでこれからもずっと診察していただけるように先生を引き止めてもらいたい。老人福祉を充実しているように思われますので、障がい児福祉の方にもっと支援していただけるようにお願いします。側溝のどぶさらいも家族の者が年配になったり、介護等で負担が増えたりしていますので、町の方で環境整備としてやってもらうとありがたいです（草刈りも）。その他のプラスチック類の収集日を週に 1 回にして欲しいです。中学校にスクールカウンセラーが来てもらっていますが、常勤として中学生・保護者・先生にいつでも相談できるようにしてもらいたい。
- 限られた財源ではありますが、町民が暮らしやすい町を目指した施策をお願いします。

【アンケート】

- 以前に数回町長と語る会とか袋井市との合併を控えて町長の考え方、また地区の要望、意見を聞く会に参加して要望等を取りまとめて提出したことがあります。私たちの地域には反映されない。（特に道路整備）今回のアンケートも「空振り三振」となるでしょう。
- アンケート調査に加えていただきありがとうございました。世の流れとはいえ、何かにつけ不便です。

- 今回のアンケートは8月初旬突然私の所に来ました。 印をつけることが大変難しく困ってしまいました。「よくわからない」という回答欄を設けて頂くことは、できなかったのでしょうか。また 印というものがいかに一方的なものか何を意図しているものなのか説明もなく答えることが本当に意味のあるものなのでしょうか。座談会など一人ひとりの住民の意見を聞く方法・森町全体が一つの家族になっていくことを望みます。不易の価値を再確認し教育・家庭・環境・平和の問題を総合的に促え住民の一人が困っていたらその問題を一緒に考え解決していく場所、老若男女が共に集う場・機会を作ってほしいと思います。
- 町づくりのアンケート調査の一人に当たりましたが、なにぶん高齢にて町全体の事柄等わかりにくく、優劣も考えつかぬ有様にて良い考えも浮かばず、町議会、各町内会長等有識者の方々がいるので、その方々のご意見等お聞きの上、判断を行政に反映していただければよいのではないかと思います。我々のアンケートは、ほんの一部しか見えないものの考えです。
- 今回のアンケートに答えるにつき、どの項目に を付けたらよいのか迷う事ばかりでした。ということは自分自身森町の今後の事について深く考えていなかったのかなあと深く反省したり、考えさせられたりします。誰かがやってくれるではなく自分達が町を創り上げていくという意識を私達町民一人ひとりがもっと強く持つべきだと感じました。(特に自分自身町のことにつき関心を高めていきたい)主婦の感想です。
- 本アンケートの「まちづくり」とは「創り」・「作り」のどちらに近いのでしょうか。地方行政を預かる役場は今後何をするのでしょうか。町民に求める事は求めているだけで結構ですが、役場(職員)は何をするのでしょうか。私には見えません。
- アンケートの回答を選びながら森町について良く分かっていないことが多いと思いました。広報をもっと読むように努力したいと思いました。町民に分かりやすく町政で困っていることなど広報で知らせる事も大切だと思いました。
- このアンケート役立ててください。
- 町民より選出された町長、町会議員の方々であり、この様なアンケートなど内容は聞くまでなく分かっていると思います。ただ活力のある町をつくれれば色々な問題も解決出来る。